

「慰安婦」関係文献目録

A Bibliography of Publications
on the "Comfort Women" Issue

財団法人 女性のためのアジア平和国民基金 編
Asian Women's Fund

きょうせい

まえがき

財団法人「女性のためのアジア平和市民基金」は、政府と国民の協力のもとに、1995（平成7）年7月19日発足しました。アジア女性基金は、元「慰安婦」の方々に対する償いの事業を実施すること、さらには女性の名誉と尊厳に関わる今日的な女性問題の解決に積極的に関与することを目的としており、発足以来政府と国民各層の協力によって具体的な事業を実施してまいりました。また、基金は、「慰安婦」問題を歴史の教訓として未来に引き継いでいくことも、事業の柱の一つとしており、1996（平成8）年10月には、基金の中に「慰安婦」関係資料委員会を設置し、歴史学者などの協力も得ながら、「慰安婦」問題関連の国内外の史資料の収集などを積極的に推進しています。

その一環として、今回、「慰安婦」関係文献目録の刊行を行うことになりました。これは、政府が、1992（平成4）年7月から今日までに公表してきた「慰安婦」関係資料の公開事業とともに当委員会の事業として取り組んだものです。

ここに収集された「慰安婦」関係の文献は、日本国内で出版された書籍及び雑誌に発表された論文や体験記などの数々です。この文献目録を通じて、今までの国内における論争の過程をじっくり振り返りつつ、歴史的な事実の検証と、異なった歴史認識をもつ人々の間での対話に貢献できれば、それ以上の喜びはありません。

アジア女性基金においては、現在この文献目録に掲載された資料を網羅的に収集しております。

なお、書籍名、論文名の英訳は、「慰安婦」問題の関心が外国でも高いことから、日本語を読めない方の参考になればと考えて、私どもの判断と責任で行ったものです。

戦後50年を経て高められた国民の関心が、建設的な対話によって深められ、アジアの人々との友好と、相互理解につながることを願ってやみません。

1997年(平成9年)9月

財団法人女性のためのアジア平和国民基金
「慰安婦」関係資料委員会

顧問 衛藤清吉 委員長 高崎宗司(編集担当)
委員 饗庭孝典 浅野豊美(編集担当) 我部政男
倉沢愛子 後藤乾一(編集担当) 高橋祥起
秦郁彦 波多野澄雄 橋本ヒロ子 和田春
樹

凡 例

1. 本文献目録に掲載した文献は、1996年12月以前に発行されたものである。
2. 文献の配列は、発行年順とし、各年の中では著者名のローマ字表記におけるアルファベット順とした。ただし、1989年以前は一括してまとめた。また、雑誌掲載等の無署名の論文は、各年の最後にまとめた。
3. 図書は、著者名、標題、標題の英訳、出版者、発行年、頁数の順に表記し、発行年は年のみを記した。
4. 雑誌記事・論文は、著者名、標題、標題の英訳、掲載誌名、特集名あるいはシリーズ名、巻号数、発行年月日、頁数の順に表記した。巻号数は、巻数、号数、通巻号数の順で、通巻号数を（ ）内に入れた。また、通巻号数のみの文献はその番号を号数として扱い「467号」のように表記した。
5. 図書の題名は「」で、雑誌記事、論文の題名は「」で雑誌名は「」で、開んだ。
6. 図書の最後に総ページ数を例えば「165 p.」と、論文の最後に掲載ページを例えば「pp.4-7」と表記した。
7. 日本人著者名のローマ字表記はヘボン式、韓国・朝鮮人著者名は韓国式ローマ字表記、中国人名はピンイン表記、その他の外国人名はアルファベットによる表記を付した。
8. 標題の英訳は編集者の責任で行い、図書はイタリックとし、論文は“ ”で開んだ。
9. 文献によっては発行年や巻号数等の項目が欠落している場合もある。
10. 戦前、戦中の軍関係の史料、新聞に掲載された論文、国会議事録等にも採録すべき記事は多いが、今回は調査できなかった。
11. 「戦争責任研究」「ハッキリ通信」など市民運動団体の機関誌からも採録したが、採録できていないものも多い。
12. 「慰安婦」について正面から取り扱っていないものでも、問題の理解にとって重要であると思われるものは採録した。

目 次

まえがき

凡 例

1989 年以前 1

1990 年 25

1991 年 29

1992 年 41

1993 年 87

1994 年 116

1995 年 136

1996 年 161

索 引 185

「慰安婦」問題関係年表 207

あとがき

1989 年以前

赤星 昶 (AKAHOSHI Takashi)

『江南の春遠く』 *Spring is Far Away in Honan* 三田書房 1968

秋田 武彦 (AKITA Takehiko)

『ボナベ島戦記』 *A Record of the Battle on Bonabe Island* 恒文社 1981

安斉 貞子 (ANZAI Sadako)

『野戦看護婦』 *A Field Nurse* 富士書房 1953

青葉 薫 [鼓] (AOBA Kaoru)・生田 丹 [編著] (NAMAIDE Hisashi)

『海軍ひょうきん物語』 *Funny Stories about the Navy* ことば社 1983

浅田 晃彦 (ASADA Teruhiko)

『マラリア戦記—ある青年軍医の記録』 *A Story of War against Malaria: The Record of a Young Military Doctor* 弘文堂 1965

麻生 徹男 (ASO Tetsuo)

『戦線女人考』 *Consideration of Women on the Front* 非売品 1939

別所 源二 (BESSYO Genji)

『青春と戦争』 *Youth and War* 光源二 1980

ボルネオ縦走記編集所 [編] (Borneo Jōsōki Henshōjo)

『死線を越えて』 *Across the Line of Death* ボルネオ縦走記編集所 1986

朝鮮画報社 [編] (Chōsengahōsha)

『オモロあいたいよ—九州朝鮮人強制連行真相調査を終えて』 *Mother, I Want to See You: On Finishing an Investigation of the Facts about the Forced Recruitment of Koreans in Kyushu* 在日本朝鮮人総連合会 1974 40 p.

ドウス 昌代 (Duus Masayo)

『敗者の贈物－国策慰安婦をめぐる占領下悲史』 *The Gift from the Defeated: The Sorrowful History of Occupation Period Comfort Women as a National Policy* 講談社 1979

ドウス 昌代 (Duus Masayo)

『マッカーサーの二つの帽子』 *MacArthur's Two Hats* 講談社文庫 講談社 1985 337 p.

榎本 秋男 (ENOMOTO Akio)

『私の中国戦記』 *My War Record in China* 自費出版 1972

藤本 威広 (FUJIMOTO Takehiro)

『ブーゲンビル戦記』 *A Record of the Bougainville Battle* 白金書房 1974

藤野 英夫 (FUJINO Hideo)

『死の筏－ミチーナ激戦記』 *Rafts of Death: The Record of a Fierce Battle at Myithyina* 緑地社 1956

藤原 拓士 (FUJIWARA Takushi)

『外科医戦場物語』 *The Story of a Surgeon in the Battlefield* 永田書房 1977

福地 晴昭 (FUKUCHI Hiroaki)

『哀号・朝鮮人の沖縄戦』 *Aigo! The Battles of Koreans in Okinawa* 川口沖繩社 1986 303 p.

福永 勝美 (FUKUNAGA Katsumi)

『ビルマの地獄戦』 *The Hellish War in Burma* 雄山閣 1984

福谷 正典 (FUKUTANI Masanori)

『破れ狼』 *Defeated Wolf* 叢文社 1981

1989年以前

船本 スム子 (FUNAKI Sumuko)

「国家と貞操」 "State and Chastity" 『扶後史ノート』(9) 1984.8

船取 弘 (FUNASAKA Hiroshi)

「玉砕戦の孤島に大義はなかった」 *No Reason for a Battle to the Death on an Isolated Island* 光人社 1981

総山 孝雄 (FUSAYAMA Takao)

「南海のあけぼの」 *Dawn in the South Seas* 叢文社 1983

不破 義信 (FUWA Yoshinobu)

「南支戦線——軍医の陣中日誌」 *South China Front: The Field Diary of a Military Doctor* 栄文堂書店 1973

月刊沖縄社・企画 (Gekkan okinawasha・kikaku)

「太平洋戦争写真史 ⑦—フーコン・雲南の戦い」 *A Photographic History of the Pacific War (7): Battles in the Hukawng Valley and the Yunnan Mountains* 池宮商会出版部 1984

五島 昌子 (GOTO Masako)

「従軍慰安婦と買春観光」 "Comfort Women and Sex Tours" 『アジアと女性解放』14号 1983.8

後藤 基治 (GOTO Motoharu)

「海軍報道戦記」 *An Account of a Naval War Correspondent* 新人物往來社 1975

浜崎 富蔵 (HAMASAKI Tomizô)

「どろんこの兵」 *Muddy Soldiers* 自費出版 1970

林 えいだい (HAYASHI Eidaï)

「朝鮮海峡—深くて暗い歴史」 *The Korean Straits: Its Deep and Dark History* 明石書店 1988

平林 久枝 (HIRABAYASHI Hisae)

「十五年戦争と朝鮮人女性の受難―手記・聞き書きを中心にして」 "The Fifteen-Year War and Victimized Korean Women: A Focus on Notes and Interviews" 『歴史評論』 407号 1984.3

広田 和子 (HIROTA Kazuko)

「証言記録 従軍慰安婦・看護婦―戦場に生きた女の慟哭」 *A Record of Testimonies from Comfort Women and Nurses: Walling Women Who Lived on the Battlefield* 新人物往来社 1975 246p.

堀江 貞雄 (HORIE Sadao)

「声なき戦線―兵站物語」 *Voiceless Fronts: Stories of Logistics* 未刊原稿 1958

星野 博 (HOSHINO Hiroshi)

「衡陽最前線」 *The Hengyang Front* 叢文社 1986

井伏 鱒二 (IBUSE Masuji)

「海撈り」 *Out of the Sea* 新潮社 1981

市川 宗明 (ICHIKAWA Muneaki)

「火の谷」 *Valley in a Blaze* 叢文社 1979

林 鍾国 (IM Jong guk)

「女子挺身隊―いわゆる軍国の人柱となった韓国の乙女たち」 "Women's Volunteer Corps: South Korean Girls Who Became 'Human Columns' for a Militaristic State" 『アジア公論』 1974.3 pp.299-310.

いまい げんじ (IMAI Genji)

「赤紙兵隊記」 *An Account of a Soldier Drafted by a Red Card* 往書房 1987

今村 均 (IMAMURA Hitoshi)

「今村均回顧録 (改題「私記・一軍人六十年の哀歓」)」 *Hitoshi Imamura's*

1989年以前

Memoirs (Revised Title "My Story: Joys and Sorrows during 60 Years as a Soldier") 芙蓉書房出版 1970

今村 均 (IMAMURA Hitoshi)

『今村均回顧録』 *Hitoshi Imamura's Memoirs* 芙蓉書房 1980

稲葉 正夫 (INABA Masao) [編]

『岡村寧次大將資料(上)－戦場回想篇』 *Documents on General Yasuji Okamura (I): Memories of Battlefields* 明治百年史叢書 原書房 1970 402 p.

井上 威 (INOUE Hayashi)

『敵・戦友・人間－栄光なき戦いの果てに』 *Enemies, Comrades, Men: The End of a Gloriless Battle* 昭和出版 1979 307 P.

井上 源吉 (INOUE Genkichi)

『戦地憲兵』 *Military Police on the Battlefield* 図書出版社 1980

医療文芸集団 (Iryōbungei shūdan) [編]

『白の墓碑銘－従軍看護婦の記録』 *White Tombstone Inscriptions: A Record of Military Nurses* 東邦出版社 1968

石川 猪太郎 (ISHII Itarō)

『外交官の一生』 *The Life of a Diplomat* 中公文庫 中央公論社 1986 520 p.

石河 高治郎 (ISHIKAWA Kōjirō)

『敗兵』 *Defeated Soldiers* 昭和出版 1982

磯崎 隆子 (ISOZAKI Takako)

『生ある限りルソンへ』 *To Luzon, as Long as I Live* 講談社 1984

伊藤 桂一 (ITÔ Keiichi)

『兵隊たちの陸軍史－兵営と戦場生活』 *An Army History of Soldiers:*

Life in the Barracks and on the Battlefield 番町書房 1969

伊藤 桂・(ITÔ Keiichi)

『草の海－戦旅断想』 *Sea of Grass: Fragmentary Thoughts on Wartime Journeys* 文化出版局 1970

伊藤 桂・(ITÔ Keiichi)

『オアシスへの郷愁－戦場慰安婦について』 "Nostalgia for Oasis: About Comfort Women" 『近代民衆の記録 ③ 娼婦 月報』 1971.5

伊藤 桂・(ITÔ Keiichi)

『大陸をさまよう慰安婦たち』 "Comfort Women Wandering on the Continent" 『新証』特集 戦争 侵略から慰安婦まで 1971.8

伊藤 桂・(ITÔ Keiichi)

『戦争とおんな(連載)』 "War and Women (Series)" 『週刊 サンケイ』 1971.8.30

伊藤 桂・(ITÔ Keiichi)

『戦旅の手帳』 *Notes from War Travels* 光人社 1986

加藤 美希雄 (KATÔ Mikio)

『太平洋戦争哀歌－秘められた女の戦記』 *Elegies of the Pacific War: Hidden Records of Women's War* 清風書房 1968

川田 文子 (KAWADA Fumiko)

『赤瓦の家－朝鮮から来た従軍慰安婦』 *Red Brick House: A Comfort Woman from Korea* 筑摩書房 1987 266 p.

川北 恵造 (KAWAKITA Keizô)

『烈風－新発掘インパール最前線』 *A Gale: The Newly Revealed Front at Inpar* 叢文社 1981

川瀬 俊治 (KAWASE Toshiharu)

1989年以前

「奈良・在日朝鮮人史 1910-1945」 *A History of the Korean-Japanese, Nara 1910-1945* 奈良・在日朝鮮人教育を考える会 1985 343 p.

菊池 政男 (KIKUCHI Masao)

「白い肌と黄色い隊長」 *White Skin and a Yellow Captain* 文芸春秋新社 1960

金・勉 (KIM H Myeon)

「荒船発言は未見の「震災大虐殺」を呼んでいる」 "Mr. Arafune's Remarks Are Reminiscent of the Unseen 'Massacre in the Earthquake Disaster'" 【現代の眼】 1972.4 pp.162-169.

金・勉 (KIM H Myeon)

「世称「日本軍隊の慰安婦」の構想」 "The So-Called 'Japanese Military's Comfort Women' Scheme" 【季刊 まだん】 3号 1974.5

金・勉 (KIM H Myeon)

「世称「日本軍隊の慰安婦」の発生」 "The Origin of the So-Called 'Japanese Military's Comfort Women'" 【季刊 まだん】 4号 1974.8

金・勉 (KIM H Myeon)

「日本軍隊の朝鮮人慰安婦」 "Korean Comfort Women of the Japanese Military" 【季刊 まだん】 5号 1975.3

金・勉 (KIM H Myeon)

「天皇の軍隊と朝鮮人慰安婦」 *The Emperor's Military and Korean Comfort Women* 三一書房 1976 284 p.

金・勉 (KIM H Myeon) [編著]

「軍隊慰安婦—戦争と人間の記録」 *Comfort Women: A Record of War and Mankind* 現代史出版会 1977 249 p.

金・勉 (KIM H Myeon)

「日本女性哀史—「遊女」「女郎」「からゆき」「慰安婦」の系譜」 *The Sad*

History of Japanese Women: The Genealogy of "Yājo," "Jorō," "Karayuki" and "Comfort Women" 現代史出版会 1980 338 p.

近代戦史研究会 (Kindai senshi kenkyūkai) [編]

「女の戦記 (1) - 朝鮮慰安婦金春子手記 - 北支那戦線/女の兵器」
Women's Records of War [1]: A Note from the Korean Comfort Woman Kim Chun Ja - At the North China Front/Women as Weapons 浪速書房
1965 243 p.

北 一夫 (KITA Kazuo)

「戦場を駆け回る慰安婦部隊」 "The Comfort Women Corps Maneuvering Quickly on the Battlefield" 『人物往来』特集 日本戦史の告白 1956.6

高 成浩 (KO Seong ho)

「忘れ去られた歴史は呼びかける」 "Forgotten History Is Calling Us"
『朝鮮評論』7号 1953.4

岡分 俊一 (KOKUBU Shun'ichi)

「南海の青春」 *Adolescence in the South Seas* 浪洋通信社 1985

小松 真一 (KOMATSU Shin'ichi)

「虜人日記」 *Diary of a Prisoner* 筑摩書房 1975

今 日出海 (KON Hidemi)

「山中放浪」 *Wandering in the Mountains* 日比谷出版 1949

今 日出海 (KON Hidemi)

「悲劇の將軍」 *The Tragic General* 文芸春秋社 1952

近藤 正己 (KONDŌ Masami)

「異民族に対する軍事動員と皇民化政策 - 台湾の軍夫を中心に」 "Military Mobilization and the Assimilation Policy for Alien Subjects of the Japanese Empire: Focusing on Military Workers from Taiwan" 『台湾近現代史研究』6号 1988.10

1989年以前

久保田 幸平 (KUBOTA Kōhei)

「ミンダナオ島敗残記」 *The Record of a Lost War on Mindanao Island*
三一書房 1969

窪田 精 (KUBOTA Kiyoshi)

「死者たちの島」 *Island of the Dead* 新日本出版社 1977

熊沢 京次郎 (KUMAZAWA Kyōjirō)

「天皇の軍隊」 *The Emperor's Armed Forces* 現代評論社 1974

倉橋 正直 (KURAHASHI Masanao)

「娘軍考—近代日本の「海外醜業婦」問題」 "Consideration of Girls Troops: Modern Japan's Problem of 'Overseas Prostitutes'" [季刊 中田] 5号 1986.6

倉橋 正直 (KURAHASHI Masanao)

「従軍慰安婦前史—日露戦争の場合」 "The Prehistory of Comfort Women: The Russo-Japanese War" [歴史評論] 特集 民衆運動のなかの女性 467号 1989.3 pp.64-84.

栗本 雅弘 (KURIMOTO Masahiro)

「ブーゲンビル島に闘う」 *Fighting on Bougainville Island* 自費出版 1977

黒田 秀俊 (KURODA Hidetoshi)

「軍政」 *Military Administration* 学風書院 1952

黒岩 正幸 (KUROIWA Masayuki)

「自決命令」 *Suicide Order* 光人社 1981

桑島 節郎 (KUWAJIMA Setsurō)

「華北戦記」 *A War Record of Northern China* 図書出版社 1978

興野 義一 (KYŌNO Yoshikazu)

「一軍医の見たビルマ敗退戦」 *Lost Battles in Burma Seen by a Military Doctor* 旺史社 1981

町田 敬二 (MACHIDA Keiji)

「戦う文化部隊」 *Fighting Cultural Troops* 原書房 1967

横 かほる (MAKI Kahoru)

「満州開拓団・処女たちの凄春」 "Manchurian Reclamation Groups: The Appalling Adolescence of Virgins" 『寶石』11巻9号 1983.9 pp.342-356.

貞鍋 元之 (MANABE Motoyuki)

「ある日、赤紙が来て」 *One Day, a Red (Draft) Card Was Delivered* 光人社 1981

丸山 静雄 (MARUYAMA Shizuo)

「シタタン突破作戦」 *Breakthrough Operations at the Sittung River* 富士書苑 1953

丸山 友岐子 (MARUYAMA Yukiko)

「男性ライターの書いた「従軍慰安婦」を斬る」 "A Critique of Male Writers' Descriptions of 'Comfort Women'" 『女・エロス』9号 1977.7

三増 英夫 (MIMASU Hideo)

「混沌の記」 *A Story of Chaos* 文潮社 1946

御園生 一哉 (MISONŌ Kazuya)

「軍医たちの戦場」 *Battlefields of Military Doctors* 図書出版社 1982

御園生 一哉 (MISONŌ Kazuya)

「比島軍医戦記」 *The War Record of a Military Doctor in the Philippines* 図書出版社 1983

1989年以前

三浦 徳平 (MIURA Tokubei)

『一下士官のビルマ戦記』 *The Burma War Record of a Noncommissioned Officer* 1981

宮部 一三 (MIYABE Ichizō)

『ビルマ最前線』 *The Burma Front* 葦文社 1980

宮崎 清隆 (MIYAZAKI Kiyotaka)

『憲兵』 *The Military Police* 富士書房 1952

水野 靖夫 (MIZUNO Yasuo)

『日本軍と戦った日本兵』 *Japanese Soldiers Who Fought against the Japanese Military* 自由書店 1974

森金 千秋 (MORIKANE Chiaki)

『軍中第一線』 *The Central China Front* 葦文社 1977

森金 千秋 (MORIKANE Chiaki)

『悪兵―日中戦争最前線』 *Bad Soldiers: The Front Lines of the Second Sino-Japanese War* 葦文社 1978

森田 芳雄 (MORITA Yoshio)

『ラサ島守備隊記』 *Record of the Defense Troops on Lasa Island* 文朋出版 1968

守屋 正 (MORIYA Tadashi)

『ラグナ湖の北―わたしの比島戦記』 *North of Lake Laguna: My War Record in the Philippines* 理論社 1966

向井 俊二 (MUKAI Shunji)

『凡俗有情』 *Sympathetic Ordinary People* 廣済堂出版 1969

村松 喬 (MURAMATSU Takashi)

『落日のマニラ』 *Manila in the Setting Sun* 朝書房 1956

村瀬 守保 (MURASE Moriyasu)

「私の従軍中国戦線－兵士が写した戦場の記録」 *My Drafting for the Chinese Front: A Soldier's Photographic Record of Battlefields* 日本校閲紙出版センター 1987

村田 三郎 (MURATA Saburō)

「最前線爆薬製造部隊」 *Depth Charge Production Troops on the Front Line* 風蝶社 1977

永原 和子 (NAGAHARA Kazuko)・米田 佐代子 (YONEDA Sayoko)

【編著】

「おんなの昭和史－平和な明日を求めて」 *Women's History of the Showa Era: Pursuing a Peaceful Future* 有斐閣 1986 304 p.

長尾 和郎 (NAGAO Kazuo)

「関東軍軍隊日記」 *Diary of an Officer in the Kwantung Army* 経済社 1968

長尾 唯一 (NAGAO Tadaichi)

「玉碎－全将兵肉弾と化す」 *Honorable Death: All the Officers and Men Perished as Human Weapons* 日本文芸社 1965

長沢 健一 (NAGASAWA Ken'ichi)

「漢口慰安所」 *Hankow Comfort Stations* 国書出版社 1983

永田 美耶子 (NAGATA Minako)

「女傑一代－滿鉄病院内の第一野戦病院を訪問したときの見聞」 *The Life of an Amazon: What I Saw and Heard When I Visited the Manchurian Railway Hospital's First Field Hospital* 毎日新聞社 1968 49 p.

中村 八朗 (NAKAMURA Hachirō)

「娼婦と銃弾」 *Prostitutes and Bullets* 講談社 1960

1989年以前

中村 八朗 (NAKAMURA Hachirō)

「ある陸軍予備士官の手記」 *A Memorandum of an Army Reserve Officer* 現代史出版会 1978

中村 八朗 (NAKAMURA Hachirō)

「シンガポール収容所」 *The Singapore Internment Camp* 徳間書店 1979

中野 清見 (NAKANO Kiyomi)

「ある日本人--第二部 東北の秘境に挑む」 *A Certain Japanese (2): Challenging the Unexplored Regions in the Northeastern District* 平凡社 1958

中曾根 康弘 (NAKASONE Yasuhiro)

「二十三歳で三千人の総指揮官」 "A Supreme Commander of 3000 Soldiers at the Age 23" 松浦 敬紀 (MATSUURA Takanori) [編著] 「若い世代に伝え残したい--終わりなき海軍」 文化放送 1978 pp.90-98

直井 正武 (NAOI Masatake)

「戦魂」 *War Spirit* 東宝出版 1973

大林 清 (ŌBAYASHI Kiyoshi)

「玉の井姫傳、従軍慰安婦 第1号 順子の場合」 "The Legend of Prostitutes at Tamanoi: The First Comfort Woman, the Case of Junko" [現代] 1974.4

太田 直子 (ŌTA Naoko)

「[海の記憶] 上映会から--朝鮮人従軍慰安婦に捧げる献花・富山妙子さんに聞く」 "At the Screening of the Movie 'Memories of the Sea': Flowers Dedicated to Korean Comfort Women - An Interview with Ms. Taeko Tomiyama" [アジアと女性解放] 20号 1989.10 p.32.

越智 春海 (OCHI Harumi)

「ニューギニア戦記」 *New Guinea War Records* 図書出版社 1983

岡田 梅子 (OKADA Umeko)・新美 彰 (NIIMI Akira) (編著)
『ルソンに消えた星―終末を見た女二人の敗走記』 *Disappearing Stars in Luzon: The Escape Stories of Two Women Who Saw the Tragic End* 毎日新聞社 1980

岡本 一彦 (OKAMOTO Kazuhiko)
『15年戦争を覆う性の狂気―天皇の軍隊および国家と従軍慰安婦』 "Sexual Madness Clouding Over the 15 Year-War: The Emperor's Military State, and Comfort Women" 『現代性教育研究月報』 2巻8号 1981.8 pp.10-13.

岡本 信男 (OKAMOTO Nobuo)
『ラバウルの落日』 *Rabaul's Setting Sun* 旺文社 1975

岡村 俊彦 (OKAMURA Toshihiko)
『機火 (ほだび)―第101師団繙帯所の記録』 *Lighting a Fire: A Record of the 101st Division First Aid Unit* 文芸社 1961

奥村 明 (OKUMURA Akira)
『セレベス戦記』 *A Celebes Battle Record* 国書出版社 1974

小俣 行男 (OMATA Yukio)
『戦場と記者』 *Battlefields and Journalists* 冬樹社 1967

小沢 昭一 (OZAWA Syōichi) (対談)・須川 昭 (SUGAWA Akira) (編著)
『兵隊1円、将校2円だった心やさしき“戦場の天使たち”』 "Angels on the Battlefields' Who Charged Soldiers 1 Yen and Officers 2 Yen" 『週刊ポスト』 1975.7.4

小沢 昭一 (OZAWA Syōichi)
『雑談 につばん色里誌』 *Small Talk: An Essay on the Origins of Japanese Eroticism* 講談社 1978

1989年以前

朴 慶植 (PAK Kyeong sik)

『朝鮮人強制連行の記録』 *Records of the Forced Recruitment of Koreans* 未来社 1965 341 p.

斎藤 申二 (SAITÔ Shinji)

『ラングーン脱出行』 *Escape from Rangoon* 富士書苑 1953

酒井興郎 (SAKAI Tomoo)

『鮮烈な記憶』 "Vivid Memories" 加藤周・(編)『私の昭和史』 岩波新書 岩波書店 1988

榊山 潤 (SAKAKIYAMA Atsushi)

『ビルマ日記』 *A Burma Diary* 南北社 1963

阪本 楠彦 (SAKAMOTO Kusubiko)

『湘桂公路』 *The Shoket Logistics Route* 筑摩書房 1986

佐々木 元勝 (SASAKI Motokatsu)

『野戦郵便旗—日中戦争に従軍した郵便長の記録 第1部〜第5部』 *A Field Postal Flag: Records of a Mail Chief Who Served in the Second Sino-Japanese War (1-5)* 現代史資料センター出版会 1973

佐々木 元勝 (SASAKI Motokatsu)

『続・野戦郵便旗—日中戦争に従軍した郵便長の記録 第6部〜第10部』 *Sequel: A Field Postal Flag: Records of a Mail Chief Who Served in the Second Sino-Japanese War (6-10)* 現代史資料センター出版会 1973

佐々木 碩哉 (SASAKI Sekiya)・斎藤 卓・(SAITÔ Kôichi) (編著)

『ラバウル海軍航空隊』 *The Rabaul Navy Air Force* 鱒書房 1956

佐藤 泰大 (SATÔ Yasuo)

『南方飛行戦隊』 *Southern Flying Corps* 富士書房 1953 310 p.

沢山 勇三 (SAWAYAMA Yûzô)

『白旗をかかげて』 *Holsting White Flags* 富士書苑 1953

関野 豊 (SEKINO Yutaka)

『東満の兵営と抑留記』 *Barracks in East Manchuria and Detention Records* 旺史社 1985

戦中派の会 (Senchûha no kai) [編]

『続 戦中派の遺言』 *Wills of Those Who Lived during a Time of War*
(2) かい書房 1979

千田 夏光 (SENDA Kakô)

『日本陸軍慰安婦』 "Comfort Women" 『週刊 新潮』 1970.6.27

千田 夏光 (SENDA Kakô)

『従軍慰安婦ー“声なき女”八万人の告発』 *Comfort Women: The Accusations of 80,000 "Voiceless Women"* 双葉社 1973 220 p.

千田 夏光 (SENDA Kakô)

『ラバウルの従軍慰安婦ー私は兵隊3万人の欲望を処理した』 "A Comfort Woman at Rabaul: I Satisfied the Desires of 30,000 Soldiers" 『週刊 大衆』 1973.11.22

千田 夏光 (SENDA Kakô)

『続 従軍慰安婦ー“償われざる女”8万人の慟哭』 *Comfort Women*
(2): *The Cries of 80,000 "Uncompensated Women"* 双葉社 1974 273 p.

千田 夏光 (SENDA Kakô)

『従軍慰安婦という悲しい存在』 "The Pitiful Existence of Comfort Women" 『一億人の昭和史②』 毎日新聞社 1975

千田 夏光 (SENDA Kakô)

『従軍慰安婦という女たち』 "Women Labeled Comfort Women" 『ドキュメント太平洋戦争 5 外地に骨を埋めて』 汐文社 1975

1989年以前

千田 夏光 (SENDA Kakô)

『従軍慰安婦悲史－戦史の空白部分を抉る』 *The Regrettable History of Comfort Women: Searching a Blank Page of War History* エルム 1976
286 p.

千田 夏光 (SENDA Kakô)

『従軍慰安婦〔正篇〕』 *Military Comfort Women (1)* 三一新書 三一書
房 1978

千田 夏光 (SENDA Kakô)

『従軍慰安婦〔続篇〕』 *Military Comfort Women (2)* 三一新書 三一書
房 1978

千田 夏光 (SENDA Kakô)

『植民地少年ノート』 *The Note of a Boy in a Colony* 日中出版 1980
214 p.

千田 夏光 (SENDA Kakô)

『オンナたちの慟哭－戦争と女性哀話』 *The Lamentation of Women:
War and Sad Stories of Women* 同時代叢書 汐文社 1981

千田 夏光 (SENDA Kakô)

『従軍慰安婦・慶子－中国・ガ島・ビルマ……死線をさまよった女の証言』
*A Comfort Woman, Keiko, in China, Guadalcanal Island, and Burma:
The Testimony of a Woman Who Hovered Between Life and Death* カッ
パノベルス 光文社 1981

千田 夏光 (SENDA Kakô)

『従軍慰安婦』 *Comfort Women* 講談社文庫 講談社 1984

千田 夏光 (SENDA Kakô)

『涙痕－オンナたちの戦争』 *Traces of Tears: Women's War* 同時代叢
書 汐文社 1985 234 p.

千田 夏光 (SENDA Kakô)

「従軍慰安婦・慶子―中国・ガ島・ビルマ……死線をさまよった女の証言」
*A Comfort Woman, Keiko, in China, Guadalcanal Island, and Burma:
The Testimony of a Woman Who Hovered Between Life and Death* 文庫
光文社 1985

千田 夏光 (SENDA Kakô)

「従軍慰安婦 続」 *Comfort Women (2)* 講談社文庫 講談社 1985
215 p.

重村 実 (SHIGEMURA Minoru)

「特要員と言う名の部隊」 "A Unit Called the Special Duty Workers
Corps" 【文芸春秋】特集 日本陸海軍の総決算 1号 1955.12

島田 俊彦 (SHIMADA Toshihiko)

「関東軍」 *The Kwantung Army* 中公新書 中央公論社 1965

嶋田 美子 (SHIMADA Yoshiko)

「まだ終わっていない太平洋戦争―いまも続く“慰安婦戦友会”の悲しみの
秘録」 "The Pacific War Has Not Ended Yet - It Still Continues in the
Sad Hidden Stories of the 'Comfort Women's Comrades Association'"
【現代】 1972.4

城田 サヅ子 (SHIROTA Suzuko)

「マリヤの讃歌」 *Pacons of Maria* 日本基督教団出版局 1971

春風亭 柳昇 (SHUNPÔTEI Ryôshô)

「陸軍落語兵」 *An Army Storyteller Soldier* 立風書房 1987

宋 甲恵 (SONG Kap heon)

「ハルモニの話」 "An Old Korean Woman's Story" 【部落解放史・ふく
おか】 1988.12

京 睦夫 (SUMERAGI Mutsuo)

1989年以前

「ルソン島とフィリピン人」 *Luzon Island and the Philipinos* 楽瀬書房
1981

鈴木 省五郎 (SUZUKI Syōgorō)
「霧に消えた兵隊」 *Soldiers Vanishing in to the Fog* 叢文社 1983

鈴木 卓四郎 (SUZUKI Takushirō)
「憲兵下士官」 *Noncommissioned Officers of the Military Police* 新人物
往来社 1974年 235p.

鈴木 卓四郎 (SUZUKI Takushirō)
「憲兵余録」 *Supplementary Note of an M. P.* 図書出版社 1983

鈴木 俊雄 (SUZUKI Toshio)
「回想のフィリピン戦線」 *Recollections of the War in the Philippines* 自
費出版 1979

高島 喜次 (TAKABATAKE Yoshitsugu)
「ブーゲンビル戦記」 *A Record of the Bougainville Battle* KKベストセ
ラーズ 1978

高橋 義 (TAKAHASHI Yoshi)
「ああラバウル」 *Ah! Rabaul* 日新報道 1970

高崎 宗司 (TAKASAKI Sōji)
「韓国における従軍慰安婦研究」 "Research on Comfort Women in South
Korea" 『婦人新報』913号 1976.10 pp.7-9.

高崎 伝 (TAKASAKI Tsutomu)
「最悪の戦場に奇蹟はなかった」 *No Miracle Happened on the Merciless
Battlefield* 光人社 1974

高島 恵子 (TAKASHIMA Keiko)
「兵と心中した将校慰安婦の亡霊」 *The Ghost of an "Officer's Only"*

Comfort Woman Who Committed Suicide with a Soldier 中央公論社
1984

玉井 紀子 (TAMAI Noriko)
『日の丸を腰にまいて―鉄火娼婦・高梨クカ一代記』 *Tying a Japanese Flag around the Waist: A Biography of Taka Takanashi, Gallant Harlot*
現代史出版会 (徳間書店) 1981 197 p.

田中 保善 (TANAKA Yasuyoshi)
『泣き虫軍医物語』 *The Story of a Blubberer Military Doctor* 毎日新聞
社 1980

谷川 美津江 (TANIGAWA Mitsue)
『青年将校と慰安婦』 *Young Officers and Comfort Women* みやま書房
1986

寺崎 浩 (TERASAKI Hiroshi)
『戦争の横顔』 *A Profile of the Battlefield* 太平出版社 1974

戸川 幸夫 (TOGAWA Yukio)
『戦場への紙碑』 *Paper Monuments to Battlefields* オール出版 1981

戸石 泰一 (TOISHI Taiichi)
『消灯ラッパと兵隊』 *Taps and Soldiers* KKベストセラーズ 1976

富村 順一 (TOMIMURA Jun'ichi)
『琉球慰安婦―天皇制下の闇の性』 *Ryukyu Comfort Women: The Secret Sex Life Under the Emperor's System* 玄暉社 1977

富沢 繁 (TOMIZAWA Shigeru)
『女たちの戦場よもやま話』 *Stories of Women on the Battlefield* 光人社
1988

友清 高志 (TOMOKIYO Takashi)

1989年以前

「ルソン死闘記」 *The Record of Desperate Battle on Luzon Island* 講談社 1973

辻 政信 (TSUJI Masanobu)
「十五対一―ビルマの死闘」 *15 to 1: The Relentless Battle in Burma* 朝
燈社 1950

辻 政信 (TSUJI Masanobu)
「ガダルカナル」 *Guadalcanal* 河出書房 1967

梶 新三 (TSUTSUMI Shinzō)
「鬼哭咽喉」 *Weird as the Wailing of a Ghost* 毎日新聞社 1981

津山 章作 (TSUYAMA Syōsaku)
「戦争奴隷」 *War Slaves* 養神書院 1967

津吉 英男 (TSUYOSHI Hideo)
「乱れた軍政」 *Disrupted Military Administration* 富士書苑 1953

榎本 悟三 (NEMEMOTO Sutezō)
「ビルマ方面軍」 *The Armed Forces in the Burmese Theater of Opera-
tion* 経済往来社 1969

臼杵 敬子 (USUKI Keiko)
「現代の慰安婦たち―軍隊慰安婦からジャバゆきさんまで」 *Contemporary
Comfort Women: From Comfort Women to Japayuki-san* 現代史出版会
1983 209 p.

内海 愛子 (UTSUMI Aiko)・村井 吉敬 (MURAI Yoshinori) [編著]
「赤道下の朝鮮人叛乱」 *Korean Revolts on the Equator* 勁草書房 1980
278 p.

和田 敏明 (WADA Toshiaki)
「証言 太平洋戦争」 *Testimonies on the Pacific War* 恒文社 1975

若林 政夫 (WAKABAYASHI Masao)

『イラワジ戦記』 *Irrawaddy War Records* 富士書苑 1953

若八会九州支部 (Wakahakkai kyūshū shibu) [編]

『戦塵にまみれた青春』 *Adolescence Crawling through the Battlefield* 非売品 1977

渡辺 憲典 (WATANABE Norio)

『逃げる兵』 *Soldiers on the Run* マルジュ社 1979

山田 定 (YAMADA Sadamo)

『憲兵日記』 *Diary of an M. P.* 駿河台書房 1985

山田 清吉 (YAMADA Seikichi)

『武漢兵站一支那派遣軍慰安係長の手記』 *Logistics at Wuhan: Notes of the Comfort Woman Organization Chief, Expeditionary Forces to China* 図書出版社 1978

山田 明子 (YAMAGUCHI Akiko)

『朝鮮人慰安婦のこと』 "About Korean Comfort Women" 『アジアと女性解放』 14号 1983.8

山谷 哲夫 (YAMATANI Tetsuo)

『戦時中、沖縄の日本軍陣地に連れてこられた“朝鮮人従軍慰安婦”の生残りの“女の一生”』 "The 'Lives' of 'Korean Comfort Women' Survivors Who Were Brought by Force to Japanese Army Positions in Okinawa during the War" 『中央公論』 1979.9

山谷 哲夫 (YAMATANI Tetsuo)

『沖縄のハルモニ』 *An Old Korean Woman in Okinawa* 晩聲社 1979 201 p.

山崎 英佑 (YAMAZAKI Eisuke)

『ラバウル地底戦記』 *Underground War Records at Rabaul* 富士書苑

1989年以前

1953

安田 武 (YASUDA Takeshi)

『戦争と性』 *War and Sex* 有斐閣 1970

吉田 清治 (YOSHIDA Seiji)

『朝鮮人慰安婦と日本人―元下関労働動員部長の手記』 *Korean Comfort Women and the Japanese: A Memorandum of a Former Shimonoseki Labor Recruitment Manager* 新人物往来社 1977 227 p.

吉田 清治 (YOSHIDA Seiji)

『私の戦争犯罪―朝鮮人強制連行』 *My War Crime: The Forced Recruitment of Koreans* 三一書房 1983 182 p.

吉富 利通 (YOSHITOMI Toshimichi)

『ある将校の敗戦日記』 *An Officer's Diary of a Lost War* 1979

『毎日グラフ別冊「日本の戦歴」』 *"The Japanese History of Wars": An Extra Edition of the Mainichi Graph* 毎日新聞社 1965

『続・日本の戦歴―「志願して死んだ彼女たち」の写真』 *The Japanese History of Wars (2): Pictures of Those Women Who Volunteered and Died* 毎日新聞社 1965

『ドキュメント太平洋戦争』 *"A Documentary of the War in the Pacific"*
『アサヒ芸能』 1971.3.18

『“性戦”で“聖戦”のイケニエ・従軍慰安婦』 *"Comfort Women, Sacrifices to the 'Sacred War' by 'Sexual War'"* 『週刊 実話』 1971.8.23

『4万人の慰安婦を供給したソウルの美都波収容所』 *"The Midopa Camp in Seoul which Supplied 40,000 Comfort Women"* 『週刊 大衆』 1971.12.27

「国が奪った青春の残酷ー“御国のために”自決した慰安婦」 “The Cru-
elty of a Country That Took Away Youthful Years: Comfort Women
Who Committed Suicide ‘for the Country’” 【サンデー毎日】 1972.11.12

「戦争慰安婦が生きた忍従の28年」 “28 Years of Submission Experi-
enced by Comfort Women” 【アサヒ芸能】 1973.8.2

「撃沈された女子軍属たちが集団慰安婦に落ちるまでの戦争体験」 “War
Experiences of Paramilitary Women Who Had No Choice but to Be
Comfort Women” 【週刊 新潮】 1974.8.22

「見すてられた戦争慰安婦」 “Abandoned Comfort Women” 【アサヒ芸
能】 1975.5.1

「テレビルポルタージュ「突撃-一番-回想の従軍慰安婦たち」」 “TV Spe-
cial Report, ‘Attack No.1 (Condom): Comfort Women in Reflection’” 【新
日本文学】 (358) 1977.6

「体験告白、私は元陸軍の慰安婦だった」 “A Confession about My Expe-
rience: I Was a Former Comfort Woman of the Army” 【週刊 読売】
1979.6.17

「写真集 女たちの昭和史」 *A Photographic Collection: Women's History
of the Showa Era* 大井書店 1986

「朝鮮人強制連行を語るー1988.1.15・16 吉田清治さん証言会の記録」
*Talking about the Forced Recruitment of Koreans: A Record of the Seiji
Yoshida Testimonial Meeting, January 15-16, 1988* 【吉田清治さん証言
会】実行委員会 1988

「女の視点で戦争をとらえ直す記録映画「戦場の女たち」」 “Women on
the Battlefield: A Documentary Film for Redefining the War from
Women's Viewpoint,” 【週刊 時事】 31巻9号 1989.3.4 pp.99-101.

1990 年

朝日新聞テーマ談話室 (Asahi-shinbun Theme danwashitsu) [編]
『戦争 体験者の貴重な証言 1』 *Important Testimonies of People Who Experienced War (1)* 朝日文庫 朝日新聞社 1990

朝日新聞テーマ談話室 (Asahi-shinbun Theme danwashitsu) [編]
『戦争 体験者の貴重な証言 2』 *Important Testimonies of People Who Experienced War (2)* 朝日文庫 朝日新聞社 1990

朝日新聞テーマ談話室 (Asahi-shinbun Theme danwashitsu) [編]
『戦争 体験者の貴重な証言 3』 *Important Testimonies of People Who Experienced War (3)* 朝日文庫 朝日新聞社 1990

アジア・太平洋地域の戦争犠牲者に思いを馳せ、心に刻む集会 実行委員会事務局 (Asia-Pacific chiiki no senso giseisha ni omoi o hase kokoro ni kizamu syōkai)

『第5回 アジア・太平洋地域の戦争犠牲者に思いを馳せ、心に刻む集会』
Fifth Meeting for Reflection on War Victims in the Asia-Pacific Region
アジア・太平洋地域の戦争犠牲者に思いを馳せ、心に刻む集会 1990 16 p.

鄭 去仗 (CHEONG Geo jang)
『日本の歴史教科書問題によせて (上)』 "Thoughts on the Problems Related to Japan's Textbook History (1)" 『統一評論』 1990.1 pp.90-99.

鄭 去仗 (CHEONG Geo jang)
『日本の歴史教科書問題によせて (下)』 "Thoughts on the Problems Related to Japan's Textbook History (2)" 『統一評論』 1990.2 pp.118-127.

嚴 正彦 (EOM Jeong-eon)

「遅々として進まぬ実態調査 民間の後進日本政府―朝鮮人強制連行」 "A Fact-Finding Survey That Makes Very Slow Progress - The Japanese Government Falls Behind Private Organizations: Forcibly Recruited Koreans" 『朝鮮両報』 1990.9 pp.52-54.

古野 直也 (FURUNO Naoya)

『朝鮮軍司令部 1904-1945』 *The Korean Army Headquarters, 1901 - 1945* 国書刊行会 1990 280 p.

林 えいだい (HAYASHI Eidai)

「一に高島二に端島三に崎戸の鬼が島 (上) - 監獄島の朝鮮人坑夫たち」
"First, Takashima, Second, Hajima, and Third, Sakido Onigashima (1)
Korean Miners on Prison Islands" 『朝鮮両報』 1990.11 pp.50-55.

林 えいだい (HAYASHI Eidai)

「一に高島二に端島三に崎戸の鬼が島 (下) - 監獄島の朝鮮人坑夫たち」
"First, Takashima, Second, Hajima, and Third, Sakido Onigashima (2) -
Korean Miners on Prison Islands" 『朝鮮両報』 1990.12 pp.50-56.

広田 常治 (HIROTA Tsuneharu)

「旧皇軍朝鮮人への補償を拒否する日本政府」 "The Japanese Government Refuses Compensation for Korean Former Imperial Soldiers" 『アスコミ市民』 1990.9.10 pp.36-41.

櫻井 良子 (SAKURAI Yoshiko)

「[謝罪] 外交に[理]なし」 "There is No 'Reason' for 'Apologetic Diplomacy'" 『Voice』 1990.8 pp.114-124.

佐藤 勝巳 (SATÔ Katsumi)

「日韓に補償問題は存在しない」 "The Issue of Compensation Does Not Exist between Japan and the Republic of Korea" 『現代コリア』 301号 1990.8

1990年

鈴木 裕子 (SUZUKI Yoko)

「挺身隊」(朝鮮人従軍慰安婦)問題をめぐる最近の韓国女性界の動き(紹介) "Introduction to Recent Activities of South Korean Women in Connection with the Issue of the 'Volunteer Corps' (Korean Comfort Women)" 〔未来〕287号 1990.8 pp.10-15.

鈴木 裕子 (SUZUKI Yoko)

「従軍慰安婦に軍と国家は関与しなかったのか」 "Were the Military and the State Not Involved in the Issue of Comfort Women?" 〔未来〕289号 1990.10 pp.8-12.

高崎 隆治 (TAKASAKI Ryōji) [編解説]

「十五年戦争重要文庫シリーズ①-軍医官の戦場報告意見集」 *A Series of Important Documents on the Fifteen-Year War (1): Reports on Battlefields by Military Doctors* 不二出版 1990.2

高崎 宗司 (TAKASAKI Sōji)

「『お言葉』と在日朝鮮人問題を考える-日韓併合八十周年を迎えて」 "Consideration of the Emperor's Remarks and the Problem of Korean People Residing in Japan: On the Occasion of the 80th Anniversary of Japan's Annexation of Korea" 〔続・評論〕1990.8 pp.126-131.

臼井 敬子 (USUKI Keiko)

「韓国旧軍人・軍属・徴用者・遺族22人の肉声全証言」 "Oral Testimonies by 22 Former South Korean Servicemen, Paramilitary Personnel, Volunteer Workers and Bereaved Families of War Dead" 〔週刊・ポスト〕1990.11.16

山本 将文 (YAMAMOTO Masafumi)

「写真報告 サハリンの韓国・朝鮮人」 *Photographic Records: North and South Koreans in Sakhalin* 東方出版 1990 101p.

吉岡 古典 (YOSHIOKA Yoshinori)

「過去の“反省”とはどういうことか-朝鮮人強制連行者名簿問題を中心

に] "What Is Meant by 'Reflection' on the Past: A Focus on the Issue of Lists of Forcibly Mobilized Koreans" 『文化語彙』 354号 1990.8 p.25

尹 貞玉 (YUN Jeong ok)

『皇軍』と慰安婦] "'Imperial Forces' and Comfort Women" 『婦人新報』 1079号 1990.8 pp.20-22.

『南朝鮮情勢資料 8号別冊 「韓日合併」 80年、祖国解放 45年 強制連行、蔑視と虐待の現場』 *Supplemental Volume of Materials on South Korea (8) - 80 Years after the "Annexation of Korea", 45 Years after Liberation: The Sites of Forced Mobilization, Contempt and Abuse* 朝鮮問題研究所 1990

『今どうかばれぬ戦争犠牲者 問われる日本当局の対処-朝鮮人戦争犠牲者慰霊法要』 "The Spirits of War Victims Still Restless - The Japanese Authorities' Responsibility Questioned: A Memorial Service for the Korean War Victims" 『朝鮮西報』 1990.5 p.43.

『韓国・57年度の調査の強制連行名簿が現存-韓日の学者が共同研究』 "A 1957 South Korean Investigation List of Forcibly Recruited People Does Exist: The Joint Research of Japanese and South Korean Scholars" 『統一評論』 303号 1990.9 pp.123-125.

『在日本朝鮮人仏教徒協会が朝鮮人戦争犠牲者の慰霊法要-東京日黒の祐天寺で』 "The Buddhist Association of Korean People Residing in Japan Held a Memorial Service for the Korean War Victims at Yōtenji, Meguro, Tokyo" 『朝鮮西報』 1990.10 p.47.

『戦時中の「朝鮮人徴用の手引書」一挙公開』 "Opening to the Public of the 'Manual for the Conscription of Koreans' during the War" 『今日の韓国(KOREA-TODAY)』 15巻 10号(172) 1990.10 pp.12-28.

1991年

朝日新聞社 (Asahi-shinbunsha) [編]

「女たちの太平洋戦争 ①」 *The Pacific War for Women (1)* 朝日新聞社
1991

朝日新聞社 (Asahi-shinbunsha) [編]

「女たちの太平洋戦争 ②」 *The Pacific War for Women (2)* 朝日新聞社
1991

アジア太平洋地域戦後補償国際フォーラム実行委員会 (ASIA Taiheiyôchli-
ki sengohoshô kokusai FORUM jikkô inkai) [編]

「戦後補償の論理—プレフォーラム記録集」 *The Logic of Postwar Com-
pensation: Pre-Forum Records* アジア太平洋地域戦後補償国際フォー
ム実行委員会 1991 55 p.

福岡・「強制連行を考える会」 (Fukuoka・[kyôsei-renkô wo kangaeru-
kai])

「地道に強制連行の歴史を掘りおこす」 "Consistently Uncovering the
History of the Forcibly Mobilized" 『朝鮮画報』 1991.3 pp.40-41.

彦坂 諱 (HIKOSAKA Tai)

「男性神話」 *Male Myth* 径書房 1991 218 p.

五十嵐 広三 (IGARASHI Kôzô)

「ハルモニの恨にどう応えるのか」 "How to Respond to Old Korean
Women's Bitter Grudges" 『月刊 社会党』 435号 1991.12 pp.67-68.

インドネシア日本占領期史料フォーラム (INDONESIA nihonseiryô
Period shiryô FORUM) [編]

「証言集 日本軍占領下のインドネシア」 *Testimonies: Japanese Military
Occupation of Indonesia, 1942-1945* (Original English Title) 龍溪書舎
1991 760 p.

井上 裕雅 (INOUE Hiromasa)

「朝鮮人従軍慰安婦問題」その取材を通して思う」 “The Issue of Korean Comfort Women: A Journalist's Notes” 『季刊 SAI』1号 1991.12

伊藤 孝司 (ITO Takashi)

「写真記録・樺太棄民--残された韓国・朝鮮人の証言」 *Photographic Records of People Abandoned in the Sakhalin Islands: Testimonies of North and South Koreans Left Behind* はるふ出版 1991 150 p.

従軍慰安婦問題を考える在日同胞女性の会(仮称) (Jyōgun [ianfu] mondai o kangaeru zainichi dōhō josei no kai) [訳編]

「私たちは忘れない! 朝鮮人従軍慰安婦--在日同胞女性からみた従軍慰安婦問題」 *We Won't Forget! Korean Comfort Women: The Comfort Women Issue Viewed by Korean-Japanese Women* 従軍慰安婦問題を考える在日同胞女性の会(仮称) (発売: 従軍慰安婦問題ウリヨソネットワーク) 1991 60 p.

『韓国女性新聞』(『Kankoku josei shinbun』)・方 清子 (PANG Cheong ja) [編著]

「恥辱と絶望の生--ペ・ボンギ ハルモニのはなし ①」 “A Life of Shame and Despair: The Story of the Elderly Korean Woman Pae Ponggi (I)” 『ばんそんふぁ』5号 1991.11 pp.8-12.

川田 文子 (KAWADA Fumiko)

「朝鮮から来た「従軍慰安婦」」 “Comfort Women' from Korea” 『続・評論』310号 1991.4 pp.68-74.

川瀬 俊治 (KAWASE Toshiharu)

「朝鮮人強制連行と天理 柳本飛行場」 *Koreans Taken by Force and the Yanagimoto Air Field at Tenri* 奈良県で朝鮮人強制連行等に関わる資料を発掘する会 1991

菊池 嘉晃 (KIKUCHI Yoshiteru)

「松代・朝鮮人「慰安婦」の家保存に向けて」 “Preserving the House of

1991年

Korean 'Comfort Women' at Matsushiro" 『ほんそんふあ』4号 1991.9.
20 pp.20-21.

金 民泰 (KIM Min tae)

『強制連行の実態調査と補償の現状』 "A Fact-Finding Investigation into
Forced Mobilization and the Status of Compensation" 『統一評論』311
号 1991.5 pp.56-63.

金 民泰 (KIM Min tae)

『日本の謝罪と補償・賠償・請求権』 "Japan's Apology and the Rights to
Demand Compensation and Reparations" 『統一評論』317号 1991.11
pp.84-95.

金 明美 (KIM Myeong mi)

『「従軍慰安婦」をわが身にひきよせてー在日韓国人女性の立場から』 "If I
Had Been a 'Comfort Woman': The Point of View of a South Korean -
Japanese Woman" 『インパクション』72号 1991.11

金 富子 (KIM Pu ja)

『明日に向かってー従軍慰安婦問題から広がるネットワーク』 "For
Tomorrow: An Expanded Network Resulting from the Comfort Women
Issue" 『季刊 青丘』10号 1991.11 pp.184-189.

金 相基 (KIM Sang gi)

『はがされるペールー愛媛、高知での朝鮮人強制労働の実態 真相調査団が
現地調査』 "Unveiling the Actual Conditions at the Site of Korean
Forced Labor at Ehime, Kôchi by the Fact-Finding Survey Team" 『朝
鮮西報』1991.3 pp.48-49.

金 相基 (KIM Sang gi)

『千葉で朝鮮人強制連行の実態調査』 "The Actual Conditions of Forcibly
Mobilized Koreans Surveyed in Chiba" 『朝鮮西報』1991.4 pp.46-47.

金 相基 (KIM Sang gi)

「隠ぺいされ続けた事実－問われる『戦後45年』 朝鮮人強制連行真相調査団朝鮮人未払い賃金供託名簿を発見」 "Continuously Suppressed - Questioning the '45 Year Postwar Period': The Fact-Finding Investigation Team on Forcibly Mobilized Koreans Found a List of Korean Workers' Unpaid Wage Deposits" 『朝鮮商報』 1991.6 pp.48-49.

金 相基 (KIM Sang gi)

「隠された史実を明かす－朝鮮人強制連行真相調査団」 "Revealing Hidden Historical Facts: A Fact-Finding Investigation Team on Forcibly Mobilized Koreans" 『統一評論』 315号 1991.9 pp.22-27.

金 元榮 (KIM Wuong yeong)

「或る韓国人の沖縄生存手記」 *A Memorandum from a South Korean Survivor in Okinawa* 『アヲランのうた』制作委員会 1991 92p.

金 英姫 (KIM Yeong hui)

「忘れることが優しさか－従軍慰安婦問題、在日としての接近」 "Is Forgetting Akin to Gentleness?: The Approach of a Korean - Japanese to the Comfort Women Issue" 『世界』 559号 1991.10 pp.258-267.

前田 勲 (MAEDA Isao)

『海軍航空隊よもやま物語』 *Various Stories Related to the Navy Air Corps* 光人社 1991

本岡 昭次 [インタビュー] (MOTOOKA Syōji)・順 (Sun) [編著]

「“朝鮮人従軍慰安婦”の実態を葬ってはならない」 "The Actual Conditions of 'Korean Comfort Women' Can Not Be Hushed Up" 『朝鮮商報』 1991.12 p.61.

奈良県女性解放共闘 (Naraken josei kaihō kyōtō) [編]

「恨から解き放たれる日のために－日本の戦争責任と従軍慰安婦問題」 *Some Day We Will Be Free from Bitter Grudges: Japanese War Responsibility and the Comfort Women Issue* 奈良県女性解放共闘 1991

1991年

50 p.

日本社会党女性局 (Nihonshakai to joseikyoku)

「日本の戦後責任と従軍慰安婦問題—11.16女性シンポジウム報告」
*Japan's Postwar Responsibility and the Comfort Women Issue: A Report
from the November 16 the Women's Symposium* 日本社会党女性局 1991
72 p.

西山 武彦 (NISHIYAMA Takehiko)

「もうひとつの(韓国人)強制連行(上) —“女子挺身隊”とは何だったのか」
“Another Case of Forcibly Mobilized South Koreans (1): What Were
the Girls' Volunteer Corps?” 『月刊 韓国文化』 1991.3 pp.23-27.

西山 武彦 (NISHIYAMA Takehiko)

「もうひとつの(韓国人)強制連行(中) —日本軍は直営慰安所を設営した」
“Another Case of Forcibly Mobilized South Koreans (2): The Japanese
Army Established Comfort Stations” 『月刊 韓国文化』 1991.4 pp.42-
47.

西山 武彦 (NISHIYAMA Takehiko)

「もうひとつの(韓国人)強制連行(下) —「犠牲者」の人権と名誉回復が
急務」 “Another Case of Forcibly Mobilized South Koreans (3): The
Urgent Necessity to Vindicate Lost Human Rights and the Honor of the
‘Victims’” 『月刊 韓国文化』 1991.5 pp.28-34.

萩原 重夫 (OGIWARA Shigeo)

「純法的議論に先行すべき政治・道義的責任—日朝国交正常化交渉の問題
点」 “Political and Moral Responsibility Must Come Before Purely Legal
Discussion: Problems with Negotiations for Normalization between the
Democratic People's Republic of Korea and Japan” 『朝鮮西報』 1991.4
pp.48-49.

岡本 芳雄 (OKAMOTO Yoshio)

「山河渉」 *Walking in Nature* 通河社 1991

岡村 達雄 (OKAMURA Tatsuo)

「日本が朝鮮人強制連行を問う意味」 "What is Meant by Japanese Questioning the Forced Recruitment of Koreans" 『続・評論』315号 1991.9 pp.28-33.

朴 美津子 (PAK Mi jin ja)

「朝鮮人従軍慰安婦問題を考える」 "On the Korean Comfort Women Issue" 『月刊 ちいさとうそう』251号 1991.11

朴 寿南 (PAK Su nam)

「アリランのうたーオキナワからの証言」 *Singing Arirang: Testimony from Okinawa* 青本書店 1991. 300 p.

方 清子 (PANG Cheong ja)

「従軍慰安婦問題について考える」 "Reflecting on the Comfort Women Issue" 『ねっとわーく』24号 1991.10

方 清子 (PANG Cheong ja)

「『朝鮮人従軍慰安婦問題』を通して日本の戦後を考える」 "On Japan's Postwar Period Through The Issue of Korean Comfort Women" 『F&S さんふぁ』5号 1991.11 pp.6-7.

辛 基秀 (SIN Gi su)

「今なお地下に眠る膨大な連行者名簿ー住友金属鴻之舞鉱業所(北海道紋別市)」 "Massive Undiscovered Lists of Mobilized People: Kōnomai Mine of Sumitomo Metal Co. (Mombetsu City, Hokkaidō)" 『青丘文化』1号 1991.11

曽根 一夫 (SONE Kazuo)

「戦史にない戦争の話」 *Stories of War Not Found in War History* 恒友社 1991

鈴木 裕子 (SUZUKI Yūko)

「従軍慰安婦・天皇・朝鮮」 "Comfort Women, the Emperor, and Korea" 『未来』292号 1991.1 pp.26-31.

1991年

鈴木 裕子 (SUZUKI Yoko)

「再論・従軍慰安婦に軍と国家は関与しなかったのか〔上〕」 "Reconsideration: Were the Military and the Government Not Involved with Comfort Women? (1)" 『未来』 300号 1991.9 pp.12-17.

鈴木 裕子 (SUZUKI Yoko)

「再論・従軍慰安婦に軍と国家は関与しなかったのか〔中〕」 "Reconsideration: Were the Military and the Government Not Involved with Comfort Women? (2)" 『未来』 301号 1991.10 pp.26-31.

鈴木 裕子 (SUZUKI Yoko)

「再論・従軍慰安婦に軍と国家は関与しなかったのか〔下〕」 "Reconsideration: Were the Military and the Government Not Involved with Comfort Women? (3)" 『未来』 302号 1991.11 pp.27-31.

鈴木 裕子 (SUZUKI Yoko)

「昭和史の最暗部－朝鮮人従軍慰安婦問題への接近」 "The Darkest Part of the Showa Era: An Approach to the Korean Comfort Women Issue" 『世界』 特集 歴史の前の責任 558号 1991.9 pp.101-107.

鈴木 裕子 (SUZUKI Yoko)

「朝鮮人従軍慰安婦－証言 昭和史の断面」 *Korean Comfort Women Testimonies: A Cross Section of Showa History* 岩波ブックレット 岩波書店 1991 63p.

シンポジウム「アジアの平和と女性の役割」実行委員会 (SYMPOSIUM [ASIA no Heiwa to Jyosei no Yakuwari] jikkō iinkai) [編]

「ともに生きるアジア－女たちの出会い」 *Living Together in Asia: An Encounter between Women* 1991

高橋 喜久江 (TAKAHASHI Kikue) [他]

「従軍慰安婦問題その後」 "What is the Present Comfort Women Issue?" 『婦人新報』 1089号 1991.6

高崎 宗司 (TAKASAKI Sōji)

「日・朝交渉における日本側の態度を批判する」 "Criticism Over the Japan's Attitude Toward Japan-DPRK Negotiations" 『統一・評論』 1991.9 pp.14-21.

竹村 泰子 (TAKEMURA Yasuko)

「世界は目をつぶってくれないー強制連行と従軍慰安婦」 "Do Not Expect the World to Turn It's Back: Forced Recruitment and Comfort Women" 『月刊 社会党』 特集 突きつけられた日本の戦争・戦後責任 435号 1991.12 pp.85-89.

統一・評論 編集部 (Tōitsu-hyōron henshūbu)

「隠された『真実』の究明を」 "Shedding Light on the Hidden 'Truth'" 『統一・評論』 1991.7 pp.138-139.

植村 隆 (UEMURA Takashi)

「朝鮮人従軍慰安婦の取材から」 "From the Interviewing of Korean Comfort Women" 『無窮花の咲き競う中で』 1991

植村 隆 (UEMURA Takashi)

「改めて日本に突きつけられた朝鮮人従軍慰安婦問題」 "The Korean Comfort Women Issue: A Renewed Challenge for Japan" 『ミレ』 26号 1991.11

白井 敬子 (USUKI Keiko)

「『太平洋戦争犠牲者遺族会』と出会って」 "Participating in the 'Association of Bereaved Families of the Pacific War'" 『ハッキリ通信』 1号 1991.7

白井 敬子 (USUKI Keiko)

「問われる日本の戦後『第二の罪』ー韓国戦争犠牲者」 "Japan's 'Second Postwar Crime' to Be Questioned: South Korean War Victims" 『月刊 社会党』 435号 1991.12

1991年

内海 愛子 (UTSUMI Aiko)・田辺 月夫 (TANABE Sumio) [編著]
『語られなかったアジアの戦後』 *Untold Stories of Postwar Asia* 皇の本
会 1991 356 p.

山田 明子 (YAMADA Meiko)
『慰安婦たちの太平洋戦争－秘められた女たちの戦記』 *The Pacific War
for Comfort Women: Women's Hidden Stories of War* 光人社 1991
285 p.

山根 昌子 (YAMANE Masako) [編]
『松代大本営跡を考える II』 *Thinking of the Site of the Imperial
Headquarters at Matsushiro (2)* 新幹社 1991

山下 英愛 (YAMASHITA Yeong ae)
『韓国における“挺身隊”(従軍慰安婦)問題へのとりくみ』 "South
Korea's Approach to the Issue of the 'Volunteer Corps' (Comfort
Women)" 『婦人新報』1086号 1991.3 pp.22-25.

梁 澄子 (YANG Chung ja)
『朝鮮人慰安婦の家を訪ねて』 "Visiting the Homes of Korean Comfort
Women" 『ミレ』24号 1991.9

梁 澄子 (YANG Chung ja)
『朝鮮人従軍慰安婦－在日朝鮮人二世の女性の視点から』 "Korean Com-
fort Women: The Point of View of Second Generation Korean Girls
Living in Japan" 『不戦』44号 1991.11

柳 連淑 (YU Yeon suk)
『“松代大本営”の地下壕と“慰安婦の家”にて』 "At the 'Matsushiro
Imperial Headquarters' Underground Shelter and Comfort Station" 『ハ
ンガン』1991.8 pp.99-105.

尹 貞玉 (YUN Jeong ok)
『従軍慰安婦の足跡を追って(上)』 "Tracing the Footsteps of 'Com-

fort Women' (1)" 〔統・評論〕310号 1991.4 pp.58-67.

尹 貞玉 (YUN Jeong ok)

「従軍慰安婦」の足跡を追って (下) 〔統・評論〕311号 1991.5 pp.90-99.

尹 貞玉 (YUN Jeong ok)・山下 英愛 (YAMASHITA Yeong ae) 〔訳〕
「挺身隊 (朝鮮人従軍慰安婦) 取材記 [一] 〔ハンギョレ新聞〕1990年1月掲載) "A Journalist's Notes on the Volunteer Corps (Korean Comfort Women) (1), (An Article Appearing in the *Hangyore Shinbun* [daily], January 1990)" 〔未来〕296号 1991.5 pp.18-22.

尹 貞玉 (YUN Jeong ok)・山下 英愛 (YAMASHITA Yeong ae) 〔訳〕
「挺身隊 (朝鮮人従軍慰安婦) 取材記 [二] 〔ハンギョレ新聞〕1990年1月掲載) "A Journalist's Notes on the Volunteer Corps (Korean Comfort Women) (2), (An Article Appearing in the *Hangyore Shinbun* [daily], January 1990)" 〔未来〕297号 1991.6 pp.6-10.

尹 貞玉 (YUN Jeong ok)・山下 英愛 (YAMASHITA Yeong ae) 〔訳〕
「挺身隊 (朝鮮人従軍慰安婦) 取材記 [三] 〔ハンギョレ新聞〕1990年1月掲載) "A Journalist's Notes on the Volunteer Corps (Korean Comfort Women) (3), (An Article Appearing in the *Hangyore Shinbun* [daily], January 1990)" 〔未来〕298号 1991.7 pp.15-19.

尹 貞玉 (YUN Jeong ok)・山下 英愛 (YAMASHITA Yeong ae) 〔訳〕
「挺身隊 (朝鮮人従軍慰安婦) 取材記 [四・完] 〔ハンギョレ新聞〕1990年1月掲載) "A Journalist's Notes on the Volunteer Corps (Korean Comfort Women) (4, conclusion), (An Article Appearing in the *Hangyore Shinbun* [daily], January 1990)" 〔未来〕299号 1991.8 pp.17-20.

「従軍慰安婦問題を考えるさまざまな取り組み」 "Various Approaches to the Issue of Comfort Women" 〔民権協ニュース〕3号 1991.3

「従軍慰安婦」の真相究明を！ー韓・日女性が日本政府に要求」 "Disclose

1991年

the Truth About 'Comfort Women' - South Korean and Japanese Women Demand to the Japanese Government" 『統・評論』 310号 1991.4 pp. 54-57.

「隠べいされた歴史に今こそ光を――『朝鮮人従軍慰安婦』 *It Is Time to Unveil the Hidden History: "Korean Comfort Women"* 在日韓国民民主女性会 1991 83p.

「従軍慰安婦問題で国会質問」 "Questions in the Diet on the Comfort Women Issue" 『民権ニュース』 5号 1991.5

「東京で『尹貞玉さんをおもむ会』」 "A Personal Meeting with Jeong ok Yun' in Tokyo" 『統・評論』 1991.5 p.103.

「日本人元従軍慰安婦の証言――朝鮮人女性の惨状を目撃」 "Testimonies of Former Japanese Comfort Women: Witness of Korean Women's Tragic Situation" 『統・評論』 311号 1991.5 pp.100-102.

「『従軍慰安婦』にされた盧寿福ハルモニの半生――いまだいえぬ傷跡」 "An Account of the First Half of the Elderly Korean Woman Su bok No's Life, A Comfort Woman: The Scar is Not Yet Healed" 『統・評論』 313号 1991.7 pp.140-145.

「従軍慰安婦問題と私たち」 "The Comfort Women Issue and Us" 『女性通信』 29号 1991.8

「ああ、従軍慰安婦」 *Ah, Comfort Women* 日本YWCA人権を考える委員会 1991 56p.

「過去を直視してこそ朝・日間の新しい未来が――各地朝鮮人強制連行調査団本格的な現地調査」 "A New Bilateral Future for Japan-DPRK Relations Will Be Born Only When We Face the Past Squarely: Full Scale Field Surveys Carried Out All Over Japan by the Fact-Finding Investigation Team on Forcibly Mobilized Koreans" 『朝鮮商報』 1991.10 pp.48-

49.

『合宿報告書 語りあかそう！「在日」女性の明日に向かって～尹貞玉さんとともに朝鮮人従軍慰安婦問題を考える』 *A Report on an Overnight Workshop, Let's Talk All Night Long! For the Future of Korean Women Living in Japan: Reflecting on Korean Comfort Women Together with Jeong ok Yun* 従軍慰安婦問題ウリョソンネットワーク 1991

『朝鮮人従軍慰安婦問題資料集』 *A Collection of Source Materials on the Korean Comfort Women Issue* 朝鮮人従軍慰安婦問題を考える会 1991 48 p.

『従軍慰安婦問題男性の意見特集』 "Special Edition of Men's Comments on Comfort Women" 『わっとわーく』 25号 1991.12

| 1992 年

新井 佐和子 (ARAI Sawako)

「従軍慰安婦問題に思う」 "Thinking about the Comfort Women Issue"
『現代コリア』318号 1992.1 pp.20-21.

新井 佐和子 (ARAI Sawako)

「だれも書かなかった「従軍慰安婦」問題の核心部分」 "The Heart of the
'Comfort Women' Issue About Which Nobody Has Written" 『週刊 時
事』34巻4号 1992.2.1 pp.14-17.

荒木 のり (ARAKI Nori)

「戦後補償と軍隊慰安婦問題」 "Postwar Compensation and the Comfort
Women Issue" 『あこら』1992.5

朝日新聞社 (Asahi-shimbunsha) [編]

「女たちの太平洋戦争 ③」 *The Pacific War for Women* (3) 朝日新聞社
1992

「アジア・太平洋地域 戦後補償を考える国際フォーラム」実行委員会
([ASIA・taiheiyôchiiki sengowô kangaeru kokusaiFORUM] jikkô iin-
kai) [編]

「アジアの声 第6集-戦後補償を考える」 *Voices of Asia* (6): *Reflecting
on Postwar Compensation* 東方出版 1992 220 p.

「アジアの平和と女性の役割」ピョンヤンセミナー日本代表団 ([ASIA no
heiwato joseinoyakuwari] Pyeong Yang SEMINAR nihondaihyôdan
jinukyoku) [編]

「女たちは軍事境界線を越えたー「アジアの平和と女性の役割」ピョンヤン
セミナー報告集 (一九九二・九・一〜六)」 *Women Who Crossed the
Military Border: Reports from the Pyongyang Seminar on "Peace in Asia
and the Roles of Women" (September 1-6, 1992)* 『アジアの平和と女性
の役割』ピョンヤンセミナー日本代表団 1992 89 p.

浅路 芳・(AWAJI Yoshikazu)

「従軍慰安婦」問題が示した日本の社会」"Japanese Society Revealed Through the 'Comfort Women' Issue" 『月刊 社会党』138号 1992.3 pp.128-129.

ビートたけし (BITO Takeshi)

「従軍慰安婦とチョコレート」"Comfort Women and Chocolate" 『週刊 文春』たけしの場外乱闘 [16] 31巻5号 1992.2.6 pp.48-50.

張 貞任 (CHANG Jeong in)・金 知榮 (KIM Ji yeong) [訳]

「あなた朝鮮の十字架よー歴史詩集従軍慰安婦」*Crucified for Korea: Historical Poems of Comfort Women* 影書房 1992 221 p.

鄭 大均 (CHEONG Dae Gyun)

「従軍慰安婦問題で見えたモラル批判の落とし穴」"The Fallacy of Moralistic Criticism of the Comfort Women Issue" 『サンデー』3巻5号 1992.5 pp.86-92.

鄭 鎮星 (CHEONG Jin seong)

「挺身隊利明」を政府にだけまかせられない」"We Can Not Entrust the Government Alone to 'Look into the Volunteer Corps Closely'" 『月刊 朝鮮資料』(376) 1992.9 pp.25-26.

朝鮮人強制連行真相調査団 (Cyōsenjin kyōsei renkō shinsō cyōsadan) [編]

「朝鮮人「慰安婦」・強制連行の真相究明と補償を」*Finding Out the Truth and Making Compensation to Korean "Comfort Women" and the Forcibly Mobilized* 朝鮮人強制連行真相調査団 1992 62 p.

デンマン、ヤン (DENMAN, Yan)

「慰安婦」執念」"Obsessed with 'Comfort Women'" 『週刊 新潮』東京情報 [1593] 37巻5号 1992.2.6 pp.112-113.

江原 山英子 (EHARA Yumiko)

1992年

「従軍慰安婦についてー記憶の政治学」 "Comfort Women: The Political Science of Memory" 【思想の科学】第7次 159号 1992.12 pp.32-41.

福地 暁昭 (FUKUCHI Hiroaki) 【編著】

「オキナワ戦の女たちー朝鮮人従軍慰安婦」 *Women in Battles on Okinawa: Korean Comfort Women* 海風社 1992 284p.

福島 瑞穂 (FUKUSHIMA Mizuho)

「日本人の歴史認識を問い直すー「従軍慰安婦」の対日戦後補償訴訟に取り組んで」 "Reviewing the Japanese Perception of History: Dealing with the 'Comfort Women' Lawsuit against Japan Seeking Postwar Compensation" 【統一評論】 1992.4 pp.43-46.

福島 瑞穂 (FUKUSHIMA Mizuho)

「従軍慰安婦訴訟」 "Comfort Women Lawsuits" 【法学セミナー】特集 いま問われる日本の戦後補償 37巻8号(452) 1992.8 pp.65-67.

福島 瑞穂 (FUKUSHIMA Mizuho)

「国際的に裁かれる「人道に対する罪」ー「従軍慰安婦裁判」の現状と課題」 "Crimes Against Humanity to Be Internationally Judged: The Current State of 'Comfort Women' Lawsuits and Major Issues" 【月刊 社会党】特集 戦後補償ー来年こそ実現の一步を 418号 1992.12 pp.51-56.

船橋 洋一 (FUNABASHI Yôichi)

「従軍慰安婦問題と私たち」 "The Comfort Women Issue and Us" 【週刊朝日】船橋洋一の世界ブリーフィング [105] 97巻6号 1992.2.14 pp.51-50.

月刊朝鮮資料編集部 (Gekkan Chôsen Shiryô Hensyôbu)

「元「従軍慰安婦」の証言」 "Testimonies of Former 'Comfort Women'" 【月刊 朝鮮資料】 32巻9号(376) 1992.9 pp.13-24.

萩谷 朴 (HAGIYA Boku)

「ぼくの大東亜戦争」 *My Greater East Asia War* 河出書房新社 1992

韓 桂玉 (HAN Kye ok)

『日韓摩擦』と過去の清算』 "Japan-ROK Friction' and the Liquidation of the Past" 『マスコミ市民』 1992.7 pp.60-68.

韓 時坤 (HAN Si kon)・金 相律 (KIM Ch'ang ryul) [訳]

『一・二〇学兵史記-朝鮮入学徒兵の手記-私が出会った女子挺身隊』 "A Personal History of 120 Student Soldiers - A Note of a Korean Student Soldier: Girls' Volunteer Corps Members I Met" 『びんそんぷあ』 6号 1992.3 pp.20-21.

岸 公平 (HANA Kōhei)

『従軍慰安所 (海乃家) の伝言-海軍特別陸戦隊指定の慰安婦たち』 *Messsages on the Comfort Station "Umino-ya": Comfort Women Serving the Navy's Special Land Forces* 日本機関紙出版センター 1992 146 p.

花房 英利 (HANABUSA Hidetoshi)

『はじまりはアリランから-民族問題を考える高校生たち』 *It Begins with the Arirang Song: Senior High School Students Considering Ethnic Problems* 平和文化 1992 159 p.

〈ハンドブック戦後補償〉編集委員会 (〈HANDBOOK sengohoshō〉 hen-shū iinkai) [編]

『ハンドブック 戦後補償』 *The Postwar Compensation Handbook* 梨の木舎 1992 248 p.

秦 郁彦 (HATA Ikuhiko)

『従軍慰安婦たちの春秋』 "Years of Comfort Women" [正論] 昭和史の謎を追う [37] 238号 1992.6 pp.328-343.

秦 郁彦 (HATA Ikuhiko)

『検証「慰安婦狩り証言」第3弾-ドイツの従軍慰安婦問題』 "Verification of 'Testimony on Comfort Women Hunting' (3): The Issue of Comfort Women in Germany" 『諸君!』 24巻9号 1992.9 pp.132-141.

1992年

林 えいだい (HAYASHI Eidai)

「過去を正統に記録し清算すべし」 "The Past Should Be Correctly Recorded and Settled" 『ミレ』33号 1992.6

林 昌子 (HAYASHI Masako)

「なぜ今頃なのか、従軍慰安婦問題」 "Why Is the Comfort Women Issue Questioned Now?" 『マスコミ市民』279号 1992.4 p.19.

飛田 雄一 (HIDA Yûichi)

「癒されない過去—従軍慰安婦問題関連書紹介」 "A Past with Open Wounds: An Introduction to Books on the Comfort Women Issue" 『ほん・コミュニケーション』62号 1992.7

樋口 雄一 (HIGUCHI Yûichi)

「朝鮮料理店女性と「産婦慰安婦」」 "The Women of Korean Restaurants and 'Commercial Comfort Women'" 『海峡』16号 1992.12 pp.16-31.

平林 久枝 (HIRABAYASHI Hisae) [編・解説]

「強制連行と従軍慰安婦—「戦争と平和」市民の記録13」 *Forced Mobilization and Comfort Women: A Record of Citizens on "War and Peace" 13* 平和図書館 日本対外センター 1992 282 p.

許 在文 (HEO Jae mun)・金 潤任 (KIM Sun in) [編著]

「はてしなき涯—強制労働・発病・結婚」 *Endless Abyss: Forced Labor, The Outbreak of Illness, and Marriage* 自費出版 1992 86 p.

本多 勝一 (HONDA Katsuichi)

「誘拐・殺人・逮捕・強姦・輪姦—「従軍慰安婦」の実態」 "Kidnapping, Murder, Capture, Rape, Gang Rape: The Reality of 'Comfort Women'" 『朝日ジャーナル』1992.3.13 pp.40-41.

本田 靖春 (HONDA Yasuharu)

「韓国人慰安婦への「罪」を消し去るな」 "Do Not Brush Off 'Crimes' Committed against South Korean Comfort Women" 『現代』本田靖春の

「時代を視る眼」[16] 26巻4号 1992.4 pp.134-137.

本田 靖春 (HONDA Yasuharu)

「従軍慰安婦問題への「反論」を斬る―厚顔無恥な上坂冬子「緊急寄稿」」
"Critiquing 'Counter-Arguments' to the Comfort Women Issue: A Shameless 'Urgent Appeal to the Media' by Fuyuko Kamisaka" 『ミレ』33号 1992.6

洪 祥進 (HONG Sang jin)

「朝鮮人従軍慰安婦―“資料”は語る」 "Korean Comfort Women: The 'Documents' Speak for Themselves" 『統一評論』324号 1992.6 pp.77-82.

京浦 康子 (KIWANGPO Kang ja)

「『従軍慰安婦問題』をめぐる動きと私たち」 "Activities Surrounding the 'Comfort Women Issue' and Us" 『民協協ニュース』(14) 1992.2

京浦 康子 (KIWANGPO Kang ja)

「『知って、どうするのか』―在日女性が考える『朝鮮人従軍慰安婦問題』」
"What to Do After Becoming Aware of the Issue? Korean - Japanese Women Reflect on the 'Korean Comfort Women Issue'" 『フェミローグ』3号 1992.6 pp.3-25.

市川 速水 (ICHIKAWA Hayami)

「従軍慰安婦問題の「いま」―無知からの出発」 "The 'Current' State of the Comfort Women Issue: Departing from Ignorance" 『季刊 青丘』12号 1992.5 pp.166-161.

池田 錬二 (IKEDA Renji)

「松代大本営建設現場に設営された「慰安所」」 "A 'Comfort Station' Built at the Construction Site for the Imperial Headquarters in Matsushiro" 『文化評論』特集 従軍慰安婦問題と戦争責任 375号 1992.4 pp.82-89.

1992年

今拾掇 俊伸 (IMAKYURE Toshinobu)

「従軍慰安婦問題の授業を通して考えたこと」 "The Comfort Women Issue as Discussed in the Classroom" 『続・評論』323号 1992.5 pp.50-57.

石橋 孝 (ISHIBASHI Takashi)

「旧植民地の落とし子—台湾「高砂義勇軍」は今」 "Children of the Former Colony: What Is Happening to the 'Tagasago Aboriginal Volunteer Corps' in Taiwan Now" 創思社出版 1992 305 p.

石飛 仁 (ISHITOBI Jin)

「日朝会談に託した元従軍慰安婦の願い」 "Former Comfort Women who Entrusted Their Pleas to the Japan - DPRK Conferences" 『続・評論』324号 1992.6 pp.112-118.

磯貝 治良 (ISOGAI Jirô)

「田村泰次郎が描いた軍隊「慰安婦」」 "Taijiro Tamura's Descriptions of 'Comfort Women'" 『新日本文学』特集 戦後の文学における「戦争と性」47巻10号(532) 1992.10 pp.108-111.

坂倉 山明 (ITAKURA Yoshiaki)

「検証「慰安婦狩り」懺悔者の真実—朝日新聞に公開質問！阿鼻叫喚の強制連行は本当にあったのか？」 "Verifying the Credibility of Confessors of 'Comfort Women Hunting': Open Inquiry to the Asahi Shinbun - 'Did Forced Recruitment with Agonizing Cries Really Take Place?'" 『諸君！』24巻7号 1992.7 pp.66-78.

伊東 秀子 (ITÔ Hideko) [他]

「「従軍慰安婦」報道論争「私はこう考える」」 "The Media Debate on 'Comfort Women', 'My Opinion'" 『週刊ポスト』24巻11号 1992.3.13 pp.196-199.

伊東 秀子 (ITÔ Hideko)

「誠意ある調査と補償を一刻も早く—従軍慰安婦問題・政府追及の経過」

"Sincere Investigation and Compensation, Quickly!: Exerting Pressure on the Government concerning the Issue of Comfort Women" 【月刊 社会党】
特集 戦後補償—来年こそ実現の一步を 448号 1992.12 pp.57-62.

伊藤 恵・(ITÔ Ken'ichi)

「従軍慰安婦問題の事実関係をもう少し冷静に掘り下げてみよう」 "Let's Look into the Comfort Women Issue More Calmly and Factually" 【財界】40巻6号 1992.3.3 p.18.

伊藤 恵・(ITÔ Ken'ichi)

「朝鮮人慰安婦問題を「人さらい」の次元でみていいのか？」 "Should We Talk about the Korean Comfort Women Issue from the Perspective of 'Kidnapping'?" 【財界】40巻11号 1992.4.28 p.78.

伊藤 孝司 (ITÔ Takashi)

「置き去りにされた韓国・朝鮮人の証言—日本の戦後補償を考える」 *Testimony of Abandoned South and North Koreans: Thinking about Japan's Postwar Compensation* 豊中市人権啓発推進会議「人権平和フォーラム」1992

伊藤 孝司 (ITÔ Takashi)

「朝鮮人元従軍慰安婦・文玉珠さんが語る「地獄の日々」」 "Hellish Days' Described by Ms. Ok ju Mun, a Former Korean Comfort Woman" 【フレイデー】1992.1.31 pp.22-24.

伊藤 孝司 (ITÔ Takashi) 【編著】

「証言 従軍慰安婦・女子勤労挺身隊—強制連行された朝鮮人女性たち」 *Testimonies of Comfort Women and Female Volunteer Labor Troops: Forcibly Recruited Korean Women* 風媒社 1992 150p.

伊藤 孝司 (ITÔ Takashi)

「元従軍慰安婦と強制連行被害者—地獄絵の証言」 "Former Comfort Women and Victims of Forced Recruitment: Testimony of the Cruel Scene" 【月刊 社会党】446号 1992.10 pp.62-67.

1992年

伊藤 孝司 (ITÔ Takashi)

「従軍慰安婦に会って―歴史の闇を明らかにする意味」 "Meeting Comfort Women: The Significance of Shedding Light on the Dark Side of History" 〔名古屋御坊〕 1992.10.10

伊藤 孝司 (ITÔ Takashi)

「17歳の春、私はこうして日本軍に強制連行された」 "In the Spring of Age 17, This Is the Way I Was Forcibly Recruited by the Japanese Military" 〔週刊 現代〕 1992.10.24

従軍慰安婦110番編集委員会 (Jōgun-ianfu 110ban henshū iinkai) 〔編〕

「従軍慰安婦110番―電話の向こうから歴史の声」 *The Comfort Women Hot Line: A Testament to History* 明石書店 1992 188 p.

従軍慰安婦情報ホットライン奈良県実行委員会 (Jōgun-ianfu jōhō HOT-LINE Naraken jikkō iinkai) 〔編〕

「ホットライン奈良“従軍慰安婦”」 *The Nara "Comfort Women" Hot Line* 従軍慰安婦情報ホットライン奈良県実行委員会 1992 35 p.

従軍慰安婦問題ウリヨソンネットワーク (Jōgun-ianfu mondai uriyoeson Network)

「この「恨」を解くために―「元従軍慰安婦・金学順さんの話を聞く集い」を終えて」 *For the Restitution of These "Bitter Grudges": After Closing the "Meeting for Listening to the Story of Hak sun Kim, A Former Comfort Women"* 従軍慰安婦問題ウリヨソンネットワーク 1992 48 p.

「従軍慰安婦」および太平洋戦争被害者補償対策委員会 (Jōgun-ianfu oyobi taiheiyōsensō higaisha hoshōtaisaku iinkai)

「日本政府は「従軍慰安婦」問題の真相を明らかにし謝罪をすべきである―「従軍慰安婦」・太平洋戦争被害者補償対策委員会の告訴状（9月1日）」 "The Japanese Government Should Disclose the Truth on the 'Comfort Women' Issue and Apologize: A Letter of Complaint from the Committee for 'Comfort Women' and Victims of the Pacific War (September 1)" 〔日刊 朝鮮資料〕 32巻11号(378) 1992.11 pp.41-55.

従軍慰安婦問題行動ネットワーク (Jōgun-ianfumondai kōdō NET-WORK)

「従軍慰安婦問題アジア連帯会議報告集」 "A Collection of Reports on Asian Solidarity Regarding the Issue of Comfort Women" 従軍慰安婦問題行動ネットワーク 1992 91p.

珠 (Jyu)

「'92・論壇にみる共和国の対日姿勢 ⑦」 "The DPRK's Attitude toward Japan as Seen in the Tone of Argument in 1992 (7)" 月刊 朝鮮資料 32 巻 9 号 (376) 1992.9 pp.59-26.

珠 (Jyu)

「'92・論壇にみる共和国の対日姿勢 ⑧」 "The DPRK's Attitude toward Japan as Seen in the Tone of Argument in 1992 (8)" 月刊 朝鮮資料 32 巻 10 号 (377) 1992.10 pp.59-63.

鹿嶋 節子 (KAKIUMA Setsuko)

「鈴木裕子著『朝鮮人従軍慰安婦』一木の紹介を兼ねた感想」 "A Book Review and Some Comments on *Korean Comfort Women* by Yūko Suzuki" むくげ通信 130 号 1992.1

賀数 かつ子 (KAKAZU Katsuko)・河名 恵子 (KAWANA Keiko)・ほか【編著】

「戦争と女性-『慰安所マップ』が語るもの 沖縄」 *War and Women: What Does the "Comfort Station Map" Tell Us? - Okinawa* 第5回「全国女性史研究交流のつどい」第1分科会 1992 38p.

上坂 冬子 (KAMISAKA Fuyuko)

「新聞の“従軍慰安婦”報道って、おかしくありません? - 誰もいわないから、あえて私が書く」 "Is There Something Strange about Newspaper Reports on 'Comfort Women?'" 週刊 ポスト 24 巻 9 号 1992.2.28 pp.216-219.

上坂 冬子 (KAMISAKA Fuyuko)・曾野 綾子 (SONO Ayako)【編著】

1992年

「学校給食廃止、町長ガンバレー」100回記念公開対談] "School Lunch Discontinued, Support the Mayor: 100th Memorial Public Talks" [THIS IS 故郷] 3巻6号 1992.9 pp.228-239.

姜 明姫 (KANG Myeong hui)

「統一祖国を夢見た晩年-「従軍慰安婦」にされた裴奉奇さんの生涯」 "Last Years' Dream of a United Country: The Life of Pon gi Pae, Forced to Become a 'Comfort Woman'" [統一評論] 320号 1992.2

姜 明姫 (KANG Myeong hui)

「望まれる南北の共同歩調-「従軍慰安婦」問題の現状と南北の対応」 "In the Hope That North and South Korea Act Together: The Current Situation of the 'Comfort Women' Issue and the Reactions of North and South Korea to This Issue" [統一評論] 1992.5 pp.66-72.

姜 明姫 (KANG Myeong hui)

「「従軍慰安婦」調査報告の問題点」 "The Fallacies of an Investigation Report on 'Comfort Women'" [統一評論] 327号 1992.9 pp.130-131.

『韓国女性新聞』(『Kankoku josei shinbun』)・方 清子 (PANG Cheong ja) [訳]

「恥辱と絶望の生-ベ・ポンギ ハルモニのはなし②」 "A Life of Shame and Despair: The Story of the Elderly Korean Woman Pon gi Pae (2)" 『ほんそんふあ』6号 1992.3 pp.1-7.

加藤 正夫 (KATÔ Masao)

「事実無根の慰安婦狩証言」 "Groundless Testimony on Comfort Women Hunting" [現代コリア] 325号 1992.10 pp.45-55.

加藤 清蔵 (KATÔ Seizô)

「自衛隊派兵より従軍慰安婦の解決を早く」 "Solve the Comfort Women Problem before Dispatching Self-Defense Forces" 『マスコミ市民』 1992.1 pp.19-20.

川田 文子 (KAWADA Fumiko)

「遺志は引き継がれた一元従軍慰安婦ポンギさんの生と死」 "An Inherited Last Wish: The Life and Death of Pon gi Pae, A Former Comfort Woman" 『世界』564号 1992.2 pp.246-253.

川村 淡 (KAWAMURA Minato)

「小説の中の『従軍慰安婦』」 "Comfort Women' in Novels" 『季刊 古今』13号 1992.8 pp.160-167.

川瀬 俊治 (KAWASE Toshiharu)

「朝鮮人強制連行の歴史、半世紀たち明るみに - 奈良県野迫川村の銅山へ、慰安所も」 "A History of the Forcibly Mobilized Koreans Finally Revealed after Half a Century: A Copper Mine in Nosakogawa Village, Nara Prefecture, with a 'Comfort Station'" 『ミレ』37号 1992.10

菊池 竹史 (KIKUCHI Takeshi)

「なぜ報道しなかった『従軍慰安婦問題』」 "Why Was the 'Comfort Women' Issue Not Reported?" 『マスコミ市民』1992.3 pp.54-55.

金 学順 (KIM Hak sun) [他]

「私たちは忘れない日本の罪行を-『従軍慰安婦』『勤労挺身隊』に動員された女性たちの証言」 "We Shall Never Forget Japan's Barbaric Actions: Testimonies of Women Mobilized as 'Comfort Women' and 'Volunteer Corps Members'" 『統一評論』321号 1992.3 pp.76-79.

金 和英 (KIM Hwa mi)

「民族の総意と『従軍慰安婦』」 "The Ethnic Consensus and 'Comfort Women'" 『新しい世代』1992.5

金 伊佐子 (KIM I jwa ja)

「哀事奇ハルモニが亡くなって」 "After the Elderly Korean Woman Pon gi Pae Died" 『ミレ』30号 1992.3 pp.39-43.

金 一勉 (KIM Il myeon) [編著]

1992年

『軍慰安婦－戦争と人間の記録（新装版）』 *Comfort Women: A Record of War and Mankind (New Edition)* 徳間書店 1992 257 p.

金 在甫 (KIM Jae nam)

『鳳仙花のうた』 *A Song of Touch-Me-Nots* 河出書房新社 1992 228 p.

金 静媛 (KIM Jeong wun)

『相生市・善光寺に眠る強制連行朝鮮人の遺骨』 “The Remains of Forcibly Recruited Koreans Buried in Zenkōji Temple in Aioi-shi” 『統一評論』 322号 1992.4 pp.47-53.

金 民泰 (KIM Min tae)

『冷戦崩壊』と未決の戦争処理 “The ‘Collapsed Cold War’ and Unsettled War Treatment” 『統一評論』 1992.5 pp.22-31.

金 文淑 (KIM Mun suk)

『朝鮮人軍慰安婦－韓国女性からの告発』 *Korean Comfort Women: Accusations by South Korean Women* 明石書店 1992 271 p.

金 相基 (KIM Sang gi)

『日本政府は誠意をもって謝罪、補償を－現地レポート北京 第6回朝・日政府間会談』 “The Japanese Government Should Sincerely Apologize and Compensate: A Field Report of the Sixth Japan-D.P.R.K. Intergovernmental Talks in Beijing” 『朝鮮西報』 1992.4 pp.48-49.

金 順愛 (KIM Sun ae)

『朝鮮人強制連行・従軍慰安婦問題を追って』 “In Pursuit of the Issue of Forcibly Mobilized Koreans and Comfort Women” 『統一評論』 1992.5 pp.46-49.

金 英達 (KIM Yeong dal)

『〈解説〉学徒兵と従軍慰安婦』 “〈Explanatory Note〉 Student Soldiers and Comfort Women” 尹 静基 『母・従軍慰安婦』 神戸学生・青年七

ンター出版部 1992.4

金 英達 (KIM Yeong dal)

「『強制連行』と朝鮮人戦時動員—概念規定についての—考察」 “‘Forced Mobilization’ and the Wartime Recruitment of Koreans: A Consideration of Conceptual Rules” 『統一評論』 323号 1992.5 pp.40-45.

金 英達 (KIM Yeong dal) [編]

「朝鮮人従軍慰安婦・女子挺身隊資料集」 “A Collection of Documents on Korean Comfort Women and the Female Volunteer Corps” 神戸学生青年センター出版部 1992 226p.

金 玲希 (KIM Yeong hui)

「反響よんだ強制連行者、死亡者名簿—般公開—朝鮮人強制連行真相調査団が12万6000人分」 “Disclosure of a List of Forcibly Mobilized People and People Who Died Evoking a Sensation: 126,000 Victims Found by the Fact Finding Investigation Team on Forcibly Mobilized Koreans” 『朝鮮商報』 1992.1 pp.48-49.

金 玲希 (KIM Yeong hui)

「貴重な証言が相次ぐ—全国21ヶ所で『強制連行ホットライン』設置」 “Precious Testimonies Continue: Hot-Lines on Forced Recruitment at 21 Places Nationwide” 『朝鮮商報』 1992.5 pp.46-47.

金 玲希 (KIM Yeong hui)

「朝鮮植民地支配の問題とマスコミ報道—女性とメディア」 “The Issue of Korean Colonial Rule and Mass Communications Coverage: Women and the Media” 『マスコミ市民』 1992.7 pp.18-21.

金 玲希 (KIM Yeong hui)

「実態解明を意図的に回避しようとする日本政府の調査発表」 “The Japanese Government's Announcement of Investigation Results, Having Tried to Evade Disclosure of the ‘Truth’” 『朝鮮商報』 1992.9 pp.48-49.

1992年

金 玲希 (KIM Yeong hui)

「朝鮮人強制連行事件①」 "The Forcibly Mobilized Koreans Affair (1)"
『マスコミ市民』 1992.8 pp.52-53.

金 玲希 (KIM Yeong hui)

「朝鮮人強制連行事件②」 "The Forcibly Mobilized Koreans Affair (2)"
『マスコミ市民』 1992.9 pp.58-59.

金 玲希 (KIM Yeong hui)

「朝鮮人強制連行事件③」 "The Forcibly Mobilized Koreans Affair (3)"
『マスコミ市民』 1992.10 pp.36-37.

金 玲希 (KIM Yeong hui)

「朝鮮人強制連行事件④」 "The Forcibly Mobilized Koreans Affair (4)"
『マスコミ市民』 1992.11 pp.36-37.

金 玲希 (KIM Yeong hui)

「朝鮮人強制連行事件⑤」 "The Forcibly Mobilized Koreans Affair (5)"
『マスコミ市民』 1992.12 pp.70-71.

金 英姫 (KIM Yeong hui)

「中国東北地方に慰安婦の足跡を訪ねて」 "Looking for Footprints of
Comfort Women in Northeast China" 『民権協ニュース』 2巻8号(20)
1992.8

岸田 秀 (KISHIDA Syô)・松本 健一 (MATSUMOTO Ken'ichi) [編
著]

「謝罪する国民と謝罪しない国民」 "Nations Who Apologize and Nations
Who Do Not Apologize" 『諸君』 24巻4号 1992.4 pp.40-50.

北河 賢三 (KITAGAWA Kenzô)

「補償要求運動の現状と戦後処理の問題点」 "The Current Status of Com-
pensation Claim Movements and Problems with Postwar Settlement"
『歴史評論』 508号 1992.8

北沢 杏子 (KITAZAWA Kyôko)・朴 和美 (PAK Hwa mi) [編著]
『「従軍慰安婦」問題が突きつけるもの—性と人権の侵略』 *What is at Stake in the "Comfort Women" Issue? An Intrusion on Sex and Human Rights* BOC出版部 1992 101p.

橘高 幸子 (KITSUTAKA Sachiko)
『従軍慰安婦証言集会 (3/2) に参加して』 "Participating in a Meeting for Comfort Women's Testimonies (March 2)" [婦人新報] 1104号 1992. 9 p.26.

小林 淳宏 (KOBAYASHI Atsuhiko)
『慰安婦問題は補償済み、勘弁して!と叫びたい』 "I Want to Shout, Compensation for the Comfort Women Issue Was Already a Done Deal, Give Us a Break!" [THIS IS 読売] 3巻1号 1992.4 pp.236-241.

協川 哲夫 (KOGAWA Tetsuo)
『権力なんて知らないよ—私たちは、いかなる権力を育てているか』 "Don't Care about Power: What Power Are We Nurturing?" [思想の科学] 第7次 154号(491) 1992.7 pp.4-7.

小泉 省吾 (KOIZUMI Syôgo)
『「朝鮮人従軍慰安婦」問題—「文芸春秋」4月号西岡論文に思う—反省と道義を欠く反論』 "The Issue of 'Korean Comfort Women': Nishioka's Thesis in the April Issue of *Bungei Shunju* - Counter-Arguments Lacking in Self-Reflection and Morals" [大阪アジア・アフリカ連帯] 38号 1992.4

国際人権研究会 (Kokusai Jinken kenkyôkai) [編]
『国際法から従軍慰安婦・強制連行問題を正す—国連が審議した日本の戦後補償』 *Analyzing the Issue of Comfort Women and Forced Mobilization from an International Law Perspective: Japanese Postwar Compensation as Discussed by the United Nations* 国際人権研究会 1992 75p.

国際人権研究会 (Kokusai jinken kenkyôkai) [編]

1992年

『日本の戦争責任・戦後補償を問い直す国際的視点』 *International Viewpoints on Reexamining Japan's War Responsibility and Postwar Compensation* 国際人権研究会 1992 100 p.

コリアリサーチセンター (KOREA RESEARCH CENTER)

『挺身隊問題の謝罪と補償－韓国世論調査に見る』 "The Apology and Compensation for Volunteer Corps Issue: As Seen in a Public Opinion Poll Conducted in South Korea" 『統一評論』 1992.12 pp.39-40.

琴 秉洞 (KUM Byeong dong) [編・解説]

『戦場日記にみる従軍慰安婦秘資料集』 *A Collection of Secret Materials on Comfort Women as Found in Battlefield Journals* 緑蔭書房 1992 398 p.

久野 綾子 (KUNO Ayako) [編]

『特集 朝鮮人従軍慰安婦』 "Special Report: Korean Comfort Women" 『おんなの叛逆』 1992.5

倉橋 正直 (KURAHASHI Masanao)

『従軍慰安婦問題を考える四つの観点』 "Four Viewpoints on the Comfort Women Issue" 『季刊 中世』 1992.6

栗原 透 (KURIHARA Toru)

『生々しい体験談に胸しめつけられる－「朝鮮人強制連行訪朝調査代表団」の大任を果たして』 "It Wrings My Heart to Hear Their Vivid Stories of Experiences: The Completion of the Severe Duty of a 'Representative Group Trip to North Korea to Investigate Korean Forced Recruitment'" 『朝鮮画報』 1992.11 pp.40-41.

黒田 勝弘 (KURODA Katsuhiko)

『「挺身隊」問題で考えたこと』 "What I Think about the Issue of the 'Volunteer Corps'" 『現代コリア』 319号 1992.2

黒田 勝弘 (KURODA Katsuhiko)

「韓国『日本主敵論』の真意－反日ナショナリズムに鎮る南北和解ムードの危うさ」 "The True Meaning of South Korea's 'Japan is the Main Enemy': The Danger in the Reconciliating Mood Between North and South Korea Which Depends on Anti-Japan Nationalism" [Voice] 1992.4 pp.116-125.

黒田 勝弘 (KURODA Katsuhiko)

「朝鮮半島の世紀末－ソウル発最新レポート」 *The End of the Century on the Korean Peninsula: The Latest Report from Seoul* 東洋経済新報社 1992 239 p.

黒田 勝弘 (KURODA Katsuhiko)

「日韓最悪の夏－『従軍慰安婦』と『日本征伐』」 "The Worst Summer for Japan and South Korea: 'Comfort Women' and the 'Subjugation of Japan'" [諸君！] 24巻10号 1992.10 pp.121-129.

京都新聞社 (Kyōto shinbunsha) [編]

「日本社会の『いま』を撃つ－水平社宣言の視点から」 *Criticizing the "Present" of Japanese Society: - The Point of View of the Suiseisha Manifestation* 解放出版社 1992 231 p.

李 杜益 (LEE Chu ik)

「従軍慰安婦問題で熱いケンカをしませんか（東京発）」 "Would You Like to Have a Hot Debate on the Comfort Women Issue? (Report from Tokyo)" [朝日ジャーナル] 34巻10号 1992.3.6 pp.40-41.

李 効再 (LEE Hyo jae)

「韓日関係の正常化と挺身隊問題」 "The Normalization of Japan-ROK Relations and the Issue of Korean Volunteer Corps" [福音と世界] 47巻13号 1992.12

李 尚七 (LEE Sang ch'il)

「被害事実の国際機関による追求－国連人権小委・差別防止委に参加して」 "The Facts of Causalities Questioned by an International Organization:

1992年

Participating in Discrimination Prevention of the U. N. Human Rights Sub-Committee" [統一評論] 1992.11 pp.75-77.

李 相淵 (LEE Sang ho)

「日本新聞の韓国報道傾向分析—「従軍慰安婦」と「貿易不均衡・技術移転」を中心として」 "An Analysis of Trends in the South Korean Media by Japanese Newspapers: Focusing on 'Comfort Women' and the 'Trade Imbalance and Technology Transfer'" [慶応義塾大学新聞研究所年報] 39号 1992.9 pp.123-141.

李 寧熙 (LEE Yeong hui)

「不幸」の根に、美しい「未来」の接ぎ木を—海の向こうで考える」 "Grafting the 'Future' to the Root of 'Misfortune': Thinking Over the Ocean" [月刊 Asahi] 従軍慰安婦と歴史の清算 4巻3号 1992.3 pp.48-51.

李 榮植 (LEE Yeong sik)

「韓国市民に直撃インタビュー——「従軍慰安婦」問題に関する私の本音」 "Directly Interviewing South Korean Citizens: My Candid Opinion on the 'Comfort Women' Issue" [宝石] 20巻5号 1992.5 pp.210-219.

前田 朗 (MAEDA Akira)

「国際人権委への人権報告—第三回 日本政府報告書を批判する」 "A Report on Human Rights to the U. N. Human Rights Committee: Criticism over Japan's Third Report" [統一評論] 1992.10 pp.79-85.

馬原 鉄男 [対談] (MAHARA Tetsuo)・千田 夏光 (SENDA Kakô)

[編著]

「従軍慰安婦—その支配と差別の構図」 "Comfort Women: The Composition of Domination and Discrimination" [部落] 41号 1992.8 pp.74-109.

松井 やより (MATSUI Yayori)

「南北問題から見た戦争と平和」 "War and Peace as Seen from North-

South Problems" 『軍縮問題資料』 1992.1 pp.12-15.

宮嶋 真理 (MIYAJIMA Minori)

「従軍慰安婦問題の論点に混乱あり」 "There Is Confusion in the Point in Dispute over the Comfort Women Problem" 『マスコミ市民』 1992.6 p.50.

水野 直樹 (MIZUNO Naoki)

「戦時期在日朝鮮人の『寄留簿』について」 "'Temporary Residence Register Books' of Koreans Living in Japan during the War" 『朝鮮史研究会会報』 108号 1992.8

森 正孝 (MORI Masataka)

「日本の戦後責任と歴史教科書—何故、日本人は「植民地」認識が欠落しているのか」 "Japan's Postwar Responsibility and History Textbooks: Why Are Japanese People Lacking in Recognition of the 'Colonies'?" 『統—評論』 1992.2 pp.46-52.

文 公恵 (MUN Kong heon)

「もう一つの東京大空襲—異国に散った朝鮮人強制連行者」 "Another Heavy Air Raid on Tokyo: Forcibly Mobilized Koreans Killed in a Foreign Land" 『統—評論』 323号 1992.5 pp.58-59.

村井 吉敬 (MURAI Yoshitaka)

「アジアでの戦争・賠償・ODA」 "War in Asia, Reparation and the ODA" 『軍縮問題資料』 1992.1 pp.4-11.

長沼 節夫 (NAGANUMA Setsuo)

「『元従軍慰安婦』の声を聴く」 "Listening to the Voices of 'Former Comfort Women'" 『ジャーナリスト同盟報』 1992.3

長沼 節夫 (NAGANUMA Setsuo)

「続・『元従軍慰安婦』の声を聴く」 "Listening to the Voices of 'Former Comfort Women' (2)" 『ジャーナリスト同盟報』 1992.6

1992年

長沼 節夫 (NAGANUMA Setsuo)

「韓国で元「慰安婦」の声を聴く」 "Listening to the Voices of Former 'Comfort Women' in South Korea" 【婦人新報】 1104号 1992.9 pp.6-8.

長沼 節夫 (NAGANUMA Setsuo)

「元「従軍慰安婦」に聞く」 "Questioning Former 'Comfort Women'" 【軍縮問題資料】 1992.9 pp.68-71.

中川 博 (NAKAGAWA Hiroshi)

「朝鮮人従軍慰安婦」問題—今こそ戦後責任を果たそう」 "The Issue of 'Korean Comfort Women': Let's Fulfill Our Postwar Responsibility Now" 【大阪アジア・アフリカ連帯】 37号 1992.2

中村 守 (NAKAMURA Mamoru)

「謝罪と補償は日本人—人ひとりの問題」 "Each of Us Japanese Must Take the Matter of Apology and Compensation Seriously" 【マスコミ市民】 1992.1 pp.20-21.

中西 昭雄 (NAKANISHI Akio)

「戦後補償報道」批判を総点検する」 "A Complete Check Given to the Criticisms of 'Postwar Compensation Reports'" 【月刊 フォーラム】 1992.7 pp.7-23.

中山 麻子 (NAKAYAMA Yasuko)

「一方的制裁の中で—従軍慰安婦—ボスニア・ヘルツェゴビナ内戦取材記 (アテネ通信)」 "Under Lopsided Retaliation - Comfort Women - A Journalist's Notes on Bosnia/Herzegovina (Athens News Agency)" 【月刊 社会党】 448号 1992.12 pp.140-147.

新美 隆 (NIIMI Takashi)

「戦後補償」問題の現在—ドイツと日本」 "The State of the Issue on 'Postwar Compensation': Germany and Japan" 【RAIK通信】 27号 1992.11

日朝協会 (Nicchō kyōkai)

「証言『朝鮮人従軍慰安婦』」 *Testimonies on "Korean Comfort Women"*
日朝協会埼玉県連合会 1992 30 p.

西村 正昭 (NISHIMURA Masaaki)

「朝鮮人従軍慰安婦の告発に日本政府はこたえよ」 "The Japanese Government Should React to Accusations by Korean Comfort Women" 『あすの農村』(ニュースの窓) 208号 1992.3 pp.67-69.

西村 卓司 (NISHIMURA Takuji)

「一枚の委任状—戦争責任と戦後責任、自己切開し続ける闘い」 *A Letter of Power of Attorney: War Responsibility and Postwar Responsibility - Continuing a Self-Condemning Fight* 金順吉裁判を支援する会事務局 1992 20 p.

西野 留美子 (NISHINO Rumiko)

「従軍慰安婦問題は、まだ始まったばかり」 "The Comfort Women Issue Has Just Begun" 『サンデー毎日』今週の顔 71巻4号 1992.2.2 p. 25.

西野 留美子 (NISHINO Rumiko)

「従軍慰安婦—元兵士たちの証言」 *Comfort Women: The Testimony of Former Soldiers* 明石書店 1992 242 p.

西野 留美子 (NISHINO Rumiko)

「筑豊に刻まれる『従軍慰安婦』の歴史—筑豊からの提言『炭鉱慰安婦』」 "The History of 'Comfort Women' in Chikuhō: A Report from Chikuhō on 'Coal Mine Comfort Women'" 『ミレ』33号 1992.6

西岡 力 (NISHIOKA Tsutomu)

「慰安婦と挺身隊と—繰り返される日本の謝罪体質」 "Comfort Women and the Volunteer Corps: Another Case of Japan's Apology Mentality" 『正論』236号 1992.4 pp.88-97.

1992年

西岡 力 (NISHIOKA Tsutomu)

「慰安婦問題」とは何だったのか―新聞が触れようとしない大騒動の意外な真相」 "What Was the 'Comfort Women Issue'? Unknown Facts about the Publicity Never Mentioned in the News Media" 〔文芸春秋〕70巻4号 1992.4 pp.300-315.

西岡 力 (NISHIOKA Tsutomu)

「日韓誤解の深淵」 *An Abyss of Misunderstanding Between Japan and South Korea* 亜紀書房 1992 236 p.

虎 民愛 (NO Min ae)

「統一への歩みを進めた女性たち」 "Women Who Stepped Forward for Unity" 〔統一評論〕1992.11 pp.70-74.

野坂 昭如 (NOSAKA Akiyuki)

「戦死よりも戦争を切実に伝えた、従軍慰安婦の姿」 "The Attitude of Comfort Women Spoke of the War More Seriously than Deaths in Action" 〔週刊文春〕34巻5号 1992.2.6 pp.58-59.

大越 愛子 (ÔKOSHI Aiko)

「フェミニズムは問われている―従軍慰安婦問題と日本的性風土」 "Feminism Questioned: The Comfort Women Issue and the Japanese Sexual Climate" 〔情況〕1992.6 pp.15-33.

大阪人権歴史資料館 (Ôsaka jinken rekishi shiryôkan) 〔編〕

「朝鮮侵略と強制連行―日本は朝鮮で何をしたか?」 *The Invasion of Korea and Forced Mobilization: What Did Japan do in Korea?* 解放出版社 1992 224 p.

大塚 一三 (ÔTSUKA Katsuji)

「トラジ―福島県の朝鮮人強制連行」 *Toraji (Chinese Bellflower): The Forced Mobilization of Koreans in Fukushima Prefecture* 鈴木久後援会 1992 227 p.

岡田 廣 (OKADA Hiroshi)

「慰安婦と私」 "Comfort Women and Me" 『マスコミ市民』 1992.45
pp.79-80.

岡村 青 (OKAMURA Ao)

「恨の50年その叫びと訴え—元朝鮮人従軍慰安婦・金学順さんら3名の証言」 "50 Years of Bitter Feelings - Cries and Claims: The Testimonies of Three Former Korean Comfort Women, Including Ms. Hak sun Kim" 『技術と人間』 特集 終わらない戦後 21号 1992.3 pp.12-25.

岡村 美和子 (OKAMURA Miwako)

「新たな歴史の創造をめざして」 "Trying to Create a New History" 『統一評論』 1992.11 pp.90-91.

沖縄強制連行を調査する連絡会 (Okinawa kyōsirenkōwo chōsasturu renrakukai) [編]

「内閣官房外政審議室7月6日公表「朝鮮半島出身のいわゆる従軍慰安婦問題について」全文及び沖縄関係に即して」 *The Full Text of "On the Issue of So-Called Comfort Women Coming from Korean Peninsula" As Disclosed by the Cabinet Councilors' Office on External Affairs on July 6, and Some Matters in Connection with Okinawa* 沖縄強制連行を調査する連絡会 1992 29p.

小此木 政夫 (OKONOGI Masao)

「法的決着ではぬぐえぬ不幸な過去」 "Legal Settlements Can Not Wipe Out the Miserable Past" [日刊Asahi] 4巻3号 1992.3 pp.52-55.

小澤 一彦 (OZAWA Kazuhiko)

「従軍慰安婦の足跡を追って—東北・延辺自治州から黒龍江省への訪中の旅」 "Tracing the Footsteps of Comfort Women: Traveling from the Northeast Yanbian Autonomous State to Heilungjiang" 『新雑誌21』 10巻9号(109) 1992.9

裴 昭 (PAE Cho)

1992年

「中国延辺の朝鮮人『従軍慰安婦』」 "Korean 'Comfort Women' in Yanbian, China" 『ほるもん文化』3号 1992.10 pp.1-4.

朴 美津子 (PAK Mi jin ja)

「新しいネットワークを女性の手でー従軍慰安婦問題解決のためのアジア連帯会議」 "A New Network Created by Women: The Asia Solidarity Conference on Solutions to the Comfort Women Issue" 『部落解放』349号 1992.11 pp.78-85.

朴 昇 (PAK Sun)

「『韓日条約』って何?」 "What is the 'Japan-ROK Treaty'?" 『統一評論』1992.5 pp.14-21.

麗 (Ryco)

「補償、賠償請求権」 "The Right to Demand Compensation, Reparations" 『統一評論』1992.6 p.89.

坂井 俊樹 (SAKAI Toshiki)

「日韓共同の歴史教科書と諸課題」 "History Textbooks Common to Japan and South Korea and Various Tasks" 『統一評論』1992.6 pp.64-67.

佐藤 勝巳 (SATÔ Katsumi)

「『従軍慰安婦』か『北の核』か」 "'Comfort Women' or 'the North's Nuclear Bomb'" 『諸君!』24巻3号 1992.3 pp.100-111.

佐藤 和秀 (SATÔ Kazuhide)

「日本陸軍が設置した『従軍慰安婦』の真相」 "The Truth of 'Comfort Women' Made by the Japanese Army" 『潮』396号 1992.3 pp.170-179.

佐藤 和秀 (SATÔ Kazuhide)

「『従軍慰安婦』は日本軍だけか(上)」 "Only the Japanese Military Had Comfort Women? (1)" 『正論』244号 1992.12

佐藤 賢司 (SATŌ Kenji)

「旧日本軍属の在日韓国人の新訟に思う」 "What I Think about the Lawsuit Brought by a South Korean Staying in Japan Who Was Japanese Paramilitary" 『マスコミ市民』 1992.12 pp.41-42.

佐藤 早苗 (SATŌ Sanae)

「慰安婦問題無関心でいられない」 "I Can Not Be Indifferent to the 'Comfort Women' Problem" 『マスコミ市民』 1992.12 pp.30-31.

佐藤 建生 (SATŌ Takeo)

「日本とドイツの歴史の教訓」 "Lessons from Japanese and German History" 『秋・評論』 1992.6 pp.50-57.

千田 夏光 (SENDŌ Kakō)

「いつだれが発案し実行したか」 "Who Initiated and Instigated It?" 『文化評論』 特集 従軍慰安婦問題と戦争責任 375号 1992.4 pp.65-72.

千田 夏光 (SENDŌ Kakō)

「高校生徹底質問!! 従軍慰安婦とは何か」 "Exhaustive Questions by High School Students!! What Are Comfort Women?" 汐文社 1992 77 p.

千田 夏光 (SENDŌ Kakō)

「従軍慰安婦と天皇」 *Comfort Women and the Emperor* かもがわブックレット かもがわ出版 1992 63 p.

千田 夏光 (SENDŌ Kakō)・馬原 鉄男 (MAHARA Tetsuo) [編著]

「従軍慰安婦―その支配と差別の構図」 *Comfort Women: The Composition of Domination and Discrimination* 部落問題研究所 1992 87 p.

千田 夏光 (SENDŌ Kakō)

「従軍慰安婦問題、むかしといま」 "The Comfort Women Issue: Past and Present" 『婦人新報』 1104号 1992.9 pp.2-5.

1992年

戦後補償問題連絡委員会 (Sengohoshō mondai renraku linkai) [編]
『朝鮮植民地支配と戦後補償』 *Colonial Rule in Korea and Postwar Compensation* 岩波ブックレット 岩波書店 1992 61 p.

新藤 謙 (SHINDO Ken)
『マスコミ診断』 "Mass Communications Diagnosis" 『マスコミ市民』
1992.11 pp.23-28.

中 一 徹 (SIN Ich'ol) [他]
『日本知識人の倫理不感症』 "Japanese Intellectuals' Apathy Toward Ethics" 『統一評論』 1992.5 pp.36-39.

曾我 欽也 (SOGA Kinga)
『アジア諸国の懸念と危惧は解消されるか』 "Are the Concerns and Misgivings Found in Asian Nations Disappearing?" 『マスコミ市民』 1992.8
pp.29-30.

宋 建鎬 (SONG Geon ho)
『アジアの平和と南北の和解』 "Peace in Asia and Reconciliation between North and South Korea" 『統一評論』 1992.4 pp.58-61.

宋 連玉 (SONG Yeon ok)
『めんどりが鳴けばー近代史に生きた女性たち 第3回 論介の末裔たちの1919年』 "When Hens Cuck [Colonized Women's Resistance]: Women Who Lived through Modern History (3) --Descendants of Korean Prostitutes Who Joined the 1919 Mansei Movement"

宋 連玉 (SONG Yeon ok)
『朝鮮人従軍慰安婦にかんする最近の研究動向』 "The Latest Trends of Research on Korean Comfort Women" 『朝鮮史研究会会報』 108号
1992.8

宋 連玉 (SONG Yeon ok)
『従軍慰安婦に見る民族と性』 "Ethnicity and Sex Seen through Comfort

Women" 『季刊 思想と現代』 31号 1992.9

曾野 綾子 (SONO Ayako)

『代理謝罪』 "Surrogate Apology" 『Voice』 1992.3 pp.261-270.

曾野 綾子 (SONO Ayako)

『昼寝するお化け』 "Ghosts Take a Nap" 『週刊 ポスト』 24巻11号
1992.3.13 pp.90-91.

空野 佳弘 (SORANO Yoshihiro)

『北朝鮮・元従軍慰安婦の証言～日本人は「ナチスよりまし」と貰えるか～
いま戦争責任が正面から問われている』 "Testimony of Former Comfort
Women in North Korea: Can You Say the Japanese Are 'Better than
Nazis' ~ War Responsibility Now Directly Questioned" 『週刊エコノミ
スト』 1992.9.22 pp.32-37.

須藤 出穂 (SUDÔ Mizuho)

『突撃一番』の兵士たち』 "Soldiers with 'Attack No.1'" 『新日本文学』
47巻10号(532) 1992.10

杉井 静子 (SUGII Shizuko)

『売春を許さない国民世論を』 "Toward a National Consensus to Not
Tolerate Prostitution" 『文化評論』 特集 従軍慰安婦問題と戦争責任 375
号 1992.4 pp.90-92.

鈴木 伶子 (SUZUKI Reiko)

『韓国人従軍慰安婦問題とキリスト者の責任』 "The Issue of South Kor-
ean Comfort Women and the Responsibility of Christians" 『アジア通信』
98号 1992.2

鈴木 裕子 (SUZUKI Yoko)

『従軍慰安婦とわたしたち』 "Comfort Women and Us" 『婦人新報』
1097号 1992.2

1992年

鈴木 裕子 (SUZUKI Yoko)

「侵略と戦争と性(中)―天皇の軍隊と従軍慰安婦」 "Invasion, War and Sex (2): The Emperor's Military and Comfort Women" 【社会主義】 334号 1992.2 pp.110-117.

鈴木 裕子 (SUZUKI Yoko)

「従軍慰安婦問題と戦後責任」 "Comfort Women and Postwar Responsibility" 【未来】 305号 1992.2 pp.26-31.

鈴木 裕子 (SUZUKI Yoko)

「軍慰安所は「強姦防止」でもうけられた」 "Comfort Stations Were Built to 'Prevent Rape'" 【未来】 301号 1992.3 pp.14-19.

鈴木 裕子 (SUZUKI Yoko)・高橋 喜久江 (TAKAHASHI Kikue) (編著) 福島 瑞穂 長沼 純夫

「座談会-「朝鮮人従軍慰安婦」が問いかけるもの」 "Round Table Discussion: What Questions Are Raised by 'Korean Comfort Women'" 【日韓婦人展望】 (425) 1992.3.10 pp.4-10.

鈴木 裕子 (SUZUKI Yoko)

「従軍慰安婦・内鮮結婚-性の侵略・戦後責任を考える」 *Comfort Women - Marriage between Koreans and Japanese: Thinking about Sexual Invasion and Postwar Responsibility* 未来社 1992 220 p.

鈴木 裕子 (SUZUKI Yoko)

「『見舞金』や『救済基金』で『慰安婦』問題は解決するのか」 "Can a 'Gift of Money' and a 'Relief Fund' Solve the 'Comfort Women' Problem?" 【未来】 1992.8 pp.30-33.

鈴木 裕子 (SUZUKI Yoko)

「『従軍慰安婦』問題で問われているのは何か」 "What Is at Stake in the 'Comfort Women' Issue?" 【世界】 572号 1992.9 pp.32-39.

鈴木 裕子 (SUZUKI Yoko)

「『従軍慰安婦』問題の現在 - 「強制従軍慰安婦」問題アジア連帯の結成を中心に」 "The Current State of the 'Comfort Women' Issue: A Focus on Asian Solidarity on the 'Forced Comfort Women' Issue" 【未来】313号 1992.10 pp.30-33.

鈴木 裕子 (SUZUKI Yoko)

「書評 尹貞玉他著『朝鮮人女性がみた『慰安婦問題』』三才書房」 "Book Review: *The 'Comfort Women' Issue as Seen by Korean Women*; Jeong ok Yun et. al." 【季刊 書丘】14号 1992.11 pp.210-212.

鈴木 裕子 (SUZUKI Yoko)

「北朝鮮における『慰安婦』問題 (上)」 "The 'Comfort Women' Issue in North Korea (I)" 【未来】315号 1992.12 pp.11-15.

田部 康喜 (TABE Yasuki)・上井 敏邦 (DOI Toshikuni) [編著]

「償いの論理と負担の覚悟 - 元朝鮮人従軍慰安婦問題」 "The Logic of Compensation and Determination in Bearing Burdens: The Issue of Former Korean Comfort Women" 【朝日ジャーナル】31号 1992.1.31 pp.16-17.

高木 健一 (TAKAGI Ken'ichi)

「戦後補償と従軍慰安婦」 "Postwar Compensation and Comfort Women" 【状況と主体】195号 1992.3 pp.30-39.

高木 健一 (TAKAGI Ken'ichi)

「従軍慰安婦と戦後補償 - 日本の戦後責任」 *Comfort Women and Postwar Compensation: Japan's Postwar Responsibility* 三才書房 三才書房 1992 200 p.

高木 健一 (TAKAGI Ken'ichi)・渡辺 智子 (WATANABE Tomoko)

[編著] 林 和男

「弁護士が語る『戦後補償』」 "'Postwar Compensation' Explained by Lawyers" 【ハッキリ通信】4号 1992.9

1992年

高橋 喜久江 (TAKAHASHI Kikue)

「正義を樹てるときー従軍慰安婦問題におもう」 "Promoting Justice: The Comfort Women Issue" 『婦人之友』86巻3号 1992.3

高橋 喜久江 (TAKAHASHI Kikue)

「世界に類をみない従軍慰安婦問題ーときほまさにいま」 "Comfort Women, An Unprecedented Problem in the World: It Is Time to Settle It" 『月刊 家庭科研究』1992.5 pp.68-69.

高橋 喜久江 (TAKAHASHI Kikue)

「挺身隊問題アジア連帯会議に出席して」 "Attending the Asian Solidarity Meeting on the Issue of the Volunteer Corps" 『婦人新報』1106号 1992.12 pp.

高坂 敏夫 (TAKASAKA Toshio)

「戦後補償を求めて」 "In Search of Postwar Compensation" 『世界』1992.2 pp.244-245.

高崎 隆治 (TAKASAKI Ryōji)

「武漢攻略戦『陣中日誌』にみる」 "From 'A Battlefield Diary on the Attack on Wuhan'" 『文化評論』特集 従軍慰安婦問題と戦争責任 375号 1992.4 pp.73-81.

高崎 宗司 (TAKASAKI Sōji)

「朝鮮人従軍慰安婦問題についてー求められるすみやかな真相究明と補償」 "On Korean Comfort Women: Requesting Immediate Investigation for Truth and Compensation" 『朝鮮西報』1992.3 pp.48-49.

高崎 宗司 (TAKASAKI Sōji)

「誠実な謝罪と償いのために」 "For Sincere Apology and Redemption" 『統一評論』324号 1992.6 pp.58-63.

高島 伸欣 (TAKASHIMA Nobuyoshi)

「アジア諸国民は、なぜ日本政府を批判するのか」 "Why Are Asian Peo-

ple Criticizing the Japanese Government?" 「文化評論」特集 従軍慰安婦問題と戦争責任 375号 1992.4 pp.93-102.

武井 慶有 (TAKEI Yoshiari)

「南の空に下駄はいて」 *Walking on Geta under the Southern Sky* 光人社 1992

竹村 泰子 (TAKEMURA Yasuko)

「日本の戦後責任と従軍慰安婦問題」に関する私たちの提案」 "Our Proposal on Japan's Postwar Responsibility and the Comfort Women Issue" 「月刊 社会党」436号 1992.1 pp.96-99.

田中 明 (TANAKA Akira)・佐藤 勝巳 (SATÔ Katsumi) [対談]

「謝罪」するほど悪くなる日韓関係-実りなき宮沢訪韓を叱る」 "The Japan-ROK Relationship Worsening with 'Apology': Criticizing the Fruitless Visit of Prime Minister Miyazawa to South Korea" 「文芸春秋」70巻3号 1992.3 pp.134-142.

統一評論 編集部 (Tôitsu-hyôron henshûbu)

「歴史に埋もれた犠牲者たち-12万6千の朝鮮人強制連行者名簿」 "Victims Buried in History: A List of 126,000 Forcibly Mobilized Koreans" 「統一評論」319号 1992.1 pp.130-131.

統一評論 編集部 (Tôitsu-hyôron henshûbu)

「補償なき謝罪に高まる批判-「従軍慰安婦」問題で南北が共同歩調」 "More Criticism Over Apology without Reparations: North and South Korea Acting Together on the 'Comfort Women' Issue" 「統一評論」1992.3 pp.70-71.

統一評論 編集部 (Tôitsu-hyôron henshûbu)

「謝罪と補償」をめぐる奇妙な論理」 "A Strange Logic Relating to 'Apology and Compensation'" 「統一評論」1992.5 pp.32-36.

統一評論 編集部 (Tôitsu-hyôron henshûbu) [編]

1992年

「証言 北朝鮮の元「従軍慰安婦」」 "Testimonies of North Korea's Former 'Comfort Women'" 「統一評論」329号 1992.11 pp.78-84.

富山 妙子 (TOMIYAMA Taeko)

「帰らぬ女たち－従軍慰安婦と日本文化」 *Women Who Cannot Return: Comfort Women and Japanese Culture* 岩波ブックレット 岩波書店 1992 63p.

東門 裕 (TÔMON Hiroshi)

「さくら、ムラティの花咲く陰に－インドネシア独立戦争に協力した日本兵」 *Behind the Splendor of the Cherry and Jasmine (Melati) Blossoms: The Days of Former Japanese Soldiers in the Indonesian War for Independence* 思想の科学社 1992 333p.

禹 一 (U Il)

「「従軍慰安婦」問題に関する朝鮮民主主義人民共和国の対応」 "Response of the Democratic People's Republic of Korea to the Issue of 'Comfort Women'" 「月刊 朝鮮資料」(372) 1992.5 pp.71-77.

上杉 千年 (UESUGI Chitoshi)・諸君編集部 (Shokun henshûbu) [編著]

「吉田「慰安婦狩り証言」検証 第2弾－警察OB大いに怒る」 "Verifying the Yoshida Testimony on 'Comfort Women Hunting'(2): A Former Police Officer is Enraged" 「諸君」24巻8号 1992.8 pp.122-131.

上杉 千年 (UESUGI Chitoshi)

「総括・従軍慰安婦奴隷狩りの「作り話」」 "Summary: A 'Story' of Comfort Women Hunting" 「自由」34号 1992.9 pp.10-30.

臼杵 敬子 (USUKI Keiko)

「軍隊慰安婦問題が問うものの意味を考える」 "Consideration of What Questions Are Raised by the Comfort Women Issue" 「ハッキリ通信」3号 1992 pp.5-13.

白井 敬子 (USUKI Keiko)

「現代の慰安婦たち―軍隊慰安婦からジャバゆきさんまで (新装改定版)」
Contemporary Comfort Women: From Comfort Women to Japayuki-san
(New Revised Edition) 徳間書店 1992 220 p.

白井 敬子 (USUKI Keiko)

「朝鮮人慰安婦が告発する、私たちの肉体を弄んだ日本軍の強色と破廉恥―もうひとつの太平洋戦争」 "Accusations from Former Korean Comfort Women: The Sordid and Shameless Way That the Japanese Military Played with Our Bodies- Another Aspect of the Pacific War" 『宝石』 20 巻 2 号 1992.2 pp.272-281.

白井 敬子 (USUKI Keiko)

「朝鮮人慰安婦が初めて明かす『旧日本軍の大罪』―衝撃の独占告白」
"Serious Crimes Committed by the Former Japanese Military' as First
Revealed by Former Korean Comfort Women - Exclusive Testimonies"
『宝石』 20 巻 5 号 1992.5 pp.220-232.

内海 愛子 (UTSUMI Aiko)

「日本の戦争責任と戦後処理―日朝交渉は戦後処理解決の最後のチャンス」
"Japan's Responsibility for the War and Postwar Settlement: The Japan
- DPRK Negotiations Give the Final Opportunity to Solve the Postwar
Treatment Problem" 『扶』 評論 1992.4 pp.38-42.

内海 愛子 (UTSUMI Aiko)・白井 敬子 (USUKI Keiko) 対談

「『軍隊慰安婦』『B・C級戦犯』と戦後補償」 "Comfort Woman, 'Class B
and C War Criminals' and Postwar Compensation: Reexamining the
Postwar Period" 『扶』 1992.5

内海 愛子 (UTSUMI Aiko)・韓国・朝鮮人BC級戦犯を支える会 (Kankoku・chōsenjin BCkyūsenpanwo sasaerukai) 編

「死刑台から見た二つの国―韓国・朝鮮人BC級戦犯の証言」 *Two Countries Seen from the Gallows: Testimonies of South and North Korean B and C Class War Criminals* 泉の本舎 1992 113 p.

1992年

渡部 泊 (WATANABE Osamu)

「五たび・我らのうちなる朝鮮について―日常を省みつつ慰安婦問題に及ぶ」 "To Think Five Times of the Korea within Ourselves: Think about Comfort Women, While Reflecting Upon Our Daily Life" 【新潮誌21】 1992.6

渡辺 利夫 (WATANABE Toshio)・長谷川 慶太郎 (HASEGAWA Keitaro) 【編著】

「さようなら自虐趣味―来るべき「アジア共栄圏」 "Good-Bye to the Self-Abuse Habit: The 'Asia Coprosperity Sphere' to Come" 【Voice】 1992.7 pp.60-61.

山田 盟子 (YAMADA Meiko)

「続・慰安婦たちの太平洋戦争―正史になき女たちの戦記」 *The Pacific War for Comfort Women (2): The War Record of Women Not Found in Official Histories* 光人社 1992 277 p.

山田 盟子 (YAMADA Meiko)

「慰安婦たちの太平洋戦争（沖縄篇）―闇に葬られた女たちの戦記」 *The Pacific War for Comfort Women (Okinawa): A Military History for Suppressed Women* 光人社 1992 274 p.

山田 盟子 (YAMADA Meiko)

「占領軍慰安婦―国策売春の女たちの悲劇」 *Comfort Women for U. S. Occupation Forces: The Tragedy of Female Prostitutes under National Policy* 光人社 1992 252 p.

山田 盟子 (YAMADA Meiko)

「「娘中隊」哀史―からゆき、娼婦、糸工女たちの生と死」 *The Sorrowful History of the "Girl Troops": The Life and Death of Karayuki-san, Prostitutes, and Textile Factory Girls* 光人社 1992 274 p.

山田 明子 (YAMAGUCHI Akiko)

「従軍慰安婦をめぐる韓国の報道から」 "Excerpts from South Korea's

Media Reports on Comfort Women" 『婦人新報』 1099号 1992.4

山田 明子 (YAMAGUCHI Akiko)

「その御意見こそ、おかしくありません？」 "Is It Your Opinion That Is Stranger?" 『統一評論』 1992.5 pp.106-107.

山田 明子 (YAMAGUCHI Akiko)

「従軍慰安婦問題と韓国内の報道」 "The Comfort Women Issue and Its Coverage in the South Korean Media" 『未来』 1992.7 pp.30-33.

山田 明子 (YAMAGUCHI Akiko)

「『従軍慰安婦』問題をめぐる日本での対応」 "Reactions in Japan to the 'Comfort Women' Issue" 『海峡』 16号 1992.12 pp.9-15.

山本 夏彦 (YAMAMOTO Natsuhiko)

「どこの国の『第五列』」 "The 'Fifth Column' in Which Country?" 『週刊新潮』 1992.3.20

山中 敏 (YAMANAKA Satoshi)

「日本の政治と『外圧』」 "Japanese Politics and 'External Pressure'" 『教育評論』 1992.4 pp.70-71.

山下 英愛 (YAMASHITA Yeong ae)

「挺身隊問題の浮上が示すもの」 "What the Appearance of the Volunteer Corps Issue Indicates" 『世界』(臨時増刊) 日朝関係-その歴史と現在 1992.4 pp.72-77.

山谷 哲夫 (YAMATANI Tetsuo)

「『従軍慰安婦』ペーさんの憧れ」 "The Desires of Pae, A Former 'Comfort Woman'" 『軍縮問題資料』 1992.4 pp.52-55.

山谷 哲夫 (YAMATANI Tetsuo)

「死化粧の女たち。-これが従軍慰安婦の真実だ!!」 "Women Wearing Death Makeup: This Is the Truth about Comfort Women!!" 『パート』 2

1992年

巻9号 1992.5.11 pp.20-27.

山谷 哲夫 (YAMATANI Tetsuo)

「北朝鮮 従軍慰安婦-チマ・チョゴリをたくしあげて」 "Rolled Up China Cheogori: Comfort Women in North Korea" 【週刊 プレイボーイ】 1992.9.15 pp.66-69.

山内 小夜子 (YAMAUCHI Sayoko)

「事実を見つめることから始まる-京都・[[慰安婦] 情報電話] 報告」 "Everything Starts with Facing the Facts: A Report on the Kyoto "Comfort Women" Hotline" 【部落解放】 349号 1992.11 pp.86-92.

山崎 豊子 (YAMAZAKI Toyoko)

「[[女子挺身隊] の裏面に衝撃」 "Shocked by the Other Side of 'Girls Volunteer Corps'" 【朝日ジャーナル】 1992.1.31 pp.18-19.

山住 正巳 (YAMAZUMI Masami)

「[[支那抗日教材集] と教科書問題」 "'Anti-Japanese Teaching Materials of China' and the Issue of Textbooks" 【軍縮問題資料】 1992.5 pp.38-45.

梁 澄子 [インタビュー] (YANG Chung ja)・関口 千恵 (SEKIGUCHI Chie) [編著]

「何が従軍慰安婦を生んだのか-梁澄子 (ヤン チュンジャ) 氏に聞く (今月の人)」 "What Led to the Appearance of Comfort Women? An Interview with Ms. Chung ja Yang (Person of Month)" 【法学セミナー】 (448) 1992.4 pp.1-3.

梁 澄子 (YANG Chung ja)

「ルポ・従軍慰安婦の戦後補償」 "A Report on Postwar Compensation for Comfort Women" 【季刊 青丘】 13号 1992.8 pp.176-181.

横井 正彦 (YOKOI Masahiko)

「[[従軍慰安婦] を知らない高校生-日教組教研集会から」 "High School

Students Know Nothing about 'Comfort Women': From the Meeting of the Japanese Teachers Union" 『軍縮問題資料』 1992.5 pp.36-37.

吉見 周子 (YOSHIMI Chikako)
『売娼の社会史 (増補改訂)』 *A Social History of Prostitution (Expanded and Revised ed.)* 推山閣出版 1992

吉見 義明 (YOSHIMI Yoshiaki)
「いまこそ「過去の克服」をー従軍慰安婦問題の基本資料をめぐって」
"We Must 'Overcome Our Past Now': Basic Documents Related to the Comfort Women Issue" 『世界』 565号 1992.3 pp.117-124.

吉見 義明 (YOSHIMI Yoshiaki)
「従軍慰安婦問題と日本の責任」 "The Comfort Women Issue and Japan's Responsibility" 『婦人通信』 392号 1992.3 pp.42-43.

吉見 義明 (YOSHIMI Yoshiaki)
「課題を残す日本政府調査」 "The Japanese Government Investigation Leaves Issues Unresolved" 『ハッキリ通信』 4号 1992.9

吉見 義明 (YOSHIMI Yoshiaki) [編・解説]
『従軍慰安婦資料集』 *A Collection of Source Materials on Comfort Women* 大井書店 1992 599p.

油井 大三郎 (YUI Daizaburō)
「日本人の名譽にかかわる問題」 "The Issue Threatening the Reputation of the Japanese" 『エコノミスト』 時評 70巻54号 1992.12.22 p.81.

尹 ヘドン (YUN Hae dong)
「『賠償』か『物乞い』か」 "'Reparations' or 'Begging?'" 『統一評論』 1992.5 pp.73-81.

尹 静基 (YUN Jeong mo) [作]・鹿嶋 節子 (KAJIMA Setsuko) [編著]
余 英達 [解説]

1992年

『母・従軍慰安婦…かあさんは「朝鮮ピー」と呼ばれた』 *Mother Was a Comfort Woman: Mom Was Called "Chosen Pee"* 神戸学生青年センター出版部 1992 169 p.

尹 貞玉 (YUN Jeong ok) [ほか著]

『朝鮮人女性が見た「慰安婦問題」―明日をともに創るために―』 *"The Comfort Women Issue" as Viewed by Korean Women: Creating the Future Together* 三一新書 三一書房 1992 281 p.

在日本朝鮮民主女性同盟中央常任委員会 (Zainihon-chōsen minshu-joseidōmei chūōjōnin'iinkai)

『朝鮮人「慰安婦」』 *Korean "Comfort Women"* 在日本朝鮮民主女性同盟 1992 62 p.

『ハッキリ会の歩み』 "The Course of Hakkirikai" 『ハッキリ通信』 3号 1992 p.63.

『慰安婦が涙で語る。強姦、強姦、強姦など』 "Comfort Women Talk with Tears: The Hunting, Cheating and Violating of Girls" 『ハッキリ通信』 3号 1992 pp.15-39.

『日本軍資料 初公開！兵士の強姦多発、慰安所を』 "Japanese Army Materials Disclosed for the First Time I: Frequent Rapes by Soldiers, Comfort Station Established" 『ハッキリ通信』 3号 1992 pp.41-53.

『捕虜が語った前線の慰安所と慰安婦』 "Front-Line Comfort Stations and Comfort Women as Described by Prisoners of War" 『ハッキリ通信』 3号 1992 pp.54-62.

『元「朝鮮人従軍慰安婦」の証言』 *Testimonies of Former "Korean Comfort Women"* 堀における朝鮮人の強制連行・強制労働の実態を明らかにする会 1992

『朝鮮人従軍慰安婦問題資料集 II』 *A Collection of Source Materials on*

the Korean Comfort Women Issue (2) 朝鮮人従軍慰安婦問題を考える会
1992 60 p.

【続々寄せられた証言―従軍慰安婦 110 番】 "Testimonies Continuously
Collected: The Comfort Women Hot Line" 【朝日ジャーナル】 1992.1.3
pp.18-19.

【宮沢首相の気の重い訪韓―「貿易」「軍事」に慰安婦問題と、初外遊は苦しい旅に】 "A Reluctant Visit to South Korea by Prime Minister Miyazawa: His First Foreign Visit is Full of Difficult Issues, 'Trade', 'Defense', and Comfort Women" 【ニューズウィーク日本版】 7 巻 3 号 1992.1.23
pp.30-32.

【言葉だけを先行させる日本政府の罪―首相が従軍慰安婦問題で謝罪】
"The Japanese Government Repeats Crimes by Offering Empty Words:
The Prime Minister Apologizes for the Comfort Women Issue" 【AERA】
AERA リポート 5 巻 4 号 1992.1.28 p.61.

【17 歳の青春を戻してほしい！―元従軍慰安婦の体験談】 "Give Me Back
My Youth of Age 17: The Experience of a Former Comfort Woman"
【ミレ】 29 号 1992.2 pp.6-9.

【「朝鮮人従軍慰安婦」の慟哭を聞け！】 "Listen to the Sobbing of 'Korean Comfort Women'" 【週刊 現代】 1992.2.8

【12 歳の少女までが…―「初公開写真」が語る朝鮮人従軍慰安婦「悲史」】
"Even a 12-Year Old Girl ... The 'Tragic History' of Korean Comfort
Women Shown in 'Newly Released Photographs'" 【フライデー】 1992.
2.14 pp.20-21.

【朝鮮人「従軍慰安婦」問題―歴史を正視しきちんと補償を】 "The Issue
of Korean 'Comfort Women': Facing the History and Making Just Com-
pensation" 【東洋経済】 今週の問題・視座座談会 [2003] 5052 号 1992.
2.15 pp.24-28.

1992年

「『焦点の従軍慰安婦問題の狭間』を記録映画作家 山谷哲夫と読む」
"Reading 'The Space of the Focus on the Comfort Women Issue' with
Tetsuo Yamatani, Documentary Film Maker" 【週刊 ポスト】 24 巻 9 号
1992.2.28

「『韓日基本条約』改めねば--挺身隊賠償は譲歩できない」 "The Funda-
mental Japan-ROK Treaty' Must Be Amended; We Can Not Give in on
the Reparations for Volunteer Corps" 【月刊 朝鮮資料】 (370) 1992.3
pp.31-32.

「宮沢総理の訪韓に反対する--韓国挺身隊問題対策協議会声明書 (1 月 15
日付)」 "Against Prime Minister Miyazawa's Visit to South Korea: A
Statement by the Council on the South Korean Volunteer Corps Issue (on
January 15)" 【統一評論】 1992.3 pp.74-75.

「日本は心から謝罪し補償しなければならない--労働新聞 1992 年 1 月 20
日付論評」 "Japan Should Apologize from the Bottom of It's Heart and
Make Compensation: States the January 20, 1992 Labor Newspaper" 【統
一評論】 321 号 1992.3 pp.72-74.

「日本は前代未聞の罪悪について心から謝罪し補償すべきである--『従軍慰
安婦』問題と関連して」 "Japan Must Apologize Sincerely for It's Un-
precedented Crime: Comment Related to the 'Comfort Women' Issue"
【月刊 朝鮮資料】 (370) 1992.3 pp.28-30.

「こんどは上坂冬子氏が朴貞子韓日女性親善協会会長と白熱討論」 "The
Heated Debate between Fuyuko Kamisaka and Jeong ja Pak, Chair-
woman of the South Korean-Japanese Women's Friendship Association"
【週刊 ポスト】 24 巻 10 号 1992.3.6 pp.58-62.

「『従軍慰安婦』報道論争『私はこう考える』--本誌・上坂冬子さんの論争提
起に投書殺到! 第三弾」 "What I 'Think about' Disputes Over 'Comfort
Women' Reports: A Rush of Letters to the Editor in Response to the Issue
Raised by Fuyuko Kamisaka" 【週刊 ポスト】 1992.3.13 pp.196-199.

「宮沢首相、渡辺外相よ、「この声を聞け！」—上坂冬子氏の「従軍慰安婦」報道批判でさらに投書殺到！」 “Prime Minister Miyazawa, Foreign Minister Watanabe, ‘Listen to These Voices!’: Criticism of Fuyuko Kamisaka on the Media Report on ‘Comfort Women’ Has Attracted More Letters from Readers!” 『週刊ポスト』24巻12号 1992.3.20 pp.214-217.

「インタビュー／ヒューマンライツ 梁澄子氏に聞く—何が従軍慰安婦を生んだのか」 “Interview/Human Rights: A Talk with Ms. Chung Ja Yang—What Created Comfort Women?” 『法学セミナー』(448) 1992.4

「過去の清算は、朝鮮に限定される問題ではない」 “Liquidating the Past Is Not Applicable Only to Korea” 『統一評論』 1992.4 pp.54-59.

「脅しや嫌がらせでは真の自韓友好は築けない、巨額の“マスコミ対策費”は特別背任の疑い」 “Threats or Harassment Do Not Lead to Real Friendship between Japan and South Korea: A Huge “Public Relations Budget” May Constitute Malfeasance!” 『実業界』758号 1992.4 pp.112-113.

「「従軍慰安婦問題を考える」在日同胞女性の集い」 “A Meeting of Korean Women Residing in Japan to ‘Think about the Comfort Women Issue’” 『統一評論』ニュー・スタイル 1992.4 pp.131-135.

「朝鮮人「従軍慰安婦」在加新聞が批判の論評」 “Critical Reviews on Korean ‘Comfort Women’ by Canadian Papers” 『統一評論』南北・海外同胞トピックス 1992.4 p.133.

「被害者を傷める無責任な日本人」 “Irresponsible Japanese Who Incite the Victims” 『現代コリア』 1992.4 pp.69-70.

「補償問題で南北は共同歩調を」 “South and North Korea Should Act Together to Handle the Compensation Issue” 『統一評論』 1992.4 pp.12-13.

1992年

「日本は戦後処理にいくらかかるか?—3兆円から30兆円説まで、従軍慰安婦、24兆円要求の中国、東南アジアでの強制労働」 "How Much Will it Cost Japan to Resolve the Issue of Postwar Settlements?: Some Say It Will Cost 3 to 30 Trillion Yen, Comfort Women, China Demands 24 Trillion Yen, Forced Labor in Southeast Asia" 【週刊 宝島】 1992.4.16 pp.66-71.

「従軍慰安婦、北、中国からも一政府調査の全容明らかに」 "Comfort Women Found in the Philippines and China: A Government Survey Reveals the Overall Picture" 【エコノミスト】 IN THE NEWS 70巻19号 1992.4.28 p.16.

「いま歴史の前に明らかにする涙と痛恨の歳月—[従軍慰安婦]にされたヨ・ボクシルさん 証言」 "Years Full of Tears and Bitterness Brought into the Light of History: Testimony by Bok sil Yeo Who Was Turned into a 'Comfort Woman'" 【統一評論】 1992.5 pp.60-65.

「韓国挺身隊問題対策協議会文庫」 *Documents from the Conference on Responses to the Issue of the South Korean Volunteer Corps* 克己春問題とりくむ会 1992 14p.

「共にやさしくむきあう日のために—[従軍慰安婦]110番報告集」 *Until We Can Face Each Other with Composure: A Collection of Calls to the "Comfort Women Hot Line"* 日本婦人会議大阪府本部・在日韓国民民主女性の会大阪本部 1992 40p.

「強制連行体験者が初の証言—兵庫・西宮甲陽園地下壕」 "A Foreibly Mobilized Person Testifies for the First Time: The Underground Shelter at Nishinomiya Kōyōen, Hyogo" 【朝鮮両報】 1992.5 p.45.

「挺身隊問題対策協議会 資金難で三度も移転」 "Because of Financial Difficulties, the Council on Responses to the Issue of the Volunteer Corps Has Moved Three Times" 【統一評論】 1992.5 pp.141-142.

「北と南が力を合わせ『従軍慰安婦』問題にたいする日本政府の謝罪と被害補償を要求する共同闘争をくりひろげよう—南朝鮮の政党、団体と各界人士に送るアピール」 "Let's Unite North and South to Act in Concert with Each Other to Demand an Apology and Compensation Related to the 'Comfort Women' Issue from the Japanese Government: An Appeal to Those Belonging to Political Parties and Those of All Other Circles in South Korea (March 20, 1992)" 『月刊 朝鮮資料』 (372) 1992.5 pp.2-4.

「『従軍慰安婦』問題で李効再氏がロスで講演」 "Ms. Hyo jae Lee Gives a Lecture on the 'Comfort Women' Issue in Los Angeles" 『統一評論』 1992.6 p.122.

「真の謝罪と補償を求めて(第2集)—朝鮮人従軍慰安婦」 *Demanding a Real Apology and Compensation (2): Korean Comfort Women* 在日韓(日)民主女性会 1992 131 p.

「朝鮮人従軍慰安婦問題資料集 Ⅲ」 *A Collection of Documents on the Korean Comfort Women Issue (3)* 朝鮮人従軍慰安婦問題を考える会 1992 69 p.

「捏造—でたらめだった慰安婦強制連行証言」 "Fabrication: Testimony on the Forced Recruitment of Comfort Women Was Fake" 『現代コリア』 322号 1992.6

「汚れた一生は戻らない—笑いを忘れた自分が悲しい」 "The Polluting of Life Will Never Be Forgotten: Lamenting Over Life without a Smile" 『毎日グラフ』 1992.6.21

「元・従軍慰安婦 沈美子 訴状の裏側」 "The Other Side of the Complaint by a Former Comfort Woman, Mi ja Sim" 『月刊 ビー・コモン』 1992.8

「慰安婦・請求権問題に打つ手なし『日朝国交正常化』は次の内閣か!」

1992年

"No Solution for the Comfort Women Issue or the Demands for Compensation : Should We Wait for the Next Cabinet for 'Normalization of Japan-DPRK Relations'?" [SAPIO] 北朝鮮 21 世紀大事典 4 巻 15 号 1992.8.13 pp.12-13.

「もう一つの戦後処理-旧日本軍の慰安婦問題に国際社会も注目」
"Another Postwar Settlement: The Issue of the Comfort Women of the Japanese Armed Forces Receives Attention from the International Community" [ニューズウィーク日本版] 7 巻 32 号 1992.8.27 p.32.

「日本当局は「従軍慰安婦」問題の全貌を明らかにし、心から謝罪して当然の被害補償をすべきである」 "The Japanese Authorities Should Disclose the Full Picture of the 'Comfort Women' Issue, Make a Sincere Apology and Provide Due Compensation to the Victims" [月刊 朝鮮資料] (376) 1992.9 pp.11-12.

「受難者たちの訴え-元従軍「慰安婦」は告発する」 "An Appeal by Victims: A Former 'Comfort Woman' Seeks Indictment" [朝鮮西報] 1992.10 pp.19-20.

「従軍慰安婦・太平洋戦争被害者補償対策委員会が発足」 "A Working Committee on Compensation for Comfort Women and Victims of the Pacific War is Established" [月刊 朝鮮資料] ファイル社会主義朝鮮 (377) 1992.10 pp.57-58.

「植民地支配と補償問題に関する朝・日討論会」 "DPRK-Japan Discussions on the Rule of Colonies and the Compensation Issue" [月刊 朝鮮資料] ファイル社会主義朝鮮 (377) 1992.10 p.58.

「南朝鮮「政府」報告書に見る「従軍慰安婦」の全貌-報道と解説、作成責任者のインタビュー」 "The Full Picture of 'Comfort Women' in the South Korean 'Government' Report: Media Report, Commentary and Interview with the Project Director" [月刊 朝鮮資料] 32 巻 10 号(377) 1992.10 pp.66-74.

「『女子挺身隊』問題 93%が謝罪賠償求め―世論調査に見る韓国国民意識」
"93% Demand Apology and Reparations in Connection with the 'Girls
Volunteer Corps' Issue: A Public-Opinion Poll Discloses What Is in South
Korean People's Minds" 『統一評論』 1992.11 p.112.

「特集 従軍慰安婦問題」 "Special Report: The Issue of Comfort Women"
『指紋押捺制度を考える 熊本のおニュース』 14号 1992.11

「特集 慰安婦問題の煽動者は「この男」に乗る煽動者」 "Special Report:
Agitators Who Capitalize on the Accusation Campaign, 'This Is the Man'
Who Instigated the Comfort Women Issue" 『週刊 新潮』 37巻49号
1992.12.24・31合併号 pp.142-146.

1993 年

阿部 浩己 (ABE Kōki)

「軍隊「慰安婦」問題の法的責任」 "Legal Responsibility for the Issue of Military 'Comfort Women'" 『法学セミナー』38巻10号(466) 1993.10 pp.63-66.

愛知県朝鮮人強制連行調査班・日朝協会愛知県連合会 [編] (Aichiken chōsenjin kyōsei renkō chōsahan・Nicchōkyōkai Aichiken rengōkai)

「記事リスト 朝鮮女子勤労挺身隊と勤労働員—朝鮮『毎日新報』(1943~1945)から」 *A List of Newspaper Articles on the Korean Women's Volunteer Corps and Labor Mobilization: From the Korean "Mainichi Shinbō" (1943-1945)* 愛知県朝鮮人強制連行調査班・日朝協会愛知県連合会 1993 34p.

菅谷 邦雄 (AITANI Kunio)

「戦後補償裁判とその争点」 "The Postwar Compensation Trial and Points at Issue" 『法学セミナー』38巻10号(466) 1993.10 pp.58-62.

荒井 信一 (ARAI Shin'ichi)

「刻みこまれた証言」 "Testimony Etched on My Mind" 『世界』1993.2 pp.178-179.

荒井 信一 (ARAI Shin'ichi)

「緊急報告「従軍慰安婦」補償問題で、新たな報告書作成—国連人権委、一年以内に日本政府へ勧告」 "An Urgent Report - Writing a New Report on the Issue of Compensation for 'Comfort Women': The United Nations Human Rights Commission Will Make Its Recommendations to the Japanese Government within a Year" 『季刊 戦争責任研究』特集 従軍慰安婦問題を検証する 1号 1993.9.10 p.37.

浅野 富美枝 (ASANO Fumie)

「つれづれ女性論」 *Essays on Women* 日石書店 1993 179p.

麻生 敬男 (ASO Tetsuo)

『上海より上海へー兵站病院の産婦人科医』 *From Shanghai to Shanghai: A Gynecologist at Field Hospitals* 石垣社 1993 260 p.

売買春問題ととりくむ会 (Baibaishun-mondaito torikumukai) [編]

『国連人権委員会における“従軍慰安婦”問題文書』 *Documents on the Issue of "Comfort Women" at the U.N. Human Rights Commission* 売買春問題ととりくむ会 1993 27 p.

崔 今春 (CHOI Kum ch'un)

『日本の植民地支配と戦後責任、戦後補償問題－第四回「アジアの平和と女性の役割」東京シンポジウム』 "Japan's Colonial Rule and Postwar Responsibility and Compensation Issues: The 4th Tokyo Symposium on 'Peace in Asia and Women's Roles'" [執・評論] 1993.7 pp.42-46.

曹 亨均 (CHO Hyeong gyun)・韓国教会女性連合会 (Kankokukyōkai joseirengōkai) [編著]

『近くて近い人のことばー今語りたい、日本の皆様に』 *Words of Neighbors Who Are Really Close to Us: "Now [We] Wish to Tell Our Story to the Japanese People"* 伯哉文化社 1993 160 p.

趙 英淑 (CHO Yong suk)

『わたしの胸に刻まれたものー第四回「アジアの平和と女性の役割」東京シンポジウムに参加して』 "What Was Engraved on My Heart: Participating in the 4th Tokyo Symposium on 'Peace in Asia and Women's Roles'" [執・評論] 1993.7 pp.35-37.

朝鮮人強制連行真相調査団 (Chōsenjin kyōsei renkō shinsō cyōsadan) [編]

『資料集5・1993年国連人権委員会－“慰安婦”問題、強制連行・強制労働問題と1905年条約』 *A Collection of Source Materials 5, The 1993 UN Human Rights Commission: The "Comfort Women" Issue, the Forced Recruitment and Forced Labor Issues, and the 1905 Treaty* 朝鮮人強制連行真相調査団 1993 20 p.

1993年

朝鮮人強制連行真相調査団 (Cyōsenjin kyōsei renkō shinsō cyōsadan)
【編】

『国連での“慰安婦”、強制連行・強制労働及び補償問題関連資料 (1992.2-1993.8)』 *Documents Related to "Comfort Women", Forced Mobilization, Forced Labor and Compensation Issues at the U.N. (February 1992-August 1993)* 朝鮮人強制連行真相調査団 1993 46 p.

朝鮮国際法学会 (Cyōsenkokusaihō gakkai)

『日帝朝鮮占領期の犯罪行為 (上)』 "Criminal Behavior While the Japanese Empire Occupied Korea (1)" 〔統一評論〕 1993.6 pp.81-88.

朝鮮国際法学会 (Cyōsenkokusaihō gakkai)

『日帝朝鮮占領期の犯罪行為 (中)』 "Criminal Behavior While the Japanese Empire Occupied Korea (2)" 〔統一評論〕 1993.7 pp.66-73.

朝鮮国際法学会 (Cyōsenkokusaihō gakkai)

『日帝朝鮮占領期の犯罪行為 (下)』 "Criminal Behavior While the Japanese Empire Occupied Korea (3)" 〔統一評論〕 1993.8 pp.105-107.

第4回「アジアの平和と女性の役割」東京シンポジウム実行委員会事務局
(Dai-4kai 「ASIA no heiwa to josei no yakuwari」 Tōkyō SYMPOSIUM
jikkō iinkai jinukyoku) 【編】

『第4回「アジアの平和と女性の役割」東京シンポジウム (1993年4月24、25、29日) - 日本と南北朝鮮、真の和解を求めて』 *The 4th Tokyo Symposium on "Peace in Asia and Women's Roles" (April 24, 25 and 29, 1993): In Search of True Reconciliation between North and South Korea and Japan* 第4回「アジアの平和と女性の役割」東京シンポジウム実行委員会事務局 1993 139 p.

藤本 拓 (FUJIMOTO Hiroshi)

『PKO教科書裁判 従軍慰安婦』 "The PKO, the Textbook Trial, and Comfort Women" 〔技術と人間〕 22号 1993.10 pp.40-45.

後藤 乾・(GOTO Ken'ichi)・リー・エントアン (Lee Eng Tuan) [編著]
「インドネシアにおける『従軍慰安婦』問題の政治社会学」 "The Political Sociology of the 'Comfort Women' Issue in Indonesia" 【社会科学討究】 39号 1993.12 pp.451-479.

日・G生 (H・G Sci)

「蘇える亡霊と『自決心』和会」 "A Reawakened Ghost and 'Japan-ROK Shinwakai'" 【扶・評論】 直視・斜視 1993.12 pp.108-109.

奈 郁彦 (NATA Ikuhiko)

「昭和史の謎を追う〔上・下〕」 *Pursuing Mysteries in the History of the Showa Era (1-2)* 文芸春秋 1993.上 416p. 下 394p.

林 博史 (HAYASHI Hiroshi)

「マレー半島の日本軍慰安所-従軍慰安婦問題を追う」 "The Comfort Stations on the Malay Peninsula: Tracing the Comfort Women Issue" 【世界】 579号 1993.3 pp.272-279.

林 博史 (HAYASHI Hiroshi)

「マレー半島における日本軍慰安所について」 "About the Comfort Stations on the Malay Peninsula" 【自然・人間・社会】 15号 1993.7

林 博史 (HAYASHI Hiroshi)

「陸軍の慰安所管理の一面 -『衛生サック』交付資料を手がかりに」 "One Aspect of the Army's Management of Comfort Stations: Following the Documents on the Delivery of 'Condoms'" 【季刊 戦争責任研究】 特集 従軍慰安婦問題を検証する 1号 1993.9.10 pp.12-19.

林 和男 (HAYASHI Kazuo)・朴 昇元 (PAK Sung ok) [編著]

「従軍慰安婦問題」 "The Comfort Women Issue" 【法と民主主義】 276号 1993.4 pp.41-44.

平井 和子 (HIRAI Kazuko)

「現実的課題に応える女性史を-従軍慰安婦問題をめぐって」 "Looking for Women's History Which Addresses Realistic Issues: The Issue of

1993年

Comfort Women 『歴史評論』522号 1993.10 pp.51-68.

法学セミナー編集部 (Hōgaku SEMINAR henshōbu)

「国会議員は戦後補償問題をどう考えているのか—「従軍慰安婦」問題を中心とする戦後補償問題に関するアンケート」 “What Do Diet Members Think about the Postwar Compensation Issue?: Questionnaire on the Postwar Compensation Issue with a Focus on the Issue of ‘Comfort Women’” 『法学セミナー』38巻11号(467) 1993.11 pp.27-33.

洪 洋進 (HONG Sang jin)

「「慰安婦」問題と強制連行—“新資料”を徹底分析する」 “The ‘Comfort Women’ Issue and Forced Mobilization: Scrutinizing ‘New Documents’” 『統一評論』333号 1993.3 pp.52-59.

皇甫 康子 (HWANGPO Kang ja)

「「突撃--番」は生きていた!」 “‘Attack No.1’ [Condom] Did Exist!” 『フェミロード』4号 1993.11 pp.57-71.

池田 浩士 (IKEDA Hiroshi)

「権力を笑う表現?—池田浩士虚構論集」 *Is That the Way to Laugh at Power?: A Collection of Hiroshi Ikeda's Fictitious Arguments* 社会評論社 1993 301p.

井上 俊夫 (INOUE Toshio)

「「従軍慰安婦だったあなたへ」 *To You Who Were Comfort Women* かもがわ出版 1993 218p.

石川 逸子 (ISHIKAWA Itsuko)

「「従軍慰安婦」にされた少女たち」 *Girls Made into “Comfort Women”* 岩波ジュニア新書 岩波書店 1993 218p.

磯貝 治良 (ISOGAI Jirō)

「描かれた強制連行・軍隊「慰安婦」 “Descriptions of Forced Mobilization and Military ‘Comfort Women’” 『季刊 書丘』17号 1993.8 pp.

156-163.

伊藤 孝司 (ITÔ Takashi)

「『従軍慰安婦』が問いかけているもの」 *What "Comfort Women" Are Asking Us About?* 豊中市『ヒューマン・ネットワーク』1993

伊藤 孝司 (ITÔ Takashi)

「決して隠せない日本の『影』—フィリピン元『慰安婦』たちの現在」
"Never Hide the 'Dark Side' of Japan: The Present Life of Former 'Comfort Women' of the Philippines" 『週刊 プレイボーイ』1993.1.26

伊藤 孝司 (ITÔ Takashi)

「台湾とフィリピンの戦争被害者—軍人・軍属と『従軍慰安婦』」 "War Victims in Taiwan and the Philippines: Military Personnel, Paramilitary Personnel, and 'Comfort Women'" 『月刊 社会党』451号 1993.2

伊藤 孝司 (ITÔ Takashi)

「フィリピン女性も提訴へ—それでも日本兵の子供を育てた」 "Filipinas Bring Suit: Even Though We Reared the Children of Japanese Soldiers" 『毎日グラフ』1993.4.11

伊藤 孝司 (ITÔ Takashi)

「提訴される日本政府—私は日本軍の戦利品だった」 "The Japanese Government Is Sued: I Was Treated as the Japanese Military's Spoils of War" 『週刊 プレイボーイ』1993.4.13

伊藤 孝司 (ITÔ Takashi) [編著]

「破られた沈黙—アジアの『従軍慰安婦』たち (写真記録)」 *Broken Silence: Asian "Comfort Women" (Photographic Record)* 風媒社 1993 232 p.

伊藤 孝司 (ITÔ Takashi)

「破られた沈黙—日本軍の性奴隷にされたアジアの女性たち」 "Broken Silence: Asian Women Who Were Made into the Japanese Military

1993年

Sexual Slaves" 『世界』 (584) 1993.8 pp.216-217.

解放出版社 (Kaihō shūttsuppan-sha) [編]

「金学順さんの証言—「従軍慰安婦問題」を問う」 *Testimony of Hak sun Kim: Raising the "Issue of Comfort Women"* 解放出版社 1993 288 p.

上坂 冬子 (KAMISAKA Fuyuko)

「老いさらばえた獵犬」 "The Hunting Dog Which Grew Decrepit" [Voice] 1993.3 pp.60-61.

上坂 冬子 (KAMISAKA Fuyuko)

「思い出す度に腹が立つ—日本の偽善を糾す」 *What Makes Me Angry Every Time I Remember: Questioning Japan's Hypocrisy* カッパ・ポットス 光文社 1993 192 p.

上坂 冬子 (KAMISAKA Fuyuko)

「再び従軍慰安婦について」 "On Comfort Women Again" 『週刊ポスト』 1993.5.14

姜 明姫 (KANG Myeong hui)

「問われる日本の戦後補償」 "Japan's Postwar Compensation Coming into Question" 『統一評論』 1993.1 pp.45-48.

姜 明姫 (KANG Myeong hui)

「日本の戦後補償責任と朝鮮の統一実現を確認—第四回「アジアの平和と女性の役割」東京シンポジウム」 "Confirmation of Japan's Responsibility for War and the Realization of the Unity of Korea: The 4th Tokyo Symposium on 'Peace in Asia and Women's Roles'" 『統一評論』 1993.6 pp.72-75.

韓国挺身隊問題対策協議会・挺身隊研究会 (Kankoku-teishintai mondai taisaku kyōgikai) [編]・従軍慰安婦問題ウリヨソンネットワーク (Jōgun-ianfu mondai Uri yeoseong NETWORK) [編著]

「証言 強制連行された朝鮮人軍慰安婦たち」 *Testimonies of Forcibly*

Recruited Korean Comfort Women 明石書店 1993 315 p.

加納 実紀代 (KANŌ Mikiyo)

「慰安婦問題」という問題 "A Problem with the 'Comfort Women Issue'" 『インパクション』78号 1993.1

加納 実紀代 (KANŌ Mikiyo)

「満州と女たち」 "Manchuria and Women" 『岩波講座 近代日本と植民地 5』 岩波書店 1993.4 pp.199-222.

片岡 鉄哉 (KATAOKA Tetsuya)

「日韓同盟の時代」 "The Age of the Japan-ROK Alliance" 『Voice』1993.9 pp.118-132.

加藤 薫 (KATŌ Kaoru)

「わたしの物語」ーフィリピン人慰安婦問題 "My Story: The Filipino Comfort Women Issue" 『世界』577号 1993.1 pp.148-149.

加藤 正夫 (KATŌ Masao)

「千田夏光著『従軍慰安婦』の重大な誤り」 "A Grave Error in *Comfort Women* Written by Senda Kakō" 『現代コリア』329号 1993.3 pp.51-61.

加藤 正夫 (KATŌ Masao)

「河野官房長官談話に異議ありー慰安婦『強制連行』は事実無根」 "Objections to a Discussion by Chief Cabinet Secretary Kōno: The Claims of 'Forced Recruitment' of Comfort Women Are Groundless" 『現代コリア』335号 1993.10 pp.34-41.

川田 文子 (KAWADA Fumiko)

「日本の社会に根源的な反省を迫る『在日元慰安婦』宋神道(ソンシンド)さんの告発」 "The Accusation of a 'Korean - Japanese Former Comfort Woman', Song Shin do, Demanding Genuine Soul-Searching within Japanese Society" 『月刊 社会党』456号 1993.7 pp.122-129.

1993年

川田 文子 (KAWADA Fumiko)

『慰安婦の女たち』 *Women of the Imperial Forces' Comfort Stations*
筑摩書房 1993 228 p.

金 昌宣 (KIM Chang seon)

『慰安婦』と戦争犯罪--『日本の戦後補償に関する国際公聴会』『戦争と人権、戦後処理の法的検討』に参加して『"Comfort Women' and War Crimes: Participation in the 'International Public Hearings on Japanese Postwar Compensation', 'War and Human Rights', a Legal Examination of Postwar Settlements"』『統・評論』332号 1993.2 pp.126-133.

金 昌宣 (KIM Chang seon)

『朝鮮人従軍慰安婦』と韓日共謀歩調『"Korean Comfort Women' and Japanese-ROK Joint Conspiratorial Action"』『統・評論』1993.6 pp.65-71.

金 富子 (KIM Pu ja)

『慰安婦』問題との出会い『"An Encounter with the 'Comfort Women' Problem"』『季刊 青丘』16号 1993.5 pp.193-195.

金 順愛 (KIM Sun ae)

『朝・日二人三脚でともに未来を--旧中島飛行機半田製作所の強制連行者名簿公表までの道のり』"For Building the North Korean and Japanese Future Together: The Process of Announcing a List of Forcibly Recruited Workers for the Former Nakajima Airplanes, Handa Factory"』『統・評論』337号 1993.7 pp.59-65.

金 英達 (KIM Yeong dal) [編]・飛田 雄一 (HIDA Yūichi) [編著]

『朝鮮人・中国人強制連行・強制労働資料集 1993』*A Collection of Source Materials on the Forced Mobilization and Labor of Koreans and Chinese, 1993* 神戸学生青年センター出版部 1993 315 p.

金 英姫 (KIM Yeong hui)

『元慰安婦の「生」と「性」を取り戻すために--中露国境に金ハルモニをた

ずねて」 "Reviving 'Life' and 'Sex' for a Former Comfort Woman: Visiting the Elderly Korean Woman Kim on the China Russia Border" [世界] 578号 1993.2 pp.131-138.

金 玲希 (KIM Yeong hui)

「慰安婦問題で高まる日本批判--国連人権委員会」 "More Criticism Built Up against Japan Over the Comfort Women Problem: The U.N. Human Rights Commission" [朝鮮両報] 1993.6 pp.50-51.

金 玲希 (KIM Yeong hui)

「慰安婦問題の全面真相解明と補償の根本検討を」 "Fully Understand the Truth of the Comfort Women Issue and Fundamentally Evaluate Compensation" [朝鮮両報] 1993.2 pp.48-49.

金 玲希 (KIM Yeong hui)

「"慰安婦"問題、"ウィーン宣言"に--国連の場で争点となっている"慰安婦"・強制連行問題」 "The 'Comfort Women' Issue in the 'Vienna Declaration': The Point at Issue in the U. N. Is the Forced Recruitment of 'Comfort Women'" [朝鮮両報] 1993.9 pp.36-37.

金 榮律 (KIM Yong ryul) [他]

「日本文部省検定教科書における朝鮮史歪曲--『労働新聞』九月二〇日」 "The Distorted History of Korea as Shown in Textbooks Authorized by the Ministry of Education, Japan - *Labor Newspaper*, September 20" [統・評論] 1993.11 pp.130-137.

君島 和彦 (KIMIJIMA Kazuhiko)

「日韓歴史教科書交流にまなぶ」 "Learning from the Exchange of Japanese and South Korean History Textbooks" [年報問題資料] 1993.1 pp.36-39.

国際人権研究会 (Kokusai jinken kenkyūkai) [編]

「責任と償い--慰安婦・強制連行--日本の戦後補償への国際法と国連への対応」 *Responsibility and Atonement for Comfort Women and Forced*

1993年

Mobilization: Japan's Response to International Law and the United Nations on Postwar Compensation 新泉社 1993 309 p.

国際公聴会実行委員会 (Kokusai kōgyōkai jikkō iinkai) [編]

「アジアの声 第7集-世界に問われる日本の戦後処理 I 「従軍慰安婦」等国際公聴会の記録」 *Asian Voices (7) - The World Questions Japan's Postwar Settlements I: A Record of the International Public Hearing on "Comfort Women" and Other Issues* 東方出版 1993 190 p.

河野 信子 (KONO Nobuko)・井筒 碧 (IGETA Midori)・奥田 暎子・岡野 治子 (編著)

中野 優子 芳賀 あきら 岩田 澄枝 田光 礼 (著)

「宗教のなかの女性史」 *Women's History in the Context of Religion* 青弓社 1993 229 p.

越田 俊 (KOSHIDA Takashi)

「アジアの教科書と日本の戦争-近現代史教育の重要性」 "Asian Text-books and Japan's War: The Importance of Modern and Contemporary History Education" 『軍縮問題資料』 1993.1 pp.40-45.

久場 建蔵 (KUBA Kengo)

「ベ・ボンギさんの一周忌をむかえて…」 "On the Occasion of the Upcoming First Anniversary of Pae Pong gi's Death..." 『我』 討論 1993.1 pp.106-107.

熊本「慰安婦」情報110番実行委員会 (Kumamoto Jianfu jōhō 110ban jikkō iinkai) [編]

「熊本「慰安婦」情報110番報告書」 *A Report on Calls to the Kumamoto "Comfort Women" Hot Line* 熊本「慰安婦」情報110番実行委員会 1993 28 p.

倉橋 正直 (KURAHASHI Masanao)

「従軍慰安婦の二つのタイプ-売春婦型と性的奴隷型」 "Two Types of Comfort Women: Prostitute and Sex Slave" 『現代中国』 67号 1993.6

黒川 勝弘 (KURODA Katsuhiko)

「日韓合作 慰安婦『政治決着』の内幕」 "An Inside Story of 'Political Settlement' on the Comfort Women Issue, Joint Production by Japan and the Republic of Korea" 『諸君!』25巻10号 1993.10 pp.122-131.

李 京生 (LEE Kyeong saeng)

「証言 私は十二で『慰安婦』に」 "Testimony: I Was Made a 'Comfort Woman' at the Age of 12" 『マスコミ市民』1993.3 pp.18-21.

李 尚七 (LEE Sang chil)

「国際機関による追求—日本の戦争犯罪」 "Pursued by an International Organization: Japan's War Crimes" 『続・評論』コリアフォーカス5000字の解説 1993.9 pp.41-46.

李 尚七 (LEE Sang chil)

「『従軍慰安婦』・強制労働—国際機関による日本の戦争犯罪を追求」 "Comfort Women' and Forced Labor: Japan's War Crimes Being Pursued by an International Organization" 『続・評論』1993.11 pp.74-79.

李 泰鎮 (LEE Tae jin)

「『乙巳条約』『丁未条約』の法的欠陥と道徳的問題性—国際シンポジウム南側報告」 "Legal Defects and Moral Problems of the 'Japan - Korea Treaties of 1905 and 1910': A South Korean Report at the International Symposium" 『続・評論』1993.10 pp.54-59.

真鍋 俊二 (MANABE Shunji)

「戦後補償問題の一考察—秩序の問題の視角から」 "From the Viewpoint of Public Order: Consideration of the Postwar Compensation Issue" 『法学論集』43巻1号 1993.6

松井 養子 (MATSUI Yoshiko)

「従軍慰安婦問題と戦後責任」 "The Comfort Women Issue and Postwar Responsibility" 『部落解放』352号 1993.1 pp.250-257.

1993年

松代・朝鮮人「慰安婦」の家を残そう実行委員会 (Matsushiro・chōsen-jin [ianfu] noiewo nokosō jikkō iinkai) [編]

「マツシロをあるくー紅霞とガイド・松代大本営と「慰安婦」の家」 *Visiting Matsushiro: A Testimony and Guide, The Imperial Headquarters in Matsushiro and the House of "Comfort Women"* 松代・朝鮮人「慰安婦」の家を残そう実行委員会 1993 64p.

源 淳子 (MINAMOTO Junko)

「従軍慰安婦と文化風土」 "Comfort Women and the Cultural Climate" 『フェミローグ』4号 1993.11 pp.50-56.

三浦 照敏 (MITSUMA Terutoshi)

「韓国の従軍慰安婦生活安定支援法ー制定の経緯と概要」 "Law to Support the Stabilization of the Lives of Former Comfort Women in the Republic of Korea: Background and Overview of Its Establishment" 『レファレンス』43号 1993.9 pp.89-91.

三浦 朱門 (MIHURA Symon)

「慰安婦への謝り方」 "Ways to Make an Apology to Comfort Women" 『THIS IS 読売』4巻7号 1993.1 pp.186-189.

本岡 昭次 (MOTOOKA Syōji)

「国際社会で問われる慰安婦・強制連行問題ー国連人権小委員会の決議を中心に」 "The Comfort Women and Forced Recruitment Issues Tested by the International Community: A Focus on the Resolution of U.N. Human Rights Subcommittee" 『月刊 社会党』特集 戦後補償問題の現段階 461号 1993.12 pp.57-67.

文王珠さんの軍事郵便貯金の支払いを求める会 (Mun Ok ju-sanno gunji yōbinchokin no shiharaiwo motomerukai)

「私の貯金を返せー軍事郵便貯金支払い運動の報告 '92.3~93.4」 *Pay Me Back My Savings: A Report on the Movement Asking for Reimbursement of Military Postal Savings* 文王珠さんの軍事郵便貯金の支払いを求める会 1993 65p.

名田 隆司 (NADA Ryōji)

「山花訪韓がもたらすもの」 "What Will Result from Mr. Yamahana's Visit to South Korea" 『マスコミ市民』 1993.11 pp.80-83.

長田 由美 (NAGATA Yumi)

「フィリピンにおける元「従軍慰安婦」調査報告」 "A Report on the Investigation of Former 'Comfort Women' in the Philippines" 『季刊 戦争責任研究』特集 従軍慰安婦問題を検証する 1号 1993.9.10 pp.47-50.

名古屋YWCA証言記録集編集委員会 (NagoyaYWCA syōgen-kirokushū henshū iinkai) [編]

『証言記録集 朝鮮人元軍隊慰安婦の方々を迎えて日本の戦争責任を考える』 *Thinking about Japan's War Responsibility with Former Korean Comfort Women: A Record of Testimonies* 名古屋YWCA 1993 54p.

中村 繁 (NAKAMURA Akira)

『慰安婦問題の虚像と実像』 *False Images and the Reality of the Comfort Women Issue* 中民会館 1993 52p.

中村 守 (NAKAMURA Mamoru)

『「大前提」黙殺の日朝交渉』 "Negotiations between DPRK and Japan which Ignore the 'Major Premise'" 『マスコミ市民』 1993.5 pp.54-56.

中塚 明 (NAKATSUKA Akira)

『第二次日韓条約(乙巳条約)の今日的課題-国際シンポジウム 日本側報告』 "Today's Issue of the Second Japan-Korea Treaty (Treaty of 1905): A Japanese Report "at the International Symposium" 『統一評論』 1993.10 pp.68-77.

日朝協会埼玉県連合会 (Nicchōkyōkai saitamaken rengōkai) [編]

『証言「朝鮮人元軍隊慰安婦」第2集』 *Testimonies on "Korean Wartime Comfort Women" (2)* 日朝協会埼玉県連合会 1993 48p.

1993年

日本の戦争責任資料センター (Nihon no sensōsekinin shiryō center) [編]
「第一次調査発表資料 (全文)」 "Published Data of the First Investigation (Complete Documents)" 【季刊 戦争責任研究】特集 従軍慰安婦問題を検証する 1号 1993.9.10 pp.20-36.

日本弁護士連合会 (Nihonbengoshi rengōkai) [編]
「戦争被害海外調査報告書」 *Report on Overseas Investigations of War Damage* 日本弁護士連合会 1993 200 p.

日本弁護士連合会 (Nihonbengoshi rengōkai) [編]
「基調報告書 日本の戦後補償」 *Primary Report: Japan's Postwar Compensation* 日本弁護士連合会 1993 373 p.

日本弁護士連合会 (Nihonbengoshi rengōkai) [編]
「世界に問われる日本の戦後処理 ②-戦争と人権、その法的検討」 *The World Is Watching Japan's Postwar Settlement (2): War and Human Rights Considered from a Legal Perspective* 東方出版 1993 161 p.

日本弁護士連合会第36回人権擁護大会シンポジウム第1分科会実行委員会 (Nihonbengoshi rengōkai dai 36 kai jinken yōgō taikai SYMPOSIUM) [編]
「日本の戦後補償-戦争における人権被害の回復を求めて【日弁連第36回人権擁護大会シンポジウム第1分科会基調報告書】」 *Japan's Postwar Compensation: Seeking Recovery of Damages to Human Rights in War. The Primary Report in the 1st Subcommittee at the Japanese Lawyers Association's 36th Symposium for the Protection of Human Rights* 日本弁護士連合会 1993 373 p.

西野 留美子 (NISHINO Rumiko)
「従軍慰安婦と十五年戦争-ビルマ慰安所経営者の証言」 *Comfort Women and the Fifteen-Year War: Testimonies of Owners of Comfort Stations in Burma* 明石書店 1993 253 p.

西野 留美子 (NISHINO Rumiko)

「従軍慰安婦のはなし―十代のあなたへのメッセージ」 *Stories of Comfort Women: A Message to You Teenagers* 明石書店 1993 146 p.

西野 留美子 (NISHINO Rumiko)

「第1章 二十一世紀を展望する戦後補償①―過去をふりかえり明日を考える」 "Chapter 1, Postwar Compensation Which May Lead Us to Have a View of the 21st Century (1): Thinking Backward and Forward" 『マスコミ市民』 1993.8 pp.6-11.

西野 留美子 (NISHINO Rumiko)

「第1章 二十一世紀を展望する戦後補償②―過去をふりかえり明日を考える」 "Chapter 1, Postwar Compensation Which May Lead Us to Have a View of the 21st Century (2): Thinking Backward and Forward" 『マスコミ市民』 1993.9 pp.52-57.

西野 留美子 (NISHINO Rumiko)

「第1章 二十一世紀を展望する戦後補償③―過去をふりかえり明日を考える」 "Chapter 1, Postwar Compensation Which May Lead Us to Have a View of the 21st Century (3): Thinking Backward and Forward" 『マスコミ市民』 1993.10 pp.16-21.

西野 留美子 (NISHINO Rumiko)

「第1章 二十一世紀を展望する戦後補償④―過去をふりかえり明日を考える」 "Chapter 1, Postwar Compensation Which May Lead Us to Have a View of the 21st Century (4): Thinking Backward and Forward" 『マスコミ市民』 1993.11 pp.42-47.

西野 留美子 (NISHINO Rumiko)

「第1章 二十一世紀を展望する戦後補償⑤―過去をふりかえり明日を考える」 "Chapter 1, Postwar Compensation Which May Lead Us to Have a View of the 21st Century (5): Thinking Backward and Forward" 『マスコミ市民』 1993.12 pp.70-75.

西野 留美子 (NISHINO Rumiko)

1993年

「=随想百話= 二度めの夏」 "A Hundred Essays: The Second Summer" 『季刊 戦争責任研究』特集 従軍慰安婦問題を検証する 1号 1993.9.10 pp.38-39.

西野 留美子 (NISHINO Rumiko)

「ビルマに埋もれる慰安婦たち」 "Comfort Women Buried in Burma" 『マスコミ市民』299号 1993.10

西野 留美子 (NISHINO Rumiko)

「学ぶ平和、学べる平和教育-高校生は「正義の戦争」を肯定するか」 "Learning about Peace and Learning from Peace Education: Do High School Students Affirm a 'Righteous War?'" 『軍縮問題資料』1993.11 pp.42-45.

O (O)

「細川首相所演説で過去は「清算」されるか」 "Can the Past Be 'Erased' by Prime Minister Hosokawa's Speech?" 『統一評論』じんりん Q&A 1993.10 p.97.

大村 哲夫 (OMURA Tetsuo)

「『現地調達』された女性たち-インドネシアの『慰安婦』問題覚書」 "Women 'Locally Procured': A Memorandum on the 'Comfort Women' Issue in Indonesia" 『世界』581号 1993.7 pp.272-280.

落合 信彦 (OCHIAI Nobuhiko)

「1994年 世界は、-OUR WORLD」 1994, the World - Our World 小学館 1993 302 p.

朴 泰見 (PAK Tae gycon)

「過去を謝罪する日本の「本心」」 "Japan's 'Real Intention' to Make an Apology for the Past" 『統一評論』韓国論調 1993.11 pp.122-129.

朴 元淳 (PAK Won sun)

「日本の戦争犯罪処罰、いまでも可能か (I)」 "Japan's War Crimes, Is

Punishment Still Possible? (1)" 月刊 朝鮮資料 紹介 (383) 1993.4
pp.73-82.

朴 元淳 (PAK Won sun)

「日本の戦争犯罪処罰、いまでも可能か (2)」 "Japan's War Crimes, Is Punishment Still Possible? (2)" 月刊 朝鮮資料 紹介 (384) 1993.5
pp.61-69.

朴 元淳 (PAK Won sun)

「日本の戦争犯罪処罰、いまでも可能か (3)」 "Japan's War Crimes, Is Punishment Still Possible? (3)" 月刊 朝鮮資料 紹介 (385) 1993.6
pp.74-80.

朴 元淳 (PAK Won sun)

「日本の戦争犯罪処罰、いまでも可能か (4)」 "Japan's War Crimes, Is Punishment Still Possible? (4)" 月刊 朝鮮資料 紹介 (386) 1993.7
pp.39-51.

フィリピン元従軍慰安婦を支援する会 (PHILIPPIN Jin moto-jōgun-ianfuwo shiensurukai) [編]

「フィリピン「従軍慰安婦」補償請求裁判訴状」 "An Indictment to Claim Compensation for Former Philippine 'Comfort Women'" フィリピン元従軍慰安婦を支援する会 1993.4 152 p.

坂井 俊樹 (SAKAI Toshiki)

「日韓歴史教科書研究交流に学ぶ」 "Learning from the Exchange of Japanese-South Korean Studies on History Textbooks" 批評 評論 1993.2 pp.60-65.

佐藤 勝巳 (SATÔ Katsumi)

「大沼東大教授の戦争責任論を析す」 "Examining the Opinion on War Responsibility of Professor Ōnuma at Tokyo University" 現代コリア 330号 1993.4

1993年

佐藤 和秀 (SATÔ Kazuhide)

「兵に禁欲強制は可能か」 "Can Soldiers Be Forced to Practice Continence?" 『正論』 254号 1993.1 pp.198-203.

佐藤 和秀 (SATÔ Kazuhide)

「銃後の女たち」 "Women on the Home Front" 『正論』 255号 1993.11 pp.290-295.

佐藤 和秀 (SATÔ Kazuhide)

「女性のための慰安夫」 "Comfort Men for Women" 『正論』 256号 1993.12 pp.298-303.

佐藤 健生 (SATÔ Takeo)

「ドイツの戦後補償に学ぶ [8] [過去の克服]—日独の「慰安婦」問題をめぐって」 "Learning from Germany's Postwar Compensation (8). 'Overcoming the Past': The 'Comfort Women' Issue in Japan and Germany" 『法学セミナー』 38巻7号(463) 1993.7 pp.22-25.

佐藤 健生 (SATÔ Takeo)

「ドイツの戦後補償に学ぶ [9] [過去の克服]—日独の「慰安婦」問題をめぐって」 "Learning from Germany's Postwar Compensation (9). 'Overcoming the Past': The 'Comfort Women' Issue in Japan and Germany" 『法学セミナー』 38巻8号(464) 1993.8 pp.32-35.

戦後責任を問う「関釜裁判」を支援する会 (Sengosekininwo tou [Kanpu-saiban] wosiensurukai)

「あやまれ、そしてつぐなえ—日本の道義的國家たるべき義務を求める」 *Apologize and Redeem: We Demand that Japan Fulfill Its Duties as a Moral State* 戦後責任を問う「関釜裁判」を支援する会 1993 60p.

戦後補償問題国会議事録編集委員会 (Sengo hoshômondai kokkaigijiroku henshûinkai) [編]

「資料・戦後補償問題国会議事録第1集」 *Documents: The First Report of the Diet Proceedings on the Postwar Compensation Issue* 戦後補償問題

国会議事録編集委員会 1993 317 p.

成 律子 (SEONG Ryul Ja)

「証言 北朝鮮の元「慰安婦」たち」 "Testimonies of Former 'Comfort Women' in North Korea" 『世界』 579号 1993.3 pp.280-288.

重藤 郁 (SHIGETO Miyako)

「第4回「アジアの平和と女性の役割」シンポジウムを終えて」 "Upon Completing the 4th Symposium on 'Peace in Asia and Women's Roles'" 『朝鮮両報』 1993.7 p.43.

清水 澄子 (SHIMIZU Sumiko)

「なぜ日本の戦後補償責任が問われるのか」 "What Raises the Question of Japan's Postwar Compensation?" 『統一評論』 インタビュー 1993.12 pp.76-80.

清水澄子事務所 (SHIMIZU Sumiko jimusho)

「戦争と性的奴隷、許せない―清水澄子「従軍慰安婦問題」国会議事録集」 *War and Sexual Slaves Are Intolterable: A Collection of Records by Sumiko Shimizu on the Diet Proceedings Regarding the "Comfort Women Issue"* 清水澄子事務所 1993 95 p.

忍 甲一 (SHINOBU Koichi)

「史実から抹殺された「米兵専用慰安所細見」―終戦「性風俗史」秘話」 "A 'Detailed Description of a GI Comfort Station' Unrecorded in History: A Secret Story on the Postwar History of 'Sexual Entertainment'" 『正論』 252号 1993.8 p.8.

孫 文奎 (SON Mun gyu)

「朝鮮人大虐殺 問われる歴史認識」 "The Massacre of Koreans: Recognition of History in Question" 『朝鮮両報』 1993.9 pp.40-45.

曽根 一夫 (SONE Kazuo)

「元下級兵士が体験見聞した従軍慰安婦」 *Comfort Women Encountered*

1993年

by a Former Low-Ranking Soldier 〔14〕書店 1993 265 p.

宋 連玉 (SONG Yeon ok)

「朝鮮植民地支配における公娼制」 "The Licensed Prostitution System under Colonial Rule in Korea" 〔日本史研究〕371号 1993.7

空野 佳弘 (SORANO Yoshihiro)

「強制連行と従軍慰安婦問題－怠ってきた日本の戦後責任」 *The Issue of Forced Recruitment and Comfort Women: Japan's Neglected Postwar Responsibility* 反〔入管法〕運動関西交流会編 1993 27 p.

空野 佳弘 (SORANO Yoshihiro)

「朝鮮人強制連行と「従軍慰安婦」問題－怠ってきた日本の戦後責任」 "The Issue of Forced Recruitment of Koreans and 'Comfort Women': Japan's Neglected Postwar Responsibility" 〔日本の科学者〕28号 1993.9 pp.548-553.

鈴木 裕子 (SUZUKI Yoko)

「「従軍慰安婦」問題と性暴力」 *The "Comfort Women" Issue and Sexual Violence* 未来社 1993 238 p.

鈴木 裕子 (SUZUKI Yoko)

「北朝鮮における「慰安婦」問題(中)」 "The 'Comfort Women' Issue in North Korea (2)" 〔未来〕1993.1 pp.14-18.

鈴木 裕子 (SUZUKI Yoko)

「北朝鮮における「慰安婦」問題(下)」 "The 'Comfort Women' Issue in North Korea (3)" 〔未来〕1993.3 pp.9-15.

鈴木 裕子 (SUZUKI Yoko)・金 玲希 (KIM Yeonghui) 〔編著〕安孫子 誠人

「「従軍慰安婦」問題をどう考え日本人として何をすべきか－歴史を告発する朝鮮人強制連行」 "How to Think about the Issue of 'Comfort Women' and What We Have to Do about It as Japanese: History to be Denunciated

through [the Facts of] Forcibly Mobilized Koreans" 『マスコミ市民』
1993.3 pp.6-17.

鈴木 裕子 (SUZUKI Yoko)

「からゆきさん・[従軍慰安婦]・占領軍[慰安婦] "Karayuki-san,
'Comfort Women', 'Comfort Women' for Occupation Forces" 『岩波講座
近代日本と植民地 5』 岩波書店 1993.4 pp.223-250.

鈴木 裕子 (SUZUKI Yoko)

「法廷に引きずり出される「性暴力」の実態―[従軍慰安婦]裁判」 "The
Reality of 'Sexual Violence' as Exposed in the Court: A Trial on 'Comfort
Women'" 『未来』 1993.5 pp.26-29.

鈴木 裕子 (SUZUKI Yoko)

「[従軍慰安婦]問題と人権・歴史学習」 "The 'Comfort Women' Issue
and Human Rights: Learning About History" 『教育評論』特集 戦後補償
と平和教育 555号 1993.8 pp.26-29.

多田 さや子 (TADA Sayako)

「植民地時代の遊廓に育って―従軍慰安婦に想う」 "Growing Up in a
Brothel during the Colonial Period: Reflections on Comfort Women" 『岩
波講座 近代日本と植民地 8月報』 岩波書店 1993.3 pp.1-3.

高木 健一 (TAKAGI Ken'ichi)

「戦後補償の論理」 "The Logic of Postwar Compensation" 徐竜達先生
還暦記念委員会編『アジア市民と韓朝鮮人』日本評論社 1993.7

高木 健一 (TAKAGI Ken'ichi)

「戦後補償問題の展開と課題」 "The Progress of Postwar Compensation
Issues and Remaining Tasks" 『季刊 青丘』17号 1993.8 pp.148-155.

高木 健一 (TAKAGI Ken'ichi)

「従軍慰安婦問題の新展開」 "A New Development on the Comfort
Women Issue" 『季刊 青丘』18号 1993.11 pp.56-63.

1993年

高村 秀 (TAKAMURA Shō)

「神奈川県・地方自治体初の朝鮮人強制連行調査に参加して」 "Kanagawa Prefecture: Participating in the First Survey of the Forced Mobilization of Koreans Made by a Municipal Government" 『統一評論』337号 1993.7 pp.52-58.

高崎 隆治 (TAKASAKI Ryōji)

「『陣中日誌』に書かれた慰安所と毒ガスー南京大虐殺にかかわったとみられる特設第十三師団第六五連隊の後日譚」 *Comfort Stations and Poison Gas Mentioned in the "Battlefield Diary": Later Writing of Regiment 65 of Special Division 13 Which Seems to Have Been Involved in the Nanking Massacre* 梨の木舎 1993 188p.

高崎 宗司 (TAKASAKI Sōji)

「従軍慰安婦問題ー何が問題なのか」 "The Comfort Women Issue: What Is the Issue?" 『じっさよう』31号 1993.1 pp.14.

高崎 宗司 (TAKASAKI Sōji)

「戦後補償と売春問題」 "Postwar Compensation and the Issue of Prostitution" 『婦人新報』1108号 1993.1 pp.14-17.

高崎 宗司 (TAKASAKI Sōji)

「『反日感情』ー韓国・朝鮮人と日本人」 *'Anti-Japanese Sentiment': North and South Koreans and the Japanese* 現代新書 講談社 1993 217p.

竹内 康人 (TAKEUCHI Yasuhito)

「静岡二丁町（安倍川町）に連行された『朝鮮人慰安婦』」 "Korean Comfort Women' Taken to Shizuoka Nichōmachi (Abekawa-chō)," 『静岡県朝鮮人強制連行を記録する会ニュース』14号 1993.8

竹内 康人 (TAKEUCHI Yasuhito)

「『地のさざめごと』の中の軍隊慰安婦」 "Comfort Women in 'Sounds from the Ground'" 『静岡県近代史研究会会報』182号 1993.11

谷内 真理子 (TANIUCHI Mariko)

「めぐり来る夏に平和を想う」 "Thinking about Peace While Waiting for the Arrival of Another Summer" 『統一評論』 1993.10 pp.98-99.

統一評論 編集部 (Tōitsu-hyōron henshōbu)

「日本の植民地支配と戦争責任を問う—[日本の戦後補償に関する国際公聴会]と「戦後と人権、戦後処理の法的検討」から」 "Questioning Japan's Colonial Rule and Responsibility for War: From the 'International Public Hearings on Japan's Postwar Compensation' and from 'Postwar and Human Rights, a Legal Examination of Postwar Treatment'" 『統一評論』 1993.2 pp.9-16.

統一評論 編集部 (Tōitsu-hyōron henshōbu)

「分断を越え、国境を越え」 "Crossing the Divide, Crossing the Border" 『統一評論』 グラビア 1993.6 pp.9-12.

統一評論 編集部 (Tōitsu-hyōron henshōbu)

「[日韓併合]はいかにしてなされたのか—国際シンポジウム、いま考える強制「従軍慰安婦」・強制連行問題」 "How Did 'Japan Annex Korea'? An International Symposium on Contemporary Concerns about the Forced 'Comfort Women' and Forced Mobilization Issues" 『統一評論』 1993.10 pp.52-53.

戸塚 悦朗 (TOTSUKA Etsurō)

「戦後賠償・補償問題解決のための第4の道—従軍慰安婦・強制連行問題の解決のために」 "A Fourth Way to Solve the Postwar Reparation and Compensation Issues: Resolving the Issue of Comfort Women and Forced Recruitment" 『法学セミナー』 38巻2号(458) 1993.2 pp.20-24.

戸塚 悦朗 (TOTSUKA Etsurō)

「1905年「韓国保護条約」の無効と従軍慰安婦・強制連行問題のゆくえ」 "The Invalidity of the 'Korea Protection Treaty' of 1905 and the Outlook for the Comfort Women and Forced Recruitment Issues" 『法学セミナー』 特集 戦後補償問題の現在 38巻10号(466) 1993.10 pp.67-70.

1993年

戸塚 悦朗 (TOTSUKA Etsurō)

「従軍「慰安婦」問題に関する報告-実現した異例の最終文書修正」
"Report on the Conscripted 'Comfort Women' Issue: An Unprecedented
Revision of the Final Report" 『自由と正義』特集「国連世界人権会議 44
号」1993.11 pp.25-29.

津和 慶子 (TSUAWA Keiko)

「日本人に課せられた責任とは--第四回「アジアの平和と女性の役割」東京
シンポジウムに参加して」 "What Is Japanese Responsibility?: Participat-
ing in the 4th Tokyo Symposium on 'Peace in Asia and Women's Roles'"
『統一評論』1993.7 pp.38-41.

上杉 千年 (UESUGI Chitoshi)

「検証 従軍慰安婦-従軍慰安婦問題入門」 *Verification of Comfort
Women: An Introduction to the Comfort Women Issue* 全貌社 1993
252 p.

臼杵 敬子 (USUKI Keiko)

「国を挙げての人身売買・軍隊慰安婦考」 "Contemplating State --
Supported Human Traffic and Comfort Women" 【創】ハレンナ|日・日本
が売買する"性" 23巻1号 1993.1 pp.114-121.

内海 愛子 (UTSUMI Aiko) [日か編]

「死刑台から見た二つの国」 "Two Countries as Seen from the Scaffold"
『統一評論』ぶっく 1993.2 p.102.

和気 シクルシイ (WAKI Shikurushi)

「戦場の狗」 *Dogs of the Battlefield* 筑摩書房 1993

山田 豊子 (YAMADA Meiko)

「従軍慰安婦-「兵備機密」にされた女たちの秘史」 *Comfort Women:
The Untold History of Women Concealed under the Title "Classified
Military Equipment"* 光人社 1993 270 p.

山本 政俊 (YAMAMOTO Masatoshi)

「従軍慰安婦問題教材化の視座」 "A Viewpoint on the Inclusion of the Comfort Women Issue in Educational Materials" 【じっしゅう】 31号 1993.1 pp.5-7.

山下 英愛 (YAMASHITA Yeong ae)

「韓国での「慰安婦」問題」 "The 'Comfort Women' Issue in South Korea" 【季刊 青丘】 16号 1993.5 pp.162-167.

吉見 義明 (YOSHIMI Yoshitaki)

「陸軍中央と「従軍慰安婦」政策—金原節三「陸軍省業務日誌摘録」を中心に」 "Army H.Q. and the 'Comfort Women' Policy: Focussing on the 'Summary Army Daily Report' by Setsuzō Kinbara" 【季刊 戦争責任研究】 特集 従軍慰安婦問題を検証する 1号 1993.9.10 pp.4-11.

ユ・ボクニム (YU Bok nim)

「駐韓米軍基地内の女性たち—“第二の挺身隊”」 "Women at U. S. Military Bases in South Korea: 'A Second Volunteer Corps'" 【統一評論】 1993.3 pp.60-69.

尹 明淑 (YUN Myeong suk)

「軍隊慰安婦の形成について」 "On the Creation of Comfort Women" 【朝鮮史研究会会報】 113号 1993.9 pp.4-5.

在日の慰安婦裁判を支える会 (Zainichino ianfusaihanwo sasacrukai)

「断状—「在日元従軍慰安婦」謝罪・補償請求訴訟事件」 *An Indictment: The Lawsuit Demanding an Apology and Compensation for "Korean - Japanese Former Comfort Women"* 1993 135p.

1992 京都【おしえて下さい！「慰安婦」情報電話】報告集編集委員会 (1992 kyōto [oshietekudasail ianfu] jōhōdenwa) hōkokushū henshū iinkai) 【編】

「性と侵略—「軍隊慰安所」84か所元日本兵からの証言」 *Sex and Invasion: 84 "Comfort Stations" in Testimonies of Former Japanese Soldiers*

1993年

社会評論社 1993 373 p.

2・8 集会実行委員会 (2・8Shūkai jikkō iinkai)

「『突撃一番』は生きていた！オカモト糾弾！資料集」"Attack No.1" [Condoms] Did Exist!: Impeachment of Okamoto Co.! A Collection of Reference Materials 2・8 集会実行委員会 1993

9・19 集会実行委員会 (9・19Shūkai jikkō iinkai) [編]

「韓国・朝鮮民衆との和解・連帯・共生を求めて～日本の戦争：戦後責任を問ひ、朝鮮半島の統一に連帯する 9・19 集会報告集」 Seeking Reconciliation, Solidarity and Coexistence between Both South and North Korean People: A Report on the September 19 Meeting Questioning Japan's War and Postwar Responsibility, and Maintaining Solidarity For the Unification of the Korean Peninsula 9・19 集会実行委員会 1993 78 p.

全国連合自主統一委員会 (Zenkoku rengō jishūtōitsu iinkai)

「日本軍国主義の実像を暴く」 "Revealing the Actual Picture of Japan's Militarism" [月刊 朝鮮資料] (386) 1993.7 pp.74-80.

「韓国挺身隊協が念願の独立事務所を開設」 "The South Korean Council on the Volunteer Corps Opens a Long-Awaited Independent Office" [統一・評論] 南北・海外同胞トピックス 1993.2 p.124.

「『慰安婦』問題で世論調査～日本人の63%が補償必要」 "Results of Public-Opinion Poll on the 'Comfort Women' Issue: 63% of Japanese People Think It Necessary to Provide Compensation" [統一・評論] 南北・海外同胞トピックス 1993.3 pp.119-120.

「『日本の戦後補償に関する国際公聴会』をめぐって」 "Regarding 'International Hearings on Japan's Postwar Compensation'" [ミレ] 42号 1993.3

「政府の聞き取り調査開始で動き始めた慰安婦問題～解決へ」 "Starting to Make Progress on the Comfort Women Issue, with the Beginning of the

Government's Interviews: Towards a Solution" [週刊 時事] 35 卷 12 号
1993.3.27 p.128.

「在日元従軍慰安婦」謝罪・補償請求事件〈新状〉(原告・宋神道) *The Issue of "Korean - Japanese Former Comfort Women," Demanding an Apology and Compensation <An Indictment> (Plaintiff: Shin do Song)*
在日の従軍慰安婦を支える会 1993 137 p.

「従軍慰安婦問題の『政治決着』の企図を非難」 "A Doomed Attempt to Politically Settle the Comfort Women Issue" [月刊 朝鮮資料] ファイル
社会主義朝鮮 (385) 1993.6 p.47.

「『アジアの平和と女性の役割』東京集会のアピールと対日本政府要望書」
"The Appeal at the Tokyo Meeting on 'Peace in Asia and Women's Roles', and a Request for the Japanese Government" [月刊 朝鮮資料]
(386) 1993.7 pp.67-69.

「アジアの平和、韓半島の統一のために何ができるか」 "What Can We Do for Peace in Asia and the Unity of the Korean Peninsula?" [統一評論]
1993.7 pp.47-51.

「世界に問われる日本の戦後処理」 "Japan's Postwar Treatment Questioned All Over the World" [統一評論] ぶっく 1993.7 p.94.

「『わざわざ高校生に従軍慰安婦まで教える必要があるのか』論」 "The Debate on the Question 'Is it Really Necessary to Teach High School Students Something about Comfort Women?'" [統一評論] じんりんQ&A 1993.9 p.89.

「資料編 いわゆる従軍慰安婦問題について (第二次政府調査全文)」 "Reference Edition: The Comfort Women Issue (The Complete Documents of the Second Government Investigation)" [季刊 戦争責任研究] 特集・従軍慰安婦を検証する 1号 1993.9.10 pp.56-83.

1993年

「日本の朝鮮植民地支配は全く無効—1905年『乙巳五條約』に関する国際シンポジウム・東京」 "Japan's Rule Over the Korean Colony Was Completely Invalid: An International Symposium in Tokyo on the 1905 Treaty" 【朝鮮両報】 1993.10 pp.44-45.

「韓国『今年の女性賞』を李効再、尹貞玉氏が受賞」 "Hyo jac Lee and Jeong ok Yun Are Declared South Korea's 'Women of the Year'" 【統一評論】 1993.11 p.113.

「ずっと癒やされなかった傷 フィリピン—従軍慰安婦、ゲリラの少女を慰安婦に」 "Wounds That Have Never Healed - The Philippines: Comfort Women and the Making of Guerrilla Girls into Comfort Women" 【ABRA】アジアへの問い—太平洋戦争の被害者が求める補償 6巻46号 1993.11.1 p.45.

1994年

阿部 浩己 (ABE Kōki)

「慰安婦問題と国際法」 "The 'Comfort Women' Issue and International Law" 『専修大学社会科学研究所月報』 371号 1994.5 pp.27-41.

荒井 信・ (ARAI Shin'ichi) [編]

「戦争博物館」 *Museum of War* 岩波書店 1994 61p.

荒井 信・ (ARAI Shin'ichi)

「戦争責任と人道・人権の問題」 "The Responsibility for War and the Issues of Humanity and Human Rights" 『軍縮問題資料』 1994.7 pp.18-23.

荒井 信・ (ARAI Shin'ichi)

「日本の国家犯罪を追求する」 "In Pursuit of Japan's National Crimes" 『朝鮮商報』 1994.12 p.61.

栗屋 恵太郎 (AWAYA Kentarō)・田中 宏 (TANAKA Hiroshi)・広波 清吾 (HIROWATARI Seigo)・三島 恵・ (MISHIMA Ken'ichi)・望田 幸男 (MOCHIDA Yukio)・山口 定 (YAMAGUCHI Yasushi) [著]

「戦争責任・戦後責任 日本とドイツはどう違うか」 *What is the Difference Between Germany and Japan in Responsibility for War and Postwar Responsibility* 朝日選書 朝日新聞社 1994

売買春問題とりくむ会 (Baibaishun-mondaito torikumukai) [編]

「慰安婦問題国連関連文書」 *U.N. Documents on the "Comfort Women" Issue* 売買春問題とりくむ会 1994 103p.

千葉県歴史教育者協議会 (Chibaken rekishi kyōikusha kyōgikai) [編]

「子どもが主役になる社会科の授業」 *Social Studies Classes Led by Students* 国土社 1994 221p.

1994年

田 麗玉 (CHEON Yeo ok)・金 亨文 (KIM Hak mun) [訳]
『悲しい日本人 (イルボヌン オプタ)』 *Pitiful Japanese (Ilbonun Eopta)*
たま出版 1994 246 p.

鄭 鎮星 (CHEONG Jin seong)
『アジア蔑視が今も支配的な日本』 "Japan Where the Majority Still
Despises Asia" [週刊 金曜日] 1994.8.5

朝鮮人強制連行真相調査団 (Chōsenjin kyōsei renkō shinsō cyōsadan)
[編]
『朝鮮人強制連行真相調査団全国連絡協議会・中央本部の活動 (1992年4
月～1994年4月までの新聞報道から)』 *The Activities of the Central
Headquarters, National Liaison Association of Fact-Finding Survey
Teams for Korean People Who Were Forcibly Mobilized (As Seen From
News Coverage from April 1992 to April 1994)* 朝鮮人強制連行真相調査
団 1994 209 p.

第2回強制「従軍慰安婦」問題アジア連帯会議 (Dai2kai kyōsei jōgun-
ianfu) mondai ASI Arentai-kaigi jōgun-ianfu) [編]
『奪われた名譽を取り戻すために』 *Regaining Lost Honor* 第2回強制
「従軍慰安婦」問題アジア連帯会議 1994 89 p.

後藤 得之 (GOTÔ Noriyuki)
『証言から見た「従軍慰安婦」マップ』 *A "Comfort Women" Map Seen
through Testimonies* 後藤 得之 1994 43 p.

韓 哲暎 (HAN Seok ui) [述]・宋 連玉 (SONG Yeon ok) [編著]
『日本の植民地支配と宗教政策～「従軍慰安婦」問題と戦後責任 講演』
*Japan's Colonial Rule and Religious Policy: The "Comfort Women" Issue
and Postwar Responsibility (Lecture)* 広島県立図書館 1994 50 p.

H・G生 (H・G Sei)
『人権・民権・主権』 "Human Rights, Civil Rights and Sovereignty"
『統一評論』直視・斜視 1994.5 pp.96-97.

H・G生 (H・G Sei)

「『愚りない獄の中の面々』侵略否定の橋本発言」 “Those in Jail Who Never Learn from Experience: Mr. Hashimoto Denies Invasion” 【統・評論】 1994.12 pp.122-129.

原 ひろ子 (HARA Hiroko) [編]・大沢 真理 (ÔSAWA Mari) [編著]

丸山 真人 山本 泰

「ジェンダー」 Gender ライブラリ 相関社会科学 2 新世社 (発売: サイエンス社) 1994 401p.

原田 章弘 (HARADA Akihiro)

「異国に刻まれた怨恨に史実 神奈川県・朝鮮人強制連行 強制労働の記録」 “Historical Facts of Grudge Engraved in a Foreign Country: Kanagawa Prefecture Edition - A Record of Forcibly Recruited and Mobilized Koreans” 【統・評論】 1994.9 pp.82-88.

早川 紀代 (HAYAKAWA Noriyo)

「戦争と性」 “War and Sex” 【季刊 戦争責任研究】 3号 1994.3.25 pp.36-37.

早川 紀代 (HAYAKAWA Noriyo)

「『従軍慰安婦』制度について」 “On the System of ‘Comfort Women’” 【国際女性】 1994.11

林 えいだい (HAYASHI Eida)

「妾たちの強制連行」 *The Forced Recruitment of Wives* 泉蔵社 1994 268 p.

林 博史 (HAYASHI Hiroshi)

「『従軍慰安婦』問題日韓合同研究会の報告」 “Report by the Japan-ROK Joint Study Group on the ‘Comfort Women Issue’” 【季刊 戦争責任研究】 特集2 突きつけられた『従軍慰安婦』問題 3号 1994.3.25 pp.38-43.

林 博史 (HAYASHI Hiroshi)

1994年

「尹明淑報告「朝鮮人軍慰安婦の形成について」へのコメント」"Comments on the 'Creation of Korean Comfort Women' by Myeong suk Yun"『朝鮮史研究会会報』115号 1994.6 pp.8-10.

林 博史 (HAYASHI Hiroshi)

「シンガポールの日本軍慰安所」"Comfort Stations in Singapore"『季刊 戦争責任研究』4号 1994.6.25 pp.34-43.

林 博史 (HAYASHI Hiroshi) [構成]

「資料構成 戦争体験記・部隊史にみる「従軍慰安婦」」"A Collection of Documents: 'Comfort Women' in Memoirs of War Experiences and the Histories of Military Units"『季刊戦争責任研究』特集 戦争体験記にみる「従軍慰安婦」5号 1994.9.15 pp.24-31.

林 博史 (HAYASHI Hiroshi)

「資料紹介 ビルマ・マングレーの日本軍慰安所規定」"Introduction to the Documents: Regulations for Comfort Stations in Mandalay, Burma"『季刊 戦争責任研究』6号 1994.12.15 pp.74-79.

辺見 庸 (HENMI Yō)

「もの食う人びと」*Those Who Eat* 共同通信社 1994

飛田 雄一 (HIDA Yūichi)

「強制連行・「従軍慰安婦」に関する調査活動の成果」"Results of Research and Studies on Forced Recruitment and 'Comfort Women'"『ほん・コミュニケーション』84号 1994.1

飛田 雄一 (HIDA Yūichi)・金 英達 (KIM Yeong dal) 高柳 俊男 外村 大

「共同研究 朝鮮人戦時動員に関する基礎研究」"Joint Research: Basic Research on the Wartime Mobilization of Koreans"『青丘学術論集』4号 1994.3

東 良信 (HIGASHI Yoshinobu)

「いわゆる従軍慰安婦問題についての政府の対応について」 "About the Government's Reaction to the So-Called Comfort Women Issue" 『月刊自治研』特集 「国の責任」とは何か 36号 1991.12 pp.50-55.

広崎 リュウ (HIROSAKI Ryū)

「従軍慰安婦には返還されない軍事郵便貯金」 "Military Postal Deposits Not Reimbursed to Comfort Women" 『週刊金曜日』 1991.5.20

広田 和子 (HIROTA Kazuko)

「トラック島の従軍慰安婦、芸者『菊丸』」 "'Kikunaru', A Geisha Comfort Woman on 'Truck Island'" 『別冊 歴史読本』特別増刊・女たちの太平洋戦争 34号(232) 1991.2 pp.114-121.

洪 祥進 (HONG Sang jin)

「日本の戦争責任—国連でのさらなる追求と新たな決議」 "Japan's Responsibility for War: Further Pursuit and a New Resolution at the U. N." 『朝鮮商報』 1991.7 pp.46-47.

兵庫県朝鮮人強制連行真相調査団 (Hyōgoken chōsenjin kyōsei renkō shinsō chōsadan)

「朝鮮人犠牲者の追悼碑準備着々と」 "Progress in Preparations to Build a Memorial Monument for Korean Victims" 『朝鮮商報』 1991.2 pp.36-37.

井上 清 (INOUE Kiyoshi) [編述]・広島 正 (HIROSHIMA Tadashi) [編著]

「日本軍は中国で何をしたのか」 *What Did the Japanese Military Do in China?* 熊本出版文化会館 (発売: 瀬記書房) 1991 358p.

石川 逸子 (ISHIKAWA Itsuko)

「『慰安婦』問題とアジアの女たち」 "The 'Comfort Women' Issue and Asian Women" 『軍縮問題資料』 1991.1 pp.68-71.

1994年

石川 逸子 (ISHIKAWA Itsuko)

「『従軍慰安婦』問題を心で学ぶために」 "Learning about the 'Comfort Women' Issue from the Heart" 『月例 社会教育』特集 歴史を学び憲法を生かす 38号 1994.8 pp.46-52.

板倉 由明 (ITAKURA Yoshiaki)

「複眼的視点を持って『慰安婦』と『南京事件』(総検証・日本軍の“犯罪”)」 "Taking a Broad View: 'Comfort Women' and the 'Nanjing Incident' (A Comprehensive Analysis of the Japanese Military's 'Crimes') " 『諸君!』26巻6号 1994.5 pp.122-128.

伊藤 孝司 (ITÔ Takashi)

「韓国人元『従軍慰安婦』たちの焦り」 "What is Upsetting South Korean Former 'Comfort Women'" 『世界』1994.4 pp.194-195.

伊藤 孝司 (ITÔ Takashi)

「被害女性たちの声を聞け—元『従軍慰安婦』は何に苦しんでいるか」 "Listen to the Voices of Victimized Women: What Are the Causes of Suffering For Former 'Comfort Women'?" 『世界』600号 1994.10 pp.247-253.

『女性の人権』委員会 (『Josei no Jinken』iinkai) [編]

「女性の人権アジア法廷—人身売買・慰安婦問題・基地売春を裁く」 *The Asian Women's Court of Human Rights: Slave Trade, Comfort Women, and Prostitution at Military Bases* 明石書店 1994

金井 景子 (KANAI Keiko)

「戦争・性役割・性意識—光源としての『従軍慰安婦』」 "War, the Role of Gender, and Sexual Consciousness: 'Comfort Women' as an Optical Source" 『日本近代文学』特集 研究・批評のパラダイム 51号 1994.10 pp.103-115.

姜 明姫 (KANG Myeong hui)

「人間中心、平和中心の開発と発展を—第1回 東アジア女性フォーラム」

"Human-Centered, Peace-Centered Development: The First East Asia Women's Forum" 〔統一評論〕 1994.12 pp.80-83.

韓国女性団体連合・挺身隊問題対策協議会 (Kankoku joseidantai rengō・teishintai mondai taisaku kyōgikai)

「チョゴリを狙うのはもうやめて！―蔑みを受けない統一した国をつくりましょう」 "Stop Aiming at Cheogori: Let's Build a Unified Nation Which Is Not Subject to Contempt" 〔統一評論〕 1994.8 pp.50-55.

笠原 十九司 (KASAHARA Tokushi)

「アジアの中の日本軍―戦争責任と歴史学・歴史教育」 *The Japanese Military in Asia: Responsibility for War, and History or History Education* 大月書店 1994

橋谷 政和 (KASUYA Masakazu)

「『日本の戦後処理問題に関するピョンヤン国際シンポジウム』について」 "Regarding 'An International Symposium in Pyongyang Concerning the Postwar Settlements of Japan'" 〔季刊 戦争責任研究〕4号 1994.6.25 pp.63-65.

加藤 明 (KATŌ Akira)

「異国に刻まれた怨恨に史実 岐阜県編―朝鮮人強制連行 強制労働の記録」 "Historical Facts of Grudge Engraved in a Foreign Country: Gifu Prefecture Edition - A Record of Forcibly Recruited and Mobilized Koreans" 〔統一評論〕 1994.11 pp.105-111.

川田 文子 (KAWADA Fumiko)

「赤瓦の家―朝鮮から来た従軍慰安婦」 *Red Brick House: A Comfort Woman from North Korea* ちくま文庫 筑摩書房 1994 307p.

川田 文子 (KAWADA Fumiko)

「ある日本人『慰安婦』と永野発言」 "One Japanese 'Comfort Woman' and Mr. Nagano's Statement" 〔季刊 戦争責任研究〕特集 戦争体験記にみる『従軍慰安婦』5号 1994.9.15 pp.48-51.

1994年

金 昌宣 (KIM Chang seon)

「検証・日本は戦後処理を行ったのか」 "Examination: Did Japan Pursue Postwar Settlements?" 『統・評論』 1994.2 pp.105-111.

金 昌宣 (KIM Chang seon)

「日本政府の歴史観～“過去”の忘却と“未来志向”」 "The Japanese Government's Outlook on History: Future-Oriented and Forgetful of the Past" 『統・評論』 1994.11 pp.72-77.

金 美敬 (KIM Mi ryong)

「『従軍慰安婦』の法的責任を問う～国連人権委・ICJ責任者処罰、個人補償、仲裁裁判所設置を言及」 "Who Is Legally Responsible for 'Comfort Women'? The U. N. Committee Mentions the Punishment of ICJ Persons in Charge, Individual Compensation and the Establishment of an Arbitrary Court" 『統・評論』 1994.11 pp.78-81.

金 大華 (KIM Tae hwa)

「異国に刻まれた怨恨に史実 徳島県編～朝鮮人強制連行 強制労働の記録」 "Historical Facts of Grudge Engraved in a Foreign Country: Tokushima Prefecture Edition - A Record of Forcibly Recruited and Mobilized Koreans" 『統・評論』 1994.12 pp.105-111.

金 玲希 (KIM Yeong hui)

「何が問われているのか、日本の戦後処理」 "What Is Questioned in Japan's Postwar Settlements?" 『統・評論』 1994.2 pp.116-121.

金 玲希 (KIM Yeong hui)

「欠如した「加害者」の歴史を次代に伝える～第3回朝鮮人強制連行真相調査団全国交流会」 "Imparting to the Next Generation the History of Assaulters Left Uncovered: The Third National Meeting of the Fact-Finding Survey Team for Forcibly Mobilized Korean People" 『朝鮮西報』 1994.8.9 pp.50-51.

倉橋 正直 (KURAHASHI Masanao)

「従軍慰安婦の『性的奴隷型』の発見」 "The Discovery of 'Sex Slaves' As a Type of Comfort Women" 『季刊 中国』 36号 1994.3

倉橋 正直 (KURAHASHI Masanao)

「従軍慰安婦問題の歴史的研究－売春婦型と性的奴隷型」 *Historical Study on the Comfort Women Issue: Prostitutes and Sex Slaves* 共栄書房 1994 217p.

李 青若 (LEE Chong yak)

「李家の戦争 [2]－第2次世界大戦－従軍慰安婦」 "War of the Lee Family (2)－The Second World War: Comfort Women" 『現代コリア』 343号 1994.7 pp.44-50.

前田 朗 (MAEDA Akira)

「チマ・チョゴリ事件を国連に訴える－ジュネーブ人権活動報告」 "Appeal to the U. N. on the China Cheogori Affair: A Report of Human Rights Activities in Geneva" 『マスコミ市民』 1994.10 pp.24-27.

前田 朗 (MAEDA Akira)

「チマ・チョゴリ事件を国連に訴える－ジュネーブ人権活動」 "Appeal to the U.N. on the China Cheogori Affair: Human Rights Activities in Geneva" 『朝鮮西報』 1994.11 pp.42-43.

長沼 節夫 (NAGANUMA Setsuo)

「『慰安婦』を強制された女性たち」 "Women Who Were Forced to Serve as 'Comfort Women'" 『週刊 金曜日』 2巻 29号 1994.8.5 pp.8-18.

中原 道子 (NAKAIHARA Michiko)

「日本軍に踏み躪られたマレーシア」 "Malaysia, Ridden Over by the Japanese Military" 『週刊 金曜日』 2巻 29号 1994.8.5 pp.32-39

新美 隆 (NIMI Takashi) [解説]・安原 桂子 (YASUHARA Keiko)

[編著] 横山 伊徳 [翻訳]

「オランダ女性慰安婦強制事件に関するバタビア臨時軍法会議判決」

1991年

"Decisions of the Batavia Temporary Military Court on Cases of Dutch Women Being Forced into Prostitution" 【季刊 戦争責任研究】特集2 突きつけられた「従軍慰安婦」問題 3号 1994.3.25 pp.44-50.

日本の戦争責任資料センター (Nihon no sensô sekinin shiryô CENTER)
【編】・荒井 信・(ARAI Shin'ichi) 【編著】
「ファン・ボーベン国連最終報告書」 *Final U.N. report of [Mr. Theo] van Boven* 日本の戦争責任資料センター 1994 100 p.

日本の戦争責任資料センター (Nihon no sensô sekinin shiryô Center)
「国立国会図書館所蔵の戦争体験記・部隊史調査について」 "Investigations into Memorirs of War Experiences and the Histories of Military Units Possessed by the National Diet Library" 【季刊 戦争責任研究】特集2 突きつけられた「従軍慰安婦」問題 3号 1994.3.25 pp.58-63.

日本の戦争責任資料センター (Nihon no sensô sekinin shiryô CENTER)
【編】
「資料 軍慰安所・軍慰安婦第1次集計表」 "Documents: The First Tabulation of Comfort Stations and Comfort Women" 【季刊 戦争責任研究】特集2 突きつけられた「従軍慰安婦」問題 3号 1994.3.25 pp.64-68.

日本の戦争責任資料センター (Nihon no sensô sekinin shiryô CENTER)
「「従軍慰安婦」制度による犠牲者の被害回復についての提言」 "Proposals for Atonement for the Victims of the 'Comfort Women' System" 【季刊 戦争責任研究】特集「従軍慰安婦」被害回復についての提言 4号 1994.6.25 pp.2-10.

日本の戦争責任資料センター (Nihon no sensô sekinin shiryô CENTER)
「国会図書館所蔵の戦争体験記・部隊史の第2次調査の報告」 "Report by the Second Investigation Team on Memoirs of War Experiences and the Histories of Military Units Possessed by the National Diet Library" 【季刊 戦争責任研究】特集 戦争体験記にみる「従軍慰安婦」 5号 1994.9.15 pp.18-23.

西野 留美子 (NISHINO Rumiko)

「第1章 二十一世紀を展望する戦後補償⑥-日本軍「慰安婦」にさせられた女たち ピョンヤンからの叫び (上)」 "Chapter 1, Postwar Compensation Which May Lead Us to Have a View of the 21st Century (6): Women Who Were Made 'Comfort Women' by the Japanese Military - Cries from Pyongyang (1)" 『マスコミ市民』 1994.1 pp.52-61.

西野 留美子 (NISHINO Rumiko)

「第1章 二十一世紀を展望する戦後補償⑥-日本軍「慰安婦」にさせられた女たち ピョンヤンからの叫び (下)」 "Chapter 1, Postwar Compensation Which May Lead Us to Have a View of the 21st Century (7): Women Who Were Made 'Comfort Women' by the Japanese Military - Cries from Pyongyang (2)" 『マスコミ市民』 1994.2 pp.34-37.

西野 留美子 (NISHINO Rumiko) [聞き手]

「第1章 二十一世紀を展望する戦後補償⑥-日本軍「慰安婦」問題と責任者処罰 正義の実現としての「処罰」 対談 戸塚悦朗弁護士に聞く」 "Chapter 1, Postwar Compensation Which May Lead Us to Have a View of the 21st Century (8): The Japanese Military 'Comfort Women' Issue and the Punishment of Responsible Individuals - 'Punishment' as a Realization of Justice - A Discussion with An Attorney, Etsuo Totsuka" 『マスコミ市民』 1994.3 pp.36-51.

西野 留美子 (NISHINO Rumiko)

「第1章 二十一世紀を展望する戦後補償⑨-歴史のアムネジアを克服する」 "Chapter 1, Postwar Compensation Which May Lead Us to Have a View of the 21st Century (9): Overcoming the Amnesia of History" 『マスコミ市民』 1994.4 pp.48-51.

西野 留美子 (NISHINO Rumiko)

「第1章 二十一世紀を展望する戦後補償⑩ (最終回)-侵略の爪痕 もう一つのジェノサイド (集団虐殺)」 "Chapter 1, Postwar Compensation Which May Lead Us to Have a View of the 21st Century (10) (Last Part): Scars Left by the Invasion - Another Genocide" 『マスコミ市民』 1994.

1991年

6 pp.50-57.

西野 留美子 (NISHINO Rumiko)

「現在に疼く『歴史』(上) - 日本軍『慰安婦』の戦後に何をみるのか」
"Still Painful 'History' (1): What Is to Be Understood about Japanese
Military 'Comfort Women' in the Postwar Period?" 『統一評論』 1991.3
pp.112-117.

西野 留美子 (NISHINO Rumiko)

「現在に疼く『歴史』(下) - 日本軍『慰安婦』の戦後に何をみるのか」
"Still Painful 'History' (2): What Is to Be Understood about Japanese
Military 'Comfort Women' in the Postwar Period?" 『統一評論』 1991.4
pp.114-119.

西野 留美子 (NISHINO Rumiko)

「許せないチマ・チョゴリへの暴行」 "Unforgivable Violence Against
China Cheogori" 『朝鮮商報』 1994.8.9 p.61.

西野 留美子 (NISHINO Rumiko)

「共生の可能性を探る(上) - 在日朝鮮人の子どもたちへ向かう迫害」
"Exploring the Possibility of Coexistence (1): Persecution of North
Korean-Japanese Children" 『統一評論』 1994.8 pp.56-60.

西野 留美子 (NISHINO Rumiko)

「共生の可能性を探る(下) - 在日朝鮮人の子どもたちへ向かう迫害」
"Exploring the Possibility of Coexistence (2): Persecution of North
Korean-Japanese Children" 『統一評論』 1994.9 pp.134-139.

西野 留美子 (NISHINO Rumiko)

「朝鮮民主主義人民共和国元『慰安婦』の被害報告」 "Report on Damage
to Former 'Comfort Women' of the Democratic People's Republic of
Korea" 『季刊 戦争責任研究』特集 戦争体験記にみる『従軍慰安婦』 5
号 1994.9.15 pp.37-43.

西野 留美子 (NISHINO Rumiko)

「オランダ人『慰安婦』」 "Dutch 'Comfort Women'" 『季刊 戦争責任研究』 6号 1994.12.15 pp.68-73.

呉 世哲 (O Se chol)

「『統一舞台』に入々の絆を見た」 "People's Solidarity Observed on the 'Unity Stage'" 『統・評論』 随筆 日本の友へ 1994.3 pp.90-91.

荻野 富士夫 (OGINO Fujio)

「富山県における『労務慰安婦』について」 "About 'Labor Comfort Women' in Toyama Prefecture" 『季刊 戦争責任研究』 6号 1994.12.15 pp.64-67.

岡田 順徳 (OKADA Yorinori)

「正しい歴史教育のための教材を」 "In Search of Teaching Materials for 'True Historical Education'" 『朝鮮時報』

奥村 哲 (OKUMURA Satoshi)

「中国に残された韓国人『慰安婦』」 "South Korean 'Comfort Women' Left in China" 『季刊 戦争責任研究』 特集 戦争体験記にみる『従軍慰安婦』 5号 1994.9.15 pp.44-47.

佐藤 和秀 (SATÔ Kazuhide)

「女性は軍服と砲声・硝煙に弱い」 "Women's Sensitivity to Military Uniforms, Gunfire, and Gun Smoke" 『正論』 257号 1994.1 pp.232-237.

千田 夏光 (SENDA Kakô)

『ニコニコ売春』 *Prostituting with a Smile* 汐文社 1994 206p.

宣 時伯 (SEON Si back)

「ドイツの戦後処理－ナチ戦犯追及 捕償・賠償 加害の反省施設」 "Germany's Postwar Settlement: The Pursuit of Nazi War Criminals, Compensation and Reparations, and Facilities to Reflect Upon the Crimes

1991年

Committed" 〔統・評論〕 1991.11 pp.84-88.

成 美香子 (SEONG Mi hyang ja)

「慰安婦問題と取り組んで」 "Tackling the Comfort Women Problem"
〔季刊 青丘〕 19号 1994.2 pp.94-95.

戦後補償問題研究会 (Sengohosyo mondai kenkyukai) 〔編〕

「戦後補償問題資料集 第11集」 *Reference Materials for Postwar Compensation Issues (11)* 戦後補償問題研究会 1994

清水 澄子 (SHIMIZU Sumiko)

「従軍慰安婦問題のいま」 "The Status of the Comfort Women Issue"
〔軍縮問題資料〕 1991.7 pp.28-31.

慎 鍾鳳 (SHIN Yong ha) 〔他〕

「韓国の論調「謝罪」と「韓日新時代」」 "South Korea's Tone of Argument on 'Apology', and a 'New Japan-ROK Era'" 〔統・評論〕 1991.1 pp.38-41.

慎 鍾鳳 (SHIN Yong ha)

「『陳謝』で過去に決着は、許せない」 "Do Not Allow Settlement of the Past with an Apology" 〔月刊 朝鮮資料〕 (392) 1991.1 pp.60-62.

宋 連玉 (SONG Yeon ok)

「日本の植民地支配と国家的管理売春—朝鮮の公娼を中心にして」
"Japan's Colonial Rule and State Controlled Prostitution: Focussing on State Regulated Prostitution in Korea" 〔朝鮮史研究会論文集〕 32号 1994 pp.37-87.

空野 佳弘 (SORANO Yoshihiro)

「日本の戦後処理に関する思想的問題」 "Ideas at Issue on Japan's Post-war Settlements" 〔統・評論〕 1991.2 pp.112-115.

鈴木 裕子 (SUZUKI Yoko)

「フェミニズムと朝鮮」 *Feminism and Korea* 明石書店 1991 267 p.

高木 健一 (TAKAGI Ken'ichi)

「従軍慰安婦等に対する補償問題」 "The Issue of Compensation for Comfort Women" 『月刊 自治研』 [国の責任] とは何か 36号 1994.12 pp. 42-49.

高木 健一 (TAKAGI Ken'ichi)

「慰安婦問題の早急な解決を求める“国際法律家委”の報告」 "Report of the 'International Committee of Jurists': Demanding Early Settlement of the Comfort Women Issue" 『週刊 金曜日』 2巻 46号 1994.12.9 p.26.

高崎 隆治 (TAKASAKI Ryōji) [編著]

「100冊が語る『慰安所』・男のホンネーアジア全域に『慰安所』があった」 "100 Books Describing 'Comfort Stations', Men's Honest Opinions: There Were 'Comfort Stations' Throughout Asia" 梨の木舎 1991 167 p.

田中 秀也 (TANAKA Hideya)

「戦後補償はどうなっているかー補償を求める訴訟の数々」 "What Is Happening to Postwar Compensation? Lawsuits Requesting Compensation" 『軍縮問題資料』 1991.7 pp.42-45.

俵 義文 (TAWARA Yoshifumi) [編著]

「検証・15年戦争と中・高歴史教科書ー新(93~95年度用)・旧(81~83年度用)教科書記述の比較」 *Verifying the Fifteen-Year War and History Textbooks for Junior High and High Schools: Comparison of Descriptions in New Textbooks (AY 1993-1995) and Old Textbooks (AY 1981-1983)* 学習の友社 1994 144 p.

統一評論 編集部 (Tōitsu-hyōron henshōbu)

「『従軍慰安婦』問題に関する国際法律家委員会勧告書ー1994年9月2日」 "A Recommendation of the International Jurists Committee on the 'Comfort Women' Issue: September 2, 1994" 『統一評論』 1994.11 pp.82-83.

1991年

外村 大 (TONOMURA Masaru)

「強制連行の時代の一断面 (上)」-「京城日報」紙の記事から "One Aspect of the Period When People Were Forcibly Recruited (1): Articles from the *Keijo Nippo* Newspaper" 【未来】332号 1991.5 pp.28-31.

外村 大 (TONOMURA Masaru)

「強制連行の時代の一断面 (下)」-「京城日報」紙の記事から "One Aspect of the Period When People Were Forcibly Recruited (2): Articles from the *Keijo Nippo* Newspaper" 【未来】333号 1991.6 pp.22-25.

戸塚 悦朗 (TOTSUKA Etsurō)

「日本が知らない戦争責任 [1]-国際的孤児になるニッポン-国連人権小委員会「従軍慰安婦」問題等に関する決議」 "Japan's Ignorance of War Responsibility (1): Japan's International Isolation, a Resolution of U. N. Human Rights Subcommittee Concerning the Issue of 'Comfort Women'" 【法学セミナー】39巻1号(469) 1991.1 pp.28-32.

戸塚 悦朗 (TOTSUKA Etsurō)

「日本が知らない戦争責任 [2]-「不処罰」を原因とする賠償・補償義務 ファン・ボーベン最終報告書」 "Japan's Ignorance of War Responsibility (2): Obligations for Reparations Due to 'Failure to Punish', Mr. van Boven's Final Report" 【法学セミナー】39巻2号(470) 1991.2

戸塚 悦朗 (TOTSUKA Etsurō)

「日本が知らない戦争責任 [4]-韓国人被害者ら五〇年ぶりに告訴・告発」 "Japan's Ignorance of War Responsibility (4): Complaints and Indictments by South Korean Sufferers for the First Time in 50 Years" 【法学セミナー】39巻4号(472) 1991.4

戸塚 悦朗 (TOTSUKA Etsurō)

「日本が知らない戦争責任 [5]-日本軍「慰安婦」問題でNGO「責任者処罰」要求」 "Japan's Ignorance of War Responsibility (5): Demands for 'Punishment of Responsible Persons' by NGOs on the Japanese Military 'Comfort Women' Issue" 【法学セミナー】39巻5号(473) 1991.5 pp.

48-49.

戸塚 悦朗 (TOTSUKA Etsurō)

「日本が知らない戦争責任 [10] - 国際法律家委員会 = 日本軍「慰安婦」問題で対日勧告」 "Japan's Ignorance of War Responsibility (10): International Committee of Jurists - Recommendations to Japan on the Japanese Military 'Comfort Women' Issue" 『法学セミナー』 39 卷 11 号 (479) 1994.11 pp.30-32.

戸塚 悦朗 (TOTSUKA Etsurō)

「日本が知らない戦争責任 [11] - 「慰安婦」と強制労働条約違反」 "Japan's Ignorance of War Responsibility (11): 'Comfort Women' and the Violation of the Forced Labor Prohibition Treaty" 『法学セミナー』 39 卷 12 号 (480) 1994.12 pp.28-36.

戸塚 悦朗 (TOTSUKA Etsurō)

「日本の戦争責任と国連の動向そしてマスコミの国連報道の問題点」 "Problems of Japan's War Responsibility, Movements at the U.N., and the Mass Media's Reports on the U. N." 『マスコミ市民』 1994.5 pp.44-65.

戸塚 悦朗 (TOTSUKA Etsurō)

「国連の最近の議論と仲裁裁判所 - 「従軍慰安婦」問題解決のために」 "Recent United Nations Debates and the Arbitration Tribunal: Resolving the 'Comfort Women' Problem" 『季刊 戦争責任研究』 特集 戦争体験記にみる「従軍慰安婦」 5 号 1994.9.15 pp.52-66.

内田 雅敏 (UCHIDA Masatoshi)

「『戦後補償』を考える」 *Thinking about "Postwar Compensation"* 現代新書 講談社 1994 202 p.

上杉 千年 (UESUGI Chitoshi)

「国連・特別報告書への意見書 - 従軍慰安婦問題の実態を訴える」 "Written Opinions about the U.N. Special Report: Addressing the Current State

1994年

of the Comfort Women Issue" 『自由』 36号 1994.5 pp.59-71.

上杉 千年 (UESUGI Chitoshi)

「従軍慰安婦問題の経緯」 *Details of the Comfort Women Issue* 国民会館
1994 122 p.

海野 福寿 (UN'NO Fukuju)

「[戦後]の総決算として植民地支配の見直しを」 "Colonial Rule Should
Be Reviewed for Total 'Postwar' Settlement" 『朝鮮函報』 1994.5 p.
64.

渡辺 健樹 (WATANABE Takeki)

「細川首相訪韓の意味するもの--真の「日韓関係」は築かれるか」 "What
Prime Minister Hosokawa's Visit to the R.O.K. Means: Can a 'Genuine
Relationship between Japan and Korea' be Established?" 『統一・評論』
1994.1 pp.26-31.

山本 肇 (YAMAMOTO Hajime)

「[戦争補償]の意味するもの」 "What 'War Compensation' Means" 『軍
縮問題資料』 1994.7 pp.4-7.

保田 千世 (YASUDA Chise)・覚張 敏子 (KAKUHARI Toshiko) [編
著] 坪川 宏子

「学校現場から「慰安婦」問題を考える--都高教女性部有志 強制「従軍慰
安婦」問題を考えるネットワーク」 "Thinking about the 'Comfort
Women' Issue in Schools: A Human Network on the Forced 'Comfort
Women' Issue by a Volunteer Group of Female Teachers from Tokyo
Municipal High Schools" 『教育評論』 ころろにきざむ夏・平和教育への
手がかかり 567号 1994.8 pp.51-57.

安原 桂子 (YASUIHARA Keiko)

「各国慰安婦の戦後と現在--傷跡を引きずりながら生きた彼女らの戦後」
"The Postwar Era and the Present Situation of Comfort Women in
Various Countries: Their Postwar Lives with Persisting Wounds" 『季刊』

戦争責任研究」特集2 突きつけられた「従軍慰安婦」問題 3号 1994.3.
25 pp.51-57.

吉見 義明 (YOSHIMI Yoshiaki)

「『従軍慰安婦』政策の指揮命令系統」 "The Chain of Command for the
'Comfort Women' Policy" 【商学論叢】35号 1994.3 pp.81-95.

吉見 義明 (YOSHIMI Yoshiaki) 【解説】・安原 圭子 (YASUHARA
Keiko) 【訳】

「日本占領下蘭領東インドにおけるオランダ人女性に対する強制売春に
関するオランダ政府調査報告」 "Report of the Dutch Government's Investiga-
tion concerning the Forced Prostitution of Dutch Women in the Dutch
East Indies under Japanese Occupation" 【季刊 戦争責任研究】4号
1994.6.25 pp.44-58.

吉見 義明 (YOSHIMI Yoshiaki)

「資料紹介『従軍慰安婦』の送付と朝鮮総督府」 "Introduction: The
Dispatching of 'Comfort Women' and the Office of the Governor General
of Korea" 【季刊 戦争責任研究】特集 戦争体験記にみる「従軍慰安婦」
5号 1994.9.15 pp.32-36.

尹 貞玉 (YUN Jeong ok)

「一番大切なのは、真相究明だ」 "The Most Important Thing is to Dis-
close the Truth" 【週刊 金曜日】1991.8.5

尹 貞玉 (YUN Jeong ok)・清水 澄子 (SHIMIZU Sumiko) 【編著】高
木 健一

「座談会-『慰安婦』問題のいまを考える」 "A Round-Table Discussion:
The Status of the 'Comfort Women' Issue" 【月刊 婦人展望】(452)
1994.8.10 pp.6-11.

尹 明淑 (YUN Myeong suk)

「日中戦争期における朝鮮人軍隊慰安婦の形成」 "The Recruitment of
Korean Comfort Women During the Sino-Japanese War" 【朝鮮史研究会

1994年

論文集】特集 朝鮮女性史への視点 32号 1994.10 pp.89-118.

【日本の戦後処理問題に関する平壤国際会議(1993年11月7~8日)】
"The Pyongyang International Conference on the Issues of Japan's
Postwar Settlements (November 7-8, 1993)" 月刊 朝鮮資料 (392)
1994.1 pp.68-76.

【国側は宋さんの被害を認めず-在日韓国人元従軍慰安婦・宋神道さん第2
回公判】 "The State Does Not Admit That Ms. Son Was Victimized: The
Second Trial of Ms. Shin do Son, A South Korean-Japanese Former
Comfort Woman" 民権協ニュース 1994.2

【日本の戦後処理をとりまく動向-年表 1990~1993】 "What Happened
in Connection with Japan's Postwar Settlements: A Chronological Table
1990 - 1993" 統一評論 1994.2 pp.126-129.

【韓国「日本軍慰安婦」の日本大使館前抗議が百回】 "South Korean
'Comfort Women' Protest in Front of the Japanese Embassy 100 Times"
統一評論 南北・海外同胞トピックス 1994.4 p.111.

【「日本軍慰安婦」犯罪の責任者処罰を求める告発状(要旨)】 "A Bill of
Indictment Demanding the Punishment of Persons Responsible for the
'Comfort Women' Crime (Summary)" 統一評論 1994.4 pp.120-125.

【永野発言「侵略戦争否定」発言-朝鮮中央通信批判】 "Nagano's
Remarks on 'Denial of Invasive War': Criticized by Korea Central Com-
munications" 統一評論 南北・海外同胞トピックス 1994.7 p.76

1995 年

阿部 浩己 (ABE Koki)

「解説」『国際法からみた「従軍慰安婦」問題』“Commentary: The 'Comfort Woman' Issue as Seen from the Viewpoint of International Law”『国際法からみた「従軍慰安婦」問題』1995 pp.235-244.

藍谷 邦雄 (AITANI Kunio)

「被害者自身の想いを第一に」“Top Priority Should Be Given to the Thoughts of the Victims Themselves”『週刊 金曜日』1995.10.13

荒井 信・ (ARAI Shin'ichi)

「日本の戦後補償—九五年は「決算」ではなく「開始」です」“Japan's Postwar Compensation: The Year 1995 Does Not Mark 'Settlement', but 'Start'”『統・評論』1995.1 pp.54-59.

荒井 信・ (ARAI Shin'ichi)

「村山内閣と「従軍慰安婦」問題」“The Murayama Cabinet and the 'Comfort Women' Issue”『歴史評論』540号 1995.4 pp.76-79.

荒井 信・ (ARAI Shin'ichi) 【翻訳・解説】

「「従軍慰安婦問題」—リンダ・チャベス氏報告」“The 'Comfort Women' Issue: A Report by Linda Chavez”『季刊 戦争責任研究』10号 1995.12.15 pp.44-47.

有光 健 (ARIMITSU Ken)

「歴史の評価に耐える戦後補償の実現を—戦後五〇年に寄せて」“Realization of Postwar Compensation Which May Survive Historical Evaluation: Commemorating the 50th Anniversary of the End of the War”『マスコミ市民』1995.6 pp.6-12.

朝日新聞社 (Asahi-shinbunsha) 【編】

「日本とドイツ—深き淵より」*Japan and Germany: Out of the Depths*

1995年

朝日新聞社 1995 302 p.

崔 淑烈 (CHOI Suk ryol)・和田 孝男 (WADA Takao) [編著]
『あの夏の鳳仙花』 *That Summer's Balsam* めるくまーる 1995 214 p.

崔 哲榮 (CHOI Cheol yeong)
『朝鮮人「従軍慰安婦」、日本の国家責任』 “Japan's National Responsibility for Korean 'Comfort Women'” 『統一評論』 1995.10 pp.80-88.

朝鮮人強制連行真相調査団 (Chōsenjin kyōsei renkō shinsō cyōsadan)
『“慰安婦”、強制労働問題の関連発言と決議』 “Remarks and Resolutions Related to the 'Comfort Women' and Forced Labor Issues” 『資料集8・関連決議と植民地支配、強制連行……九〇五年条約は無効、「慰安婦」は犯罪』 1995.5 pp.19-20.

朝鮮人強制連行真相調査団 (Chōsenjin kyōsei renkō shinsō cyōsadan) [編]
『国連決議と植民地支配、強制連行—1905年条約は無効、“慰安婦”問題は犯罪』 *U.N. Resolution and Colonial Rule, Forced Recruitment: The Korea Protection Treaty of 1905 Is Void, the "Comfort Women" Issue Is Considered a War Crime* 朝鮮人強制連行真相調査団 1995 69 p.

Dieng, Adama (DIENG, Adama) [ほか著]
『国際化する「従軍慰安婦」問題—NGOからの声』 “The 'Comfort Women' Issue Becomes an International Concern: NGOs Speak Out” 『世界』 613号 1995.9 pp.272-277.

江原 由美子 (EHARA Yumiko)
『装置としての性支配』 *Sexual Rule as a Device* 勁草書房 1995 330 p.

藤永 壮 (FUJINAGA Takeshi)
『上海の公娼制度に関する法令資料について』 “Legal Materials on the

Public Prostitution System in Shanghai" 【大阪産業大学論集 人文科学
編】 86号 1995 pp.1-16.

藤永 壮 (FUJINAGA Takeshi)

「上海の日本軍慰安所と朝鮮人」 "Koreans and Comfort Stations in
Shanghai" 【国際都市上海 (産研叢書1)】 1995.9 pp.99-179.

依間 比呂志 (GIMA Hiroshi)

「沖縄戦—朝鮮人軍夫と従軍慰安婦 (版画集)」 Battle in Okinawa: Kor-
ean Civilian War Workers and Comfort Women (Collection of Woodcuts)
清風堂書店 1995 68 p.

銀林 美恵子 (GINBAYASHI Mieko)

「差別された被爆者たち」 "Discriminated Survivors of the Atomic
Bomb" 【マスコミ市民】 1995.12 pp.26-29.

後藤 乾・ (GOTO Ken'ichi)

「近代日本と東南アジア—南進の「衝撃」と「遺産」」 *Modern Japan and
Southeast Asia: The "Impact" and "Legacy" of Southward Advance* 岩波
書店 1995 345 p.

H・G生 (H・G Sei)

「[あいまいな日本] にむくれる「日本」」 "The 'Japan' That Takes
Offense at the 'Ambiguous Japan'" 【統一評論】 1995.2 pp.124-125.

韓 桂玉 (HAN Kye ok)

「朝鮮半島と日本」 "The Korean Peninsula and Japan" 【マスコミ市民】
1995.8 pp.24-27.

韓 京益 (HAN Kyeong ik)

「相模湖ダム工事と朝鮮人強制連行」 "Lake Sagami Dam Construction
Work and Forcibly Recruited Korean Workers" 【統一評論】 1995.9
pp.120-123.

1995年

韓 奎 (HAN Kyu il)

「戦後五〇年 日本の歴史的責任を問う」 "50 Years After the War, Questioning Japan's Responsibility for History" 【法評論】 1995.4 pp.10-17.

早川 紀代 (HAYAKAWA Noriyo)

「従軍慰安婦」制度の歴史的背景について」 "The Historical Background of the 'Comfort Women' System" 【法の科学】 特集 フェミニスト法学の試み 23号 1995 pp.126-130.

早川 紀代 (HAYAKAWA Noriyo)

「倉橋正直 著『従軍慰安婦問題の歴史的探究—売春婦型と性的奴隷型』」 Masanao Kurahashi, "An Historical Study on the Comfort Women Issue: Prostitutes and Sex Slaves" 【歴史評論】 540号 1995.4 pp.84-87.

ヘンソン、マリア・ロサ・ルナ (HENSON, Maria Rosa L.)・藤田 ゆき (FUJIME Yuki) 【訳】

「ある日本軍『慰安婦』の回想—フィリピンの現代史を生きて」 *Memoirs of a Japanese Military "Comfort Woman": Living through the Contemporary Philippine History* [Translation of *Comfort Woman, Slave of Destiny*] 岩波書店 1995 220 p.

ヒックス、ジョージ (HICKS, George L.)・浜田 徹 (HAMADA Tōru) 【訳】

「従軍慰安婦—性の奴隷」 *The Comfort Women: Sex Slaves* 三一書房 1995 295 p.

洪 祥進 (HONG Sang jin)

「『慰安婦』問題は犯罪」 "The 'Comfort Women' Issue Means a Crime" 【資料集 8・同達決議と植民地支配、強制連行——九〇五年条約は無効、『慰安婦』は犯罪】 1995.5 pp.16-18.

洪 祥進 (HONG Sang jin)

「『慰安婦』問題は戦争犯罪—第51会期国連・人権委員会」 "The 'Com-

fort Women' Problem Is a War Crime: The 51st Session of the U. N. Committee on Human Rights" 【朝鮮西報】 1995.6 pp.42-43.

洪 祥進 (HONG Sang jin)

「国連、「日本」を名指し決議--「従軍慰安婦」問題と朝鮮学校卒業生の処遇改善」 "The U.N. Makes a Resolution, Mentioning Japan by Name: The 'Comfort Women' Problem and the Search for Better Treatment of Graduates from Korean Schools" 【朝鮮西報】 1995.11 pp.36-37.

洪 祥進 (HONG Sang jin)

「国際社会に通用しない日本の「有効」論」 "Japan's Idea of 'Validity' Does Not Pass with Contemporary International Society" 【マスコミ市民】 1995.12 pp.16-21.

堀川 弘道 (HORIKAWA Hiromichi)

「史実が物語る負の遺産を直視する」 "Facing a Negative Inheritance Squarely as Exposed to the Light of History" 【朝鮮西報】 1995.10 p. 64.

皇市 康子 (HIWANGPO Kang ja)

「戦後五〇年、日本軍「慰安婦」問題はなぜ解決しなかったのか?--第3回日本軍「慰安婦」問題アジア連帯会議」 "Why Was the Japanese Military 'Comfort Women' Problem Not Solved Even 50 Years after the War?: The 3rd Asian Solidarity Conference on the Japanese Military 'Comfort Women' Problem" 【マスコミ市民】 1995.4 pp.82-83.

皇市 康子 (HIWANGPO Kang ja)

「北京世界女性会議に参加して--会議参加までの決意」 "Participation in the Beijing World Women's Conference: My Determination to Participate" 【マスコミ市民】 1995.11 pp.72-75.

皇市 康子 (HIWANGPO Kang ja)

「「慰安婦」問題を訴える」 "Demands on the 'Comfort Women' Issue" 【部落解放】特集 北京女性会議 398号 1995.12 pp.55-60.

1995年

家永 三郎 (IENAGA Saburō)

「歴史教育の功罪」 "Merits and Demerits of History Education" 『マスコミ市民』 1995.12 pp.22-25.

井上 節子 (INOUE Setsuko)

「占領軍慰安所-敗戦秘史 国家による売春施設」 *Occupation Forces' Comfort Stations: The Untold History after the Lost War - Prostitution Facilitated by the State* 新評論 1995 233 p.

伊藤 啓子 (ITO Keiko)

「異国に刻まれた怨恨の史実 愛知県編-朝鮮人強制連行 強制労働の記録」 "Historical Facts of Grudge Engraved in a Foreign Country: Aichi Prefecture Edition - A Record of Forcibly Recruited and Mobilized Koreans" 『枕-評論』 1995.2 pp.64-68.

伊藤 雅子 (ITO Masako)

「女性史を拓く」 "Exploring the History of Women" 『未来』 扉のことば 1995.11 p.1.

女性のためのアジア平和国民基金 (Joseinotameno ASIA heiwa kokumin-kikin)

「『従軍慰安婦』にされた方々への償いのために」 *As Atonement For The "Comfort Women"* 女性のためのアジア平和国民基金 1995 28 p.

姜 恵植 (KANG Hye Jeong)

「ハルモニたちとの出会い」 "An Encounter with Elderly Korean Women" 『季刊 青丘』 24号 1995.11 pp.165-169

加瀬 英明 (KASE Hideaki)・田 麗玉 (CHEON Yeo ok) [編著] 大林 高士 訳 書勉

「『醜い韓国人』vs『悲しい日本人』-日韓友好の道を探る」 "Ugly Korean" vs. "Pitiful Japanese": Groping Along the Road to Friendship Between Japan and Korea たま出版 1995 175 p.

勝山 泰佑 (KATSUYAMA Hirotsuke)

『海渡る恨－勝山泰佑写真集』 *Bitter Grudges Crossing the Sea: A Photo Album by Taisuke Katsuyama* 汐文社 1995

川田 文子 (KAWADA Fumiko)

『戦争と性－近代公娼制度・慰安所制度をめぐって』 *War and Sex: The Modern Public Prostitute and Comfort Station Systems* 明石書店 1995 222 p.

川田 文子 (KAWADA Fumiko)

『時間が爆発しないうちに－名乗り出たインドネシアの元「従軍慰安婦」』
"Before Time Explodes: An Indonesian Former 'Comfort Woman' who Revealed Herself" 『週刊 金曜日』 1995.11.10 pp.23-27.

金 贊汀 (KIM Chan Jeong)

『朝鮮半島から見た今の日本－加害者意識の欠落に対する不信』 "Today's Japan as Seen from the Korean Peninsula: Distrust for Those Who Lack Consciousness of Being an Assailant" 『軍縮問題資料』 1995.10 pp.10-13.

金 昌宣 (KIM Chang seon)

『過去の清算なき「日韓条約」』 "A 'Japan-ROK Treaty' without Eliminating the Past" 『統・評論』 1995.6 pp.34-41.

金 美嶺 (KIM Mi ryeong)

『国際法による賠償と処罰－「従軍慰安婦」問題と国連人権委』 "Reparations and Punishment According to International Law: The 'Comfort Women' Issue and the U.N. Human Rights Committee" 『統・評論』 1995.5 pp.85-88.

金 明順 (KIM Myeong sun)・瀬戸内 寂聴 (SETOUCHI Jakuchō) [編著]

『瀬戸内寂聴 韓国人元「慰安婦」に聞く－高級将校のおもちゃ、梅毒の果ての妊娠』 "Jakuchō Setouchi Interviews a Former South Korean 'Com-

1995年

fort Woman: A Toy for Higher Officers Resulting in Syphilis and Pregnancy" 『婦人公論』80巻9号 1995.9 pp.179-182.

金 富子 (KIM Pu ja)・梁 澄子 (YANG Chung ja) [編著]
「もっと知りたい『慰安婦』問題—性と民族の視点から」 *The "Comfort Women" Issue We Want to Know More About: From the Viewpoint of Sex and Ethnicity* 明石書店 1995 130 p.

金 英姫 (KIM Yeong hui)
「従軍慰安婦問題」 "The Comfort Women Issue" 『季刊 青丘』21号 1995.2 pp.171-174.

本村 宏一郎 (KIMURA Kōichirō)
「資料紹介 アンダマン島の日本海軍『慰安所利用内規』」 "Introduction to the Document: "The Japanese Navy's "Regulations for Using Comfort Stations" on the Andaman Islands" 『季刊 戦争責任研究』10号 1995.12.15 pp.66-69.

北川 広和 (KITAGAWA Hirokazu)
「見直し迫られる『日韓条約』」 "The 'Japan-ROK Treaty' Needs Review" 『統一評論』1995.4 pp.18-24.

高 演義 (KO Yeon ui)
「旧侵略国の歴史責任の取り方」 "The Way for an Old Invading Country to Take Responsibility for History" 『統一評論』1995.2 pp.92-93.

高 演義 (KO Yeon ui)
「『慰安婦』への償いとは何か」 "What Is Compensation for 'Comfort Women'?" 『統一評論』1995.11 pp.90-91.

国際法律家委員会 (Kokusai hōritsuka iinkai)・戸塚 悦朗 (TOTSUKA Etsurō) [編著]
「日本軍『慰安婦』問題に関する最終報告書(抄)-2完-」 "Final Report on the Japanese Military 'Comfort Women' Issue (Excerpt) 2 (Complete)"

『法律時報』67号 1995.1 pp.74-79.

国際法律家委員会 (Kokusai hōritsuka iinkai)・自由人権協会 (Jiyū jin-ken kyōkai)・日本の戦争責任資料センター (Nihon'no sensōsekinin shir-yō Center) [編著]

『国際法からみた「従軍慰安婦」問題』 *An International Law Perspective on the "Comfort Women" Issue* 明石書店 1995 244p.

黒田 勝弘 (KURODA Katsuhiko)

『韓国・反日症候群』 *The Anti-Japanese Syndrome in South Korea* 亜紀書房 1995 217p.

郭 大元 (KWAK Tae won)

『初めての日本軍慰安婦絵画展』 "The First Exhibition of Paintings of Comfort Women" 『週刊 金曜日』3巻24号 1995.6.30 p.51.

李 効甫 (LEE Hyo jae)・尹 貞玉 (YUN Jeong ok) ほか [刊 健・(訳)]

『返償 やはり基金の提案は受けいれられない―韓日間に横たわる深淵の深さを見つづ』 "Response: I Still Cannot Accept the Fund's Proposal: Facing the Depth of Depths Lying between South Korea and Japan" 『世界』(日本軍「慰安婦」問題をどう考えるか (『新東亜』『世界』共同企画・日韓知識人往復書簡)) 615号 1995.11 pp.130-138.

李 仁浩 (LEE In ho)

『[謝罪]は[暴挙]という「アジア共生の祭典」』 "'Asia Festival for Coexistence', Where 'Apology' Is Considered an 'Outrage'" 『統評論』1995.7 p.103.

李 仕燭 (LEE Ga Hyung)

『怒りの河ービルマ戦線狼山砲第二大隊朝鮮人学徒兵と志願兵の記録』 *River of Wrath: A Record of Korean Student Volunteers in the Rouzan Battalion No.2 on the Burmese Battlefield* 池谷出版 1995 313p.

1995年

前田 朗 (MAEDA Akira)

「戦争捕虜問題と国家保安法」 "The Issue of Prisoners of War and the State Security Law" 『朝鮮画報』 1995.9 pp.34-35.

前田 朗 (MAEDA Akira)

「解決迫られる“従軍慰安婦”問題—責任逃れの民間基金」 "The 'Comfort Women' Issue Urgently Needs a Solution: The Civil Fund as a Means to Evade Responsibility" 『マスコミ市民』 1995.10 pp.58-61.

松井 やより (MATSUI Yayori)

「アジアの女たちとともに—21世紀へつなぐ希望、北京女性会議の意義」 "With Asian Women: Hope for the 21th Century—The Significance of the Beijing Women's Conference" 『軍縮問題資料』 1995.10 pp.42-45.

松野 誠也 (MATSUNO Seiya)

「資料紹介『森川部隊特種慰安業務ニ関スル規定』」 "Introduction to the Document 'Regulations for the Morikawa Corps Regarding Special Comfort Duties'" 『季刊 戦争責任研究』 7号 1995.3.15 pp.87-89.

松下 学 (MATSUSHITA Manabu)

「異国に刻まれた怨恨の史実 大分県編—朝鮮人強制連行 強制労働の記録」 "Historical Facts of Grudge Engraved in a Foreign Country: Oita Prefecture Edition—A Record of Forcibly Recruited and Mobilized Koreans" 『統一評論』 1995.6 pp.120-126.

三木 睦子 (MIKI Mutsuko)

「私はなぜ『民間基金』の呼びかけ人を引き受けたか」 "Why I Agreed to Become a Founder of the 'Asian Women's Fund'" 『世界』 1995.8

水谷 静男 (MIZUTANI Seima)

「朝鮮侵略百年史の『歪曲と忘却』—マスコミ現場」 "'The Distorted and Forgotten' Centennial of the Korean Invasion: Mass Communications on Site" 『マスコミ市民』 1995.1 pp.61-65.

森田 三男 (MORITA Mitsuo)

「戦後補償問題と歴史の教訓--とくに『従軍慰安婦』問題を中心とする法社会学的研究」 "Postwar Compensation Issues and Lessons Learned from History: With Emphasis on Legal Sociological Research Centering on the 'Comfort Women' Issue" 『創価法学』24号 1995.3 pp.19-67.

文 玉珠 (Mun Ok ju)・瀬戸内 寂聴 (SETOUCHI Jakuchō) [編著]

「瀬戸内寂聴 韓国入元『慰安婦』に聞くーモンペ姿で最前線を連れ回され」 "Jakuchō Setouchi Interviews a Former South Korean 'Comfort Woman': 'Taken Near the Front with 'Monpe' (Women's Traditional Work Pants)" 『婦人公論』80巻9号 1995.9 pp.175-179.

永井 潤子 (NAGAI Junko)

「ドイツでの日本の戦争責任をめぐる論議」 "Dispute in Germany over Japan's Responsibility for War" 『未来』1995.10 pp.12-13.

南雲 和夫 (NAGUMO Kazuo)

「西岡力著『日韓誤解の深淵』を斬る(上)」 "Comments on Tsutomu Nishioka's 'An Abyss of Misunderstanding between Japan and South Korea'(1)" 『マスコミ市民』1995.5 pp.56-64.

南雲 和夫 (NAGUMO Kazuo)

「西岡力著『日韓誤解の深淵』を斬る(下)」 "Comments on Tsutomu Nishioka's 'An Abyss of Misunderstanding Between Japan and South Korea' (2)" 『マスコミ市民』1995.6 pp.46-55.

中田 均 (NAKATA Hitoshi)

「異国に刻まれた怨恨の史実 西東京編-朝鮮人強制連行 強制労働の記録」 "Historical Facts of Grudge Engraved in a Foreign Country: West Tokyo Edition - A Record of Forcibly Recruited and Mobilized Koreans" 『統一評論』1995.3 pp.126-132.

中村 輝子 (NAKAMURA Teruko)

「人権が基本の北京女性会議」 "Beijing Women's Conference Gives Top

1995年

Priority to Human Rights" 【季刊 青丘】 24号 1995.11 pp.84-89

日本の戦後責任をハッキリさせる会 (Nihon no Sengosekinin wo Hakkiri saseru kai) 【編】

「私たちの生きている間に！ー敗戦50年・日本政府は個人補償の決断を！」
While We Are Still Alive! - 50 Years after the End of the War: The Japanese Government Should Decide to Give Individual Compensation! 日本
の戦後責任をハッキリさせる会 1995 24p.

日本の戦争責任資料センター (Nihon'nosensō sekinin shiryōCENTER)

「資料紹介 主計将校と「従軍慰安婦」ー中曾根元首相も慰安所をつくった」
"Introduction to the Documents: Paymasters and 'Comfort Women' -
Former Prime Minister Nakasone Also Founded Comfort Stations" 【季
刊 戦争責任研究】 7号 1995.3.15 pp.80-86.

日本の戦争責任資料センター (Nihon'nosensō sekinin shiryōCENTER)

「国会図書館等所蔵の戦争体験記・部隊史の第三次調査の報告」 "A
Report of the Tertiary Survey on the Memoirs of War Experiences and
History of Military Units Possessed by the National Diet Library" 【季刊
戦争責任研究】 9号 1995.9 pp.40-44.

西野 留美子 (NISHINO Rumiiko)

「日本軍「慰安婦」を追ってー元「慰安婦」元軍人の証言録 敗戦50年目」
*Tracing the History of the Japanese Military "Comfort Women": A Record
of Testimonies of Former "Comfort Women" and Former Soldiers 50
Years After Loss of the War* マスコミ情報センター (発売: 泉の本舎)
1995 263p.

西野 留美子 (NISHINO Rumiiko)

「民間基金は「慰安婦」の解決にはならない」 "The Private Fund Is Not
an Answer to the 'Comfort Women' Issue" 【週刊 全曜日】 3巻23号
1995.6.23 pp.70-71.

西野 留美子 (NISHINO Rumiko)

「従軍慰安婦」という呼称でいいのか "Is 'Comfort Women' the Right Designation?" [RONZA] 1995.10 p.6.

西野 留美子 (NISHINO Rumiko) [編]

「若ものたちが考える戦争責任—十代のあなたからのメッセージ」 *When Young People Think about War Responsibility: A Message from Teens* 明石書店 1995 192 p.

西尾 幹二 (NISHIO Kanji)

「個人補償」という迷信 "The Superstition of 'Individual Compensation'" [Voice] 1995.2 pp.37-39.

大阪産業大学産業研究所、上海研究プロジェクト (Osakasangyo-daigaku sangyo-kenkyujo shanghai-kenkyu PROJECT) [編]

「国際都市上海」 *The International City of Shanghai* 大阪産業大学産業研究所 1995 325 p.

大島 清 (OSHIMA Kiyoshi)

「性紀末」 *The End of Sexual Crime* 毎日新聞社 1995 218 p.

大鷹 淑子 (OTAKA Yoshiko)・下村 満子 (SHIMOMURA Mitsuko)

・野中 邦子 (NONAKA Kuniko)・和田 春樹 (WADA Haruki)

「往償 なぜ「国民基金」を呼びかけるか」 "Response: Why I Draw Attention to the 'National Fund?'" [世界] (日本軍「慰安婦」問題をどう考えるか(「新東亜」「世界」共同企画・日韓知識人往復書簡)) 615号 1995.11 pp.124-129.

大内 和臣 (OUCHI Kazuomi)

「従軍慰安婦補償と国際法—法政学的考察」 "Compensation for Comfort Women and International Law: Legal - Political Considerations" [法学新報] 1995.12 pp.55-71.

小野沢 あかね (ONozAWA Akane)

「国際連盟における婦人及び児童売買禁止問題と日本の売春問題」 "The

1995年

Issue of the Prohibition of Trade in Women and Children Handled at the United League, and Japan's Prostitution Problems" 【総合研究】津田塾大学国際関係研究所 3号 1995 pp.133-159.

裴 足F (PAE Zok kan)・瀬戸内 寂聴 (SETOUCHI Jakuchō) 【編著】
「瀬戸内寂聴 韓国人元「慰安婦」に聞くー「処女供出」の犠牲、最後は置き去りに」 "Jakuchō Setouchi Interviews a Former South Korean 'Comfort Woman': A Victim of 'Served as a Virgin' and Abandoned" 【婦人公論】80巻9号 1995.9 pp.182-186.

朴 福美 (PAK Pok mi)
「髪を洗う女ー韓国女性下着考」 "The Woman Who Washes Her Hair - A Consideration of South Korean Japanese Women's Underwear" 【未来】1995.1 pp.26-30.

フィリピン従軍慰安婦補償請求裁判弁護団 (PHILIPPINE jōgun-ianfu hōshyō seikyō saiban bengodan) 【編】
「フィリピンの日本軍「慰安婦」ー性的暴力の被害者たち」 *Philippine "Comfort Women" of the Japanese Military: Victims of Sexual Violence* 明石書店 1995 225 p.

ピョン ヨンジュ (PYEON Yeong ju)・福島 瑞穂 (FUKUSHIMA Mizuho) 【編著】
「「慰安婦」の痛みはボスニア女性の痛み【対談】」 "The Pain of 'Comfort Women' is the Pain of Bosnia's Women (Dialog)" 【週刊 金曜日】3巻45号 1995.12.1 pp.30-33.

シュミット ヘルムート (SCHMIDT Helmut) 【インタビュー】・長崎 和夫 (NAGASAKI Kazuo) 【聞き手】
「日独戦後補償ー従軍慰安婦問題解決は象徴的な和解をもたらす」 "Japanese and German Postwar Compensation: The Solution of the Comfort Women Issue Will Bring About a Symbolic Reconciliation" 【エコノミスト】73巻21号 1995.5.16 pp.44-46.

千田 夏光 (SENDA Kakô)

『従軍慰安婦・摩子—死線をさまよった女の証言』 "The Comfort Woman, Keiko: The Testimony of a Woman Who Hovered Between Life and Death" 恒友出版 1995 313 p.

千田 夏光 (SENDA Kakô)

『戦争で涙した女たちのどうしても語りたかった話』 *Stories of Women Who Want to Talk about Their Tears during the War* 汐文社 1995 189 p.

芝 竹夫 (SHIBA Takeo)

『異国に刻まれた怨恨の史実 福岡県編—朝鮮人強制連行 強制労働の記録』 "Historical Facts of Grudge Engraved in a Foreign Country: Fukuoka Prefecture Edition - A Record of Forcibly Recruited and Mobilized Koreans" 『統』 評論 1995.4 pp.105-117.

菊見 一夫 (SUMI Kazuo)

『汚れた国際協調主義—従軍慰安婦問題とODA』 "Contaminated International Harmonium: The Comfort Women Issue and the ODA" 『法学セミナー』 40 卷 11 号 (491) 1995.11 pp.25-29.

宋 神道 (SONG Sin do)

『わたしは「従軍慰安婦」だった』 "I Was a 'Comfort Woman'" 『部落解放』 397 号 1995.11 pp.132-139.

空野 佳弘 (SORANO Yoshihiro)

『国連における日本の戦争犯罪審理』 "The U.N. Trial of Japanese War Crimes" 『ミレ』 1995 pp.17-20.

空野 佳弘 (SORANO Yoshihiro)

『怠ってきた日本の戦後責任—朝鮮人強制連行、「従軍慰安婦」とは何か?』 "Japan's Postwar Responsibility Neglected: What Are the Forcibly Mobilized Koreans and 'Comfort Women' Issues?" 『朝鮮商報』 解放 50 年 朝・日関係を考える① 1995.5 pp.44-45.

1995年

鈴木 裕子 (SUZUKI Yoko)

「今、日本の「戦後」のあり方が問われている」 "Now, How Japan's 'Postwar' Should Be Questioned" 『朝鮮両報』 1995.2 pp.64.

鈴木 裕子 (SUZUKI Yoko)

「日本軍「慰安婦」問題と戦後賠償運動」 "The Japanese Military 'Comfort Women' Problem and Postwar Reparation Movements" 『統・評論』 1995.2 pp.56-63.

鈴木 裕子 (SUZUKI Yoko)

「『慰安婦』制度・公娼制・家父長制」 "The 'Comfort Women' System, Licensed Prostitution and the Patriarchal Family" 『未来』日本軍「慰安婦」問題の現在と歴史 1 347号 1995.8 pp.24-27.

鈴木 裕子 (SUZUKI Yoko)

「慰安婦問題と戦後日本社会 (一)」 "The Comfort Women Issue and Postwar Japanese Society (1)" 『未来』日本軍「慰安婦」問題の現在と歴史 2 348号 1995.9 pp.22-25.

鈴木 裕子 (SUZUKI Yoko)

「慰安婦問題と戦後日本社会 (二)」 "The Comfort Women Issue and Postwar Japanese Society (2)" 『未来』日本軍「慰安婦」問題の現在と歴史 3 349号 1995.10 pp.7-11.

鈴木 裕子 (SUZUKI Yoko)

「慰安婦問題と戦後日本社会 (三)」 "The Comfort Women Issue and Postwar Japanese Society (3)" 『未来』日本軍「慰安婦」問題の現在と歴史 4 351号 1995.12 pp.38-41.

鈴木 裕子 (SUZUKI Yoko)

「女性史を拓く 3-女と〈戦後60年〉」 "Exploring the History of Women (3): Women and '60 Years After the War'" 未来社 1995 188p.

田井 肇 (TAI Hajime)

「異国に刻まれた怨恨の史実 高知県編—朝鮮人強制連行 強制労働の記録」
"Historical Facts of Grudge Engraved in a Foreign Country: Kôchi
Prefecture Edition - A Record of Forcibly Recruited and Mobilized
Koreans" 【続・評論】 1995.8 pp.130-137.

高木 健一 (TAKAGI Ken'ichi) [編]

「もう待てない 今こそ戦後補償を！」 *It Cannot Wait Anymore, Post-war Compensation Now!* 凱風社 1995 142 p.

高木 健一 (TAKAGI Ken'ichi)

「『基金』をステップに正義の実現を」 "We Hope the 'Fund' Will Go a
Step Farther to Realize Justice" 【週刊 金曜日】 1995.10.13 pp.26-29

高橋 哲哉 (TAKAHASHI Tetsuya)

「満身創痍の《証人》—〈彼女たち〉からレヴィナスへ」 "Witnesses' with
Wounds - From 'Women' to Levinas" 【現代思想】特集 戦争の記憶 23
号 1995.1 pp.82-99.

高橋 哲哉 (TAKAHASHI Tetsuya)

「分かち合う記憶—『ナムムの家』ビヨン・ヨンジュ監督作品」 "Mem-
ories to Be Shared: 'The House of Nanum', Directed by Yeongju Byeon
【インパクション】94号 1995.11 pp.129-131.

田代俊子記念基金 (TASHIRO Toshiko kinen kikin) [編]

「田代俊子記念基金 women's studies in にいがた 1995」 *The Toshiko
Tashiro Memorial Fund: Women's Studies in Niigata in 1995* 田代俊子
記念基金運営委員会 1995 45 p.

床井 茂 (TOROI Shigeru)

「『戦後50年』と在日朝鮮人の法的地位」 "50 Years After War' and the
Legal Status of Korean - Japanese People" 【朝鮮商報】解放50年 朝・
日関係を考える③ 1995.7 pp.44-45.

1995年

富村 順一 (TOMIMURA Jun'ichi) [編著]

『沖縄戦語り歩きー愚童の破天荒旅日記』 *Talking about the Battle in Okinawa: Diary of the Bohemian Tour of an Ordinary Man* 拓植書房
1995 201 p.

富岡 恵美子 (TOMIOKA Emiko) [編]・吉岡 満子 (YOSHIOKA Mitsuko) [編著]

『日本の女性と人権』 *Japanese Women and Human Rights* 明石書店
1995

富岡 恵美子 (TOMIOKA Emiko)

『日本の戦争責任を問うー中国人戦争被害訴訟始まるー「慰安婦」訴訟』
"Questioning Japanese War Responsibility: A Series of Lawsuits by Chinese Nationals Demanding Compensation for Damages from the War The 'Comfort Women' Lawsuit" [週刊 金曜日] 3巻47号 1995.12.15 pp.25-27.

戸塚 祝朗 (TOTSUKA Etsurō)

『国際法学家委員会・日本軍「慰安婦」問題に関する最終報告書公表に際してー「法的問題」を中心に』 "International Committee of Jurists: Comments on the Publication of the Final Report Regarding the Japanese Military 'Comfort Women' Issue With Emphasis on 'Legal Issues'" [法律時報] 67号 1995.1 pp.84-89.

戸塚 祝朗 [インタビュー] (TOTSUKA Etsurō)・鶴飼 哲 (UKAI Satoshi) [編著]

『従軍慰安婦問題と国連』 "The Comfort Women Issue and the United Nations" [現代思想] 特集 戦争の記憶 23号 1995.1 pp.256-275.

戸塚 祝朗 (TOTSUKA Etsurō)

『「慰安婦」賠償への日本政府の無責任と官僚の情報操作』 "The Irresponsibility of the Japanese Government in Undertaking Compensation for 'Comfort Women' and the Manipulation of Information by Bureaucrats" [週刊 金曜日] 3巻2号 1995.1.20 pp.16-17.

戸塚 祝朗 (TOTSUKA Etsurô)

「日本が知らない戦争責任 [14]」-国連人権委対女性暴力特別報告者「慰安婦問題は犯罪」と指摘-国連人権委調査団近く来日調査も」 "Japan's Ignorance of War Responsibility (14): U.N. Human Rights Commission vs. A Special Rapporteur on Violence against Women, Pointing Out That "The Comfort Women Issue is a Crime" - The U.N. Commission is Considering Sending a Study Mission to Japan" 『法学セミナー』40巻3号(183) 1995.3 pp.12-15.

戸塚 祝朗 (TOTSUKA Etsurô)

「日本が知らない戦争責任 [17]」-「性的奴隷制」(「慰安婦」問題)で厳しい国連行動計画案」 "Japan's Ignorance of War Responsibility (17): The U. N. Proposes a Severe Action Program on 'Sex Slavery' (the 'Comfort Women' Issue)" 『法学セミナー』40巻6号(186) 1995.6 pp.35-39.

戸塚 祝朗 (TOTSUKA Etsurô)

「日本が知らない戦争責任 [19]」-日本は日本軍「慰安婦」に対する戦争責任をどうとるべきか-迫られる「慰安婦」個人賠償法の制定」 "Japan's Ignorance of War Responsibility (19): How Should Japan Assume Responsibility for the Japanese Military 'Comfort Women'? - Pressure Is Rising to Demand the Enactment of the Law on Personal Compensation for 'Comfort Women'" 『法学セミナー』40巻8号(188) 1995.8 pp.29-32.

戸塚 祝朗 (TOTSUKA Etsurô)

「日本が知らない戦争責任 [20]」-戦時奴隷制(日本軍「慰安婦」・強制労働)をめぐるICJ国際セミナーを終えて-民間募金方式を拒絶する最終文書採択」 "Japan's Ignorance of War Responsibility (20): The Completion of the International Committee of Jurists (ICJ) International Seminar on Wartime Slavery (The Japanese Military 'Comfort Women' and Forced Labor): Adoption of the Final Document Rejecting the Private Contribution System" 『法学セミナー』40巻9号(189) 1995.9 pp.20-23.

戸塚 祝朗 (TOTSUKA Etsurô)

「日本が知らない戦争責任 [22]」-北京(第4回)国連世界女性会議報告-

1995年

日本軍「慰安婦」問題をめぐって」 "Japan's Ignorance of War Responsibility (22): A Report on the Issue of the Japanese Military 'Comfort Women' from the Beijing (Fourth) U.N. World Women's Conference" 『法学セミナー』40巻11号(491) 1995.11 pp.30-33.

戸塚 悦朗 (TOTSUKA Etsurō)

「日本が知らない戦争責任 [23]」--国連勧告に従った日本軍「慰安婦」問題の解決をー従軍「慰安婦」被害者個人賠償法案等の提案」 "Japan's Ignorance of War Responsibility (23): Asking for a Solution to the Japanese Military 'Comfort Women' Issue According to the U.N. Recommendations and a Proposal on the Special Law on Personal Compensation for 'Comfort Women' Victims" 『法学セミナー』40巻12号(492) 1995.12 pp.45-48.

戸塚 悦朗 (TOTSUKA Etsurō)

「『慰安婦』問題で迫いつめられる日本」 "Japan is Trapped by the 'Comfort Women' Issue" 『週刊 全球』3巻20号 1995.6.2 pp.18-19.

戸塚 悦朗 (TOTSUKA Etsurō)

「国連の「従軍慰安婦」問題へのとりくみー戦争犯罪=人道に対する罪の立場から」 "The U.N.'s Approach to the 'Comfort Women' Issue - War Crimes: From the Viewpoint of Crimes Against Humanity" 『世界』613号 1995.9 pp.266-270.

戸塚 悦朗 (TOTSUKA Etsurō)

「行政網羅にみる日本軍「慰安婦」問題」 "The Japanese Military 'Comfort Women' Issue as Seen in the General Administrative Principles" 『国際女性』9号 1995.12 pp.111-114.

戸塚 悦朗 (TOTSUKA Etsurō)

「戦争責任と日本軍「慰安婦」問題報道はこれでよいのか」 "Is Coverage of War Responsibility and the Japanese Military 'Comfort Women' Issue Fine as Is?" 『マスコミ市民』1995.12 pp.4-15.

戸塚 祝朗 (TOTSUKA Etsurō)

「『民間基金』撤回し、国家補償を—国際的争点に」 "Withdraw the 'Private Fund' and Provide State Compensation - Make This an International Issue" 『朝鮮両報』 1995.12 pp.36-37.

塚崎 昌之 (TSUKAZAKI Masayuki)

「異国に刻まれた怨恨の史実 大阪編—朝鮮人強制連行 強制労働の記録」 "Historical Facts of Grudge Engraved in a Foreign Country: Osaka Edition - A Record of Forcibly Recruited and Mobilized Koreans" 『統一評論』 1995.5 pp.78-84.

和田 春樹 (WADA Haruki)

「戦後五十年国会決議に反対する主張について」 "About the Statements against the Diet Resolution 50 Years After the War" 『軍縮問題資料』 1995.6 pp.66-71.

和田 春樹 (WADA Haruki)

「顔のない国家の戦後五十周年—戦後50年国会決議と8・15首相談話」 "The 50th Postwar Anniversary of a Nation without a Face: The Diet Resolution 50 Years After the War and the Prime Minister's Informal Comments of August 15" 『軍縮問題資料』 1995.10 pp.66-71.

山田 盟子 (YAMADA Meiko)

「慰安婦たちの太平洋戦争—秘められた女たちの戦記」 *The Pacific War for Comfort Women: The Hidden Military History of Women* NF文庫 光人社 1995 318 p.

山田 盟子 (YAMADA Meiko)

「ウサギたちが渡った断魂橋 (上) —からゆき・日本人慰安婦の軌跡」 *Rabbits Crossed the Bridge and Have Never Been the Same Again (I): The Record of Karyuki-san and Japanese Comfort Women* 新日本出版社 1995 270 p.

山田 盟子 (YAMADA Meiko)

1995年

『ウサギたちが渡った断魂橋 (下) --からゆき・日本人慰安婦の軌跡』
Rabbits Crossed the Bridge and Have Never Been the Same Again (2): The Record of Karayuki-san and Japanese Comfort Women 新日本出版社 1995 250 p.

山田 盟子 (YAMADA Meiko)

『古領軍慰安婦』 *Comfort Women for U.S. Occupation Forces* 講談社文庫 講談社 1995 275 p.

山田 盟子 (YAMADA Meiko)

『綾・慰安婦たちの太平洋戦争--正史になかった女たちの戦記』 *The Pacific War for Comfort Women (2): The War Record of Women Not Found in Official History* ノンフィクション文庫 光人社 1995 279 p.

山崎 ひろみ (YAMAZAKI Hiromi)

『政府の「民間基金構想」に問題あり』 "The Problem of the Japanese Government's 'Private Fund Plan'" 『マスコミ市民』 1995.5 pp.14-19.

柳原 徳 (YANAGIHARA Itoku) [編著]

『「従軍慰安婦」問題と戦後五十年--今私たちに何が求められているのか』
The "Comfort Women" Issue and 50 years After the War: What Are We Now Demanding? 深川ブックレット No.1 深川出版 1995 102 p.

矢沢 康祐 (YAZAWA Kōsuke)

『今こそ日本は、朝鮮植民地支配を謝罪し、補償すべきだ』 "Now Is the Time for Japan to Apologize and Compensate Korea for Its Colonial Rule" 『朝鮮商報』 解放50年 朝・日関係を考える② 1995.6 pp.44-45.

吉見 義明 (YOSHIMI Yoshiaki)

『従軍慰安婦』 *Comfort Women* 岩波新書 岩波書店 1995 238 p.

吉見 義明 (YOSHIMI Yoshiaki)

『論点--「慰安婦」問題で何が問われているか』 "The Agenda: What Is at Stake with the 'Comfort Women' Issue?" 『月刊 婦人展望』 (462) 1995.

7.10 pp.12-13.

吉見 義明 (YOSHIMI Yoshiaki) [編著]・林 博史 (HAYASHI Hiroshi) [編著]

『日本軍慰安婦―共同研究』 *Joint Research on the Comfort Women* 大月書店 1995 235p.

『北朝鮮戦争補償対策委「慰安婦」への補償を要求』 "Compensation for 'Comfort Women' Requested by the North Korean Committee on War Compensation" 『統一評論』南北・海外同胞トピックス 1995.1 p.62.

『「慰安婦強制連行」問題をデッチ上げた変な日本人』 "A 'Twisted Japanese Who Contrived the 'Forced Recruitment of Comfort Women' Issue" 『週刊 新潮』40巻1号 1995.1.5 pp.58-60.

『日本の首相に送る抗議書簡 (元従軍慰安婦による糾弾集会、平壤、1月5日)』 "A Letter of Protest to the Japanese Prime Minister (A Meeting for Denouncement by Former Comfort Women in Pyongyang on January 5)" 『月刊 朝鮮資料』資料 (405) 1995.2 pp.76-77.

『李効再氏が人権賞受賞「慰安婦」問題に尽力』 "Ms. Hyo jae Lee Receives a Human Rights Award: Striving to Solve the 'Comfort Women' Issue" 『統一評論』南北・海外同胞トピックス 1995.3 p.124.

『韓国で「慰安婦」問題会議 北側は参加できず』 "A Conference on the 'Comfort Women' Issue in South Korea in Which North Korea Can Not Participate" 『統一評論』南北・海外同胞トピックス 1995.4 pp.132-133.

『第三回従軍慰安婦問題アジア連帯会議 (ソウル)』 "The Third Asian Solidarity Conference on the Comfort Women Issue (Seoul)" 『月刊 朝鮮資料』(407) 1995.4 pp.63-74.

『「慰安婦」への民間資金に北朝鮮の各界が批判』 "Criticisms Which

1995年

Were Made in Various Circles in North Korea over Private Donations for 'Comfort Women'" 〔統一評論〕 南北・海外同胞トピックス 1995.5 pp. 124-125.

〔対女性暴力〕特別報告官の予備報告書 "A Preliminary Report of the Special Rapporteur on 'Violence against Women'" 〔資料集8・国連決議と植民地支配、強制連行―一九〇五年条約は無効、慰安婦は犯罪〕 1995.5 pp.21-22.

〔「国家保安法」撤廃を決議―「日韓人権フォーラム」元人民軍兵士送還も〕 "Resolution That the State Security Law Be Rescinded: The 'Japan-ROK Human Rights Forum' Also Resolved That Former People's Army Soldiers Be Sent Back" 〔朝鮮画報〕 1995.6 p.41.

〔国連人権小委員会が訪日―日本の戦争犯罪を調査〕 "The U. N. Subcommittee on Human Rights Visits Japan: Investigating Japan's War Crimes" 〔朝鮮画報〕 1995.8 pp.42-43.

〔日本軍慰安婦展〕 "A Comfort Women Exhibition" 〔統一評論〕 イベントとEvent 1995.8 p.103.

〔証言「従軍慰安婦」―ダイヤル110番の記録〕 *The Testimony of 'Comfort Women': A Record Dial 110 (Hot Line)* 日朝協会埼玉県連合会 1995 89p.

〔中国人慰安婦に賠償訴訟をけしかけた日本人弁護士団〕 "Japanese Lawyers Who Dishonestly Encouraged Former Chinese Comfort Women to File Lawsuits" 〔週刊新潮〕 40巻32号 1995.8.17 pp.177-179.

〔ICJ国際セミナーでの「従軍慰安婦」および太平洋戦争被害者補償対策委員会の報告（東京、1995年7月2～4日）〕 "A Report from an ICJ International Seminar on 'Comfort Women' and the Committee on Compensation for the Victims in the Pacific War (Tokyo, July 2-4, 1995)" 〔月刊朝鮮資料〕 (412) 1995.9 pp.66-75.

「『従軍慰安婦』、強制連行・植民地問題は重大な人権侵略行為―ICJ国際セミナー、戦争犯罪逃避への執念深さにメス」 “‘Comfort Women’, Forcibly Mobilized Koreans and Colonial Issues Constitute a Grave Violation of Human Rights: A Criticism of a Tenacious Attempt to Escape from War Crimes at the ICJ International Seminar” 『朝鮮商報』 1995.9 pp.41-45.

「韓国のアジア財団が慰安婦の医療費免除」 “South Korea's Asia Foundation Exempts Comfort Women from Medical Expenses” 『統一評論』 南北・海外同胞トピックス 1995.10 p.122.

「勝山泰佑 元『慰安婦』らの写真集を、日韓両語併記でソウルで出版」 “Hirotsuke Katsuyama: Publishing a Photographic Collection on Former ‘Comfort Women’ in Seoul, Written in both Japanese and Korean” 『毎日グラフ・アミューズ』 48巻20号 1995.10.25 p.59.

「韓国の論調に見る北京・世界女性会議」 “Beijing World Women's Conference as Seen in the Tone of Argument in South Korea” 『統一評論』 1995.11 pp.69-73.

「韓国、『民族訴訟』韓日条約無効と賠償請求」 “South Korea, ‘National Lawsuit’ Claims the ROK-Japan Treaty Is Invalid and Demands Reparations” 『統一評論』 南北・海外同胞トピックス 366号 1995.12 pp.117-118.

「『労働新聞』対日批判、『従軍慰安婦』問題で」 “The ‘Labor Newspaper’ Criticizes Japan over the ‘Comfort Women’ Issue” 『統一評論』 南北・海外同胞トピックス 366号 1995.12 p.117.

1996 年

荒井 信一 (ARAI Shin'ichi)

「戦後補償の道義と現実—次世代への責任」 "The Morality and Reality of Postwar Compensation: Responsibility for the Next Generation" 『軍縮問題資料』 1996.9 pp.8-13.

有馬 真喜子 (ARIMA Makiko)・川田 司 (KAWADA Tsukasa) [編著] 武者小路 公秀

「座談会—クマラスワミ報告から『慰安婦』問題を考える」 "A Round-Table Discussion: Consideration of the 'Comfort Women' Issue with Reference to the Coomaraswamy Report" 『月刊 婦人展望』 (473) 1996.7.10 pp.5-10.

有馬 真喜子 (ARIMA Makiko) [他]

「『従軍慰安婦』問題—「法的責任」と「道義的責任」をめぐって」 "The 'Comfort Women' Issue: 'Legal Responsibility' and 'Moral Responsibility'" 『潮』 1996.9 pp.86-99.

班 忠義 (BAN Zohong ui)

「中国人 元『慰安婦』を訪ねて」 "Visiting Former Chinese 'Comfort Women'" 『週刊 金曜日』 4巻1号 1996.1.12 pp.31-33.

班 忠義 (BAN Zohong ui)

「中国人 元『慰安婦』たちが語る真実」 "Former Chinese 'Comfort Women' Tell the Truth" 『週刊 金曜日』 4巻30号 1996.8.9 pp.22-25.

カーター 愛子 (CARTER Aiko)

「国連人権委員会傍聴席から—女性たちの声を聞く」 "From an Observatory Seat at the U. N. Human Rights Committee: Voices of Women" 『月刊 婦人展望』 1996.7 p.11.

曹 景煥 (CHO Gyeong min)

「日本は謝罪しなければならない」 "Japan Must Apologize" 『統・評論』
1996.1 pp.60-64.

趙 貞淑 (CHO Jeong suk)

「分ちあう心学んだハルモニたちの映像」 "The Film Images of Elderly
Korean Women Who Taught Us Meanings of Sharing" 『統・評論』
1996.5 pp.98-101.

鄭 南勇 (CHEONG Nam yong)

「回避できない日本政府の国家的、法的責任」 "Inevitable National and
Legal Responsibilities of the Japanese Government" 『月刊 朝鮮資料』
(420) 1996.5 pp.28-37.

クマラスワミ、ラディカ (COOMARASWAMY, Radhika) ・日本の戦争
責任資料センター (Nihon no sensō sekinin shiryō center) [編著]

「戦時の軍事的性奴隷制問題に関する報告書 (抜粋)」 "A Report on the
Issue of the Military Sexual Slave System during the Wartime (Extract)"
『統・評論』 370号 1996.4 pp.46-55.

遠藤 正武 (ENDŌ Masatake)

「アジア女性基金に政府は二十億円拠出せよ」 "The Japanese Govern-
ment Should Contribute 2 Billion Yen to the Asian Women's Fund"
[RONZA] 1996.7 pp.68-71

遠藤 正武 (ENDŌ Masatake)

「受け皿欠く見切り発車—元従軍慰安婦への「償い」」 "An Action Started
Before Obtaining the Consent of All Persons Concerned: 'Compensation'
For Former Comfort Women" [AERA] 1996.9.16 pp.30-31.

藤永 壮 (FUJINAGA Takeshi)

「書評 吉見義明・林博史編著『共同研究 日本軍慰安婦』」 "Book Review:
Joint Research on the Comfort Women, Co-Authoring and Edited by
Yoshiaki Yoshimi and Hiroshi Hayashi" 『季刊 戦争責任研究』 特集 軍

1996年

孫・戦争と性暴力 13号 1996.9.15 pp.27-31.

藤岡 信勝 (FUJIOKA Nobukatsu)

「『従軍慰安婦』を中学生に教えるな」 "Do Not Teach Junior High School Students about 'Comfort Women'" [諸君!] 28巻10号 1996.10 pp.56-61.

藤岡 信勝 (FUJIOKA Nobukatsu)

「文部大臣への公開書簡－検定教科書から『慰安婦』関連記述を削除されたい」 "Open Letter to the Minister of Education: Please Delete the Description on 'Comfort Women' from Certified Textbooks" [Voice] 特集 文部省に問う 226号 1996.10 pp.72-81.

藤岡 信勝 (FUJIOKA Nobukatsu)

「汚辱の近現代史－いま、克服のとき」 *The Humiliation of Modern History: Now Is the Time to Overcome It* 徳間書店 1996 268 p.

藤岡 信勝 (FUJIOKA Nobukatsu)

「『アジアの慰安婦』問題の虚構をインドネシア現地調査ほかからあぶり出す－やはり火をつけたのは日本人だった!」 "Revealing the Fictitious Nature of the Issue of 'Asian Comfort Women' from Field Research in Indonesia and Elsewhere: It Was Started by Japanese!" [SAPIO] 8巻21号(173) 1996.12.11 pp.102-105.

ふじた あさや (FUJITA Asaya)

「日本の戦争責任に注がれる厳しい目－日韓合作で慰安婦問題を上演」 "Severe Criticism of Japan's War Responsibility: Performing a Play on the Comfort Women Issue in a Joint Japan-ROK Production" [週刊 全曜日] 4巻4号 1996.2.2 pp.60-61.

月刊朝鮮資料編集部 (GEKKAN Chōsen Shiryō henshōbu)

「日本政府は従軍慰安婦犯罪の法的責任を認め、国家補償をすべきである－国連人権委での共和国代表団と朝鮮人強制連行真相調査団の活動」 "The Japanese Government Should Recognize Its Legal Responsibility for

Comfort Women Crimes and Provide State Compensation: Activities of the North Korean Representative Teams and Investigation Teams for [Studying] Forcibly Mobilized North Koreans and the U.N. Human Rights Committee" [月刊 朝鮮資料] (421) 1996.6 pp.41-50.

原 文兵衛 (HARA Bunbei)

「悠遊トーク」 "Talks on Comfort" [道新トッパ] 24巻14号 1996.6.12 pp.78-81.

秦 郁彦 (HATA Ikuhiko)

「歪められた私の論旨－誤認と誤断に満ちた国連の報告書に異議あり」
"My Argument Distorted: Objection against the U.N. Report Which Was Full of Misunderstandings and Misjudgements" [文芸春秋] 1996.5 pp.188-198.

秦 郁彦 (HATA Ikuhiko)・高木 健一 (TAKAGI Ken'ichi)・山崎 朋子 (YAMAZAKI Tomoko)

「[日本のつぐない] 大論争－[ドイツは個人補償10兆円、日本はアジアにゼロです][ドイツは慰安婦にゼロ、日本は国ごとに解決済です]」 "The Great Debate on 'Japan's Atonement': 'Germany Paid 10 Trillion Yen in Personal Compensation, While Japan Paid Nothing in Asia' vs. 'Germany Paid Nothing to Comfort Women, While Japan Resolved This in Each Country'" [文芸春秋] 74巻11号 1996.9 pp.342-353.

秦 郁彦 (HATA Ikuhiko)

「クマラスワミ報告と慰安婦問題」 "The Coomaraswamy Report and the Comfort Women Issue" [千葉大学法学論集] 11巻2号 1996.10 pp.9-54.

秦 郁彦 (HATA Ikuhiko)

「慰安婦「身の上話」を徹底検証する」 "Scrutinizing 'Life Stories' of Comfort Women" [諸君！] 28巻12号 1996.12 pp.54-69.

林 博史 (HAYASHI Hiroshi)

1996年

「英軍による日本軍性暴力の追求」 "The Japanese Military's Sexual Violence Pursued by the British Military" 『季刊 戦争責任研究』14号 1996.12.15 pp.69-77.

林 陽子 (HAYASHI Yoko)

「人権の潮流-「従軍慰安婦」問題に関するコマラスワミ報告について」 "The Current of Human Rights: On the Coomaraswamy Report about the 'Comfort Women' Issue" 『ヒューライツ大阪』 1996.7 pp.4-5

洪 祥進 (HONG Sang jin)

「強制連行調査団の国連活動に限りない自負」 "The Strong Self-Confidence of the U.N. Investigation Team for Studying the Forcibly Recruited" 『統・評論』 1996.4 pp.42-45.

洪 祥進 (HONG Sang jin)

「日本の植民地支配統治-侵略戦争の責任と被害回復」 "Japan's Colonial Rule: Responsibility for the War of Invasion and the Recovery from Damages" 『統・評論』 1996.4 pp.10-21.

洪 祥進 (HONG Sang jin)

「世界から笑われる日本政府の英文“解釈” 国連「慰安婦」問題決議」 "The International Community Scoffs at the Japanese Government's Unique 'Interpretation' of the English in the U.N. Resolution on the 'Comfort Women' Issue" 『週刊 金曜日』 4巻22号 1996.6.14 pp.60-61.

洪 祥進 (HONG Sang jin)

「国連での「慰安婦」問題の行方」 "Where is the 'Comfort Women' Issue Headed in the U.N.?" 『週刊 金曜日』 1996.9.27 pp.26-27.

洪 祥進 (HONG Sang jin)

「従軍慰安婦」 "Comfort Women" 『週刊 金曜日』 4巻36号 1996.9.27 pp.26-27.

保坂 正康 (HOSAKA Masayasu)

「従軍慰安婦問題を50年後に断罪するな—戦争と性の本質を論ず」 "Do Not Condemn the Comfort Women Issue 50 Years Afterwards: An Argument on the Essential Points of War and Sex" 『諸君』 1996.11 pp.64-72.

インドネシア日本占領期史料フォーラム (INDONESIA Nihonseiryōki shiryōForum) [編]

「インドネシア日本占領期文献目録」 *Bibliography on the Japanese Occupation of Indonesia* 龍溪書舎 1996 386p.

伊藤 啓子 (ITÔ Keiko)

「[性的奴隷]にされた朝鮮の女性たち」 "Korean Women Who Were Made into 'Sexual Slaves'" 『統一評論』 1996.4 pp.22-27.

伊藤 孝司 (ITÔ Takashi)

「解き放たれぬ恨—埋もれたままの韓国元日本軍「慰安婦」たち」 "Unleashed Bitter Feelings: Former South Korean Military 'Comfort Women' Left Untouched" 『週刊 金曜日』 4巻26号 1996.7.12 pp.47-51.

泉川 オーシャン [レポート] (IZUMIKAWA Ocean)・吉田 一郎 (YOSHIDA Ichirō) [編著]

「中国と香港ではこんなに違う「軍妓慰安婦」像」 "The Image of 'Comfort Women' Is Completely Different between China and Hong Kong" 『SAPIO』 8巻21号(173) 1996.12.11 pp.101-105.

井筒 陽子 (IZUTSU Yoko)・鈴木 明子 (SUZUKI Akiko) [編著] 松本 誠 (MATSUMOTO Makoto)

「ピョンヤンクルーズに参加して」 "Participating in the Pyongyang Cruise" 『統一評論』 1996.11 pp.65-72.

女性のためのアジア平和国民基金 (Joseinotameno ASIA heiwa kokumin-kikin)

「[従軍慰安婦]にされた方々への償いのために②」 *In Atonement For*

1996年

The "Comfort Women" (2) 女性のためのアジア平和市民基金 1996 52 p.

上坂 冬子 (KAMISAKA Fuyuko)・秦 郁彦 (HATA Ikuhiko) [編著]
「橋本総理は誰に何を詫げるといえるのか--従軍慰安婦問題」 "To Whom and for What Is Prime Minister Hashimoto Going to Apologize?: The Comfort Women Issue" [諸君!] 1996.8 pp.46-51.

韓国挺身隊問題対策協議会 (Kankoku-teishintai mondai taisaku kyōgikai)・挺身隊研究会 (Teishintai kenkyūkai) [編]・山口 明子 (YAMAGUCHI Akiko) [訳]
「中国に連行された朝鮮人慰安婦」 *Korean Comfort Women Forcibly Mobilized and Sent to China* 三一書房 1996 191 p.

笠原 十九司 (KASAHARA Tokushi)
「中国戦線における日本軍の性犯罪--河北省・山西省の事例」 "Sex Crimes Committed by the Japanese Military at the Front in China: Cases in Hebei and Shanxi Provinces" [季刊 戦争責任研究] 特集 軍隊・戦争と性暴力 13号 1996.9.15 pp.2-11.

片岡 正巳 (KATAOKA Masami)
「新聞/雑誌 今日の人権意識では括れぬ『慰安婦』問題」 "Newspapers/Magazines: The 'Comfort Women' Issue Should Not Be Evaluated from Current Standards of Human Rights" [THEMIS] 5巻7号 1996.7 p. 52.

河辺 一郎 (KAWABE Ichirō)
「クマラスワミ報告と『採掘』」 "The Coomaraswamy Report and Its 'Adoption'" [軍縮問題資料] 1996.5 pp.72-73.

川田 文子 (KAWADA Fumiko)
「日本軍政下のスカブミで起こったこと」 "What Happened in Sukabumi Under Japanese Military Control" [季刊 戦争責任研究] 11号 1996.3 pp.65-69.

川田 文子 (KAWADA Fumiko)

「インドネシアで会った女性たち」 "Women I Met in Indonesia" 【統・評論】 1996.4 pp.28-32.

川田 文子 (KAWADA Fumiko)

「日本軍「慰安婦」補償は国際水準で」 "Compensation for Japanese Military 'Comfort Women' Should Follow International Standards" 【世界】 621号 1996.4 pp.144-152.

川田 文子 (KAWADA Fumiko)

「慰安所制度の総体を見ようとしないうる瀬戸氏へ」 "To Mr. Ikuhiko Hata Who Will Not Take a General Look at the Comfort Station System" 【週刊 金曜日】 1996.5.24 pp.25-27.

川田 文子 (KAWADA Fumiko)

「生井さんの報告を聞いてー二つの戦争の残虐行為と性犯罪」 "Hearing a Report by Ikui: Atrocities and Sexual Crimes in Two Wars" 【季刊 戦争責任研究】 特集 軍隊・戦争と性暴力 13号 1996.9.15 pp.17-19.

川田 文子 (KAWADA Fumiko)

「戦争と性とアジアーインドネシアの「慰安婦」問題」 "War, Sex and Asia: Indonesia's 'Comfort Women' Issue" 【神奈川大学評論】 25号 1996.11 pp.97-105.

金 榮浩 (KIM Yong ho)

「「慰安婦」ハルモニの勇気ある決断」 "A Brave Decision by a Elderly Korean 'Comfort Woman'" 【統・評論】 1996.11 pp.52-55.

金 淑子 (KIM Suk ja)

「届かない元「慰安婦」の叫び」 "Cries of Former 'Comfort Women' Which Do Not Reach Their Destination" 【統・評論】 1996.9 pp.77-81.

木村 公一 (KIMURA Kōichi)

1996年

「乙女たちの身体は戦場だったーインドネシアにおける日本軍政下の性奴隷被害者 22,234 人の叫び」 "Bodies of Virgins Were Battlefields: The Screams of 22,234 Victims of Sexual Slavery under the Japanese Military Government in Indonesia" 【アジア通信】 特集 インドネシアの従軍慰安婦 1996.6 pp.2-9.

木下 陽子 (KINOSHITA Yoko)

「近現代史が伝えるべきことー歴史上の犯罪の総括」 "What Modern and Contemporary History Should Impart: A Summary of Crimes in History" 【マスコミ市民】 1996.12 pp.43-45.

北岡 俊明 (KITAOKA Toshiaki)

「韓国とディベートする 韓国を徹底的に論破する」 *Debating with South Korea: Completely Refuting South Korea's Argument* 総合法令 1996

小林 よしのり (KOBAYASHI Yoshinori)

「おそろべき慰安婦問題の反響」 "The Terrible Sensation Evoked by the Comfort Women Issue" 【SAPIO】 新ゴーマニズム宣言 第26章 8巻 16号 (168) 1996.10.9 pp.69-76

小林 よしのり (KOBAYASHI Yoshinori)

「心からの謝罪の無意味」 "Meaningless Heartfelt Apology" 【SAPIO】 新ゴーマニズム宣言 第27章 8巻 17号 (169) 1996.10.23 pp.65-72.

小林 よしのり (KOBAYASHI Yoshinori)

「老若男女・慰安婦問題大論争」 "Dispute Over the Comfort Women Issue by Everyone" 【SAPIO】 新ゴーマニズム宣言 第29章 8巻 19号 (171) 1996.11.13 pp.77-85.

小林 よしのり (KOBAYASHI Yoshinori)

「戦場の性欲とフェミニズム」 "Sexual Desire on the Battlefield and in Feminism" 【SAPIO】 新ゴーマニズム宣言 第30章 8巻 20号 (172) 1996.11.27 pp.65-72

小林 よしのり (KOBAYASHI Yoshinori)

「弱者という聖域に居る権力者」 "Men of Power Living in the 'Sanctuary' of Under-Privileged Persons" [SAPIO] 新ゴーマニズム宣言 第31章 8巻21号(173) 1996.12.11 pp.65-72.

小林 よしのり (KOBAYASHI Yoshinori)

「43団体の言論弾圧にわしは屈せぬ」 "I Will Not Give in to the Suppression of Opinions by the 43 Organizations" [SAPIO] 新ゴーマニズム宣言 第32章 8巻22号(174) 1996.12.25 pp.65-72.

国際法律家委員会 (Kokusai hōritsuka iinkai) [編]

「裁かれるニッポンー戦時奴隷制 日本軍「慰安婦」・強制労働をめぐって」 *Nippon on Trial: In Relation to the Wartime Slavery System, The Japanese Military "Comfort Women" and Forced Labor* 日本評論社 1996 227 p.

小室 直樹 (KOMURO Naoki)

「日本国民に告ぐー誇りなき国家は、必ず滅亡する」 *A Warning to the Japanese People: A Nation without Pride Always Perishes* クレスト社 1996 268 p.

日下 公人 (KUSAKA Kimindo)

「従軍慰安婦」問題の不思議 "Something Strange about the 'Comfort Women' Issue" [Voice] 1996.5 pp.108-117.

日下 公人 (KUSAKA Kimindo)

「人間はなぜ戦争をするのかー日本人のための戦争設計学序説」 *Why Do Men Fight Wars?: An Introduction to War Engineering for the Japanese* クレスト社 1996 256 p.

教科書検定訴訟を支援する全国連絡会 (Kyōkasho kenteisoshōwo shien-suru zenkoku renrakukai) [編]

「教科書から消せない戦争の真実ー歴史を歪める藤岡信勝氏らへの批判」 *The Truth of War Which Can Not Be Erased from Textbooks: Criticisms*

1996年

of Mr. Nobutatsu Fujioka and Others Who Distort History 教科書検定訴訟を支援する全国連絡会（発売：青木書店） 1996 87 p.

李 幼丹 (LEE Hyo jae)

「民族の自尊心と自主を回復する道」 "A Way to Recover Ethnic Self-Esteem and Autonomy" 『統・評論』 1996.11 pp.56-59.

前田 朗 (MAEDA Akira)

「アジアの涙に終止符を！ーアジアフォーラムでインドネシア元「慰安婦」の証言」 "Put an End to Asian Tears: The Testimony of an Indonesian Former 'Comfort Woman' at the Asia Forum" 『思想運動』 1996.1

前田 朗 (MAEDA Akira)

「ジュネーブ人権活動報告」 "A Report on Geneva Human Rights Activities" 『マスコミ市民』 1996.6 pp.

前田 朗 (MAEDA Akira)

「「慰安婦」問題ジュネーブ・デモ」 "A Demonstration in Geneva on the 'Comfort Women' Issue" 『マスコミ市民』 1996.6

前田 朗 (MAEDA Akira)

「日本軍「慰安婦」問題の現在（上）ークマラスワミ報告の意義」 "The Status of the Japanese Military 'Comfort Women' Issue (1): The Meaning of the Coomaraswamy Report" 『統・評論』 1996.5 pp.57-63.

前田 朗 (MAEDA Akira)

「日本軍「慰安婦」問題の現在（下）ー採択されたクマラスワミ報告書」 "The Status of the Japanese Military 'Comfort Women' Issue (2): The Coomaraswamy Report Adopted" 『統・評論』 372号 1996.6 pp.63-69.

前田 朗 (MAEDA Akira)

「戦後補償問題の現在」 "The Status of Postwar Compensation" 『日本の科学者』 1996.8

前田 朗 (MAEDA Akira)

「『国民基金』関連人権小委員会での論議」 "The Asian Women's Fund: A Discussion at the U.N. Sub-Committee on Human Rights" 【続・評論】 1996.10 pp.114-119.

前田 朗 (MAEDA Akira)

「人類の平和と安全に対する罪の法典草案について」 "A Draft Code of Crimes against The Peace and Security of Mankind" 【続・評論】 1996.11 pp.48-51.

前田 朗 (MAEDA Akira)

「慰安婦」問題からみた日本」 "Japan as Seen through the 'Comfort Women' Issue" 【マスコミ市民】 1996.12 pp.79-85.

まえだ けいこ (MAEDA Keiko)

「福岡の市民団体からの本誌への抗議・申し入れ書」 "A Protest Filed with This Magazine by a Civil Group in Fukuoka" 【SAPIO】 8巻22号 (174) 1996.12.25 p.73.

三木 睦子 (MIKI Mutsuko)

「私が『アジア女性基金』を降りた理由—三木 睦子さんが語る」 "The Reasons Why I Resigned from the 'Asian Women's Fund': A Discussion by Mutsuko Miki" 【週刊 朝日】 1996.5.24 pp.42-44.

三木 睦子 (MIKI Mutsuko)

「国家補償を出すことがどうしても必要なのです」 "It Is Absolutely Necessary to Provide State Compensation" 【世界】 1996.7 pp.93-97

水土 輝三 (MINAKAMI Teruzō)

「ビルマ・ミイトキーナで見た慰安婦」 "Comfort Women Seen in Myitk-yina, Burma" 【正論】 292号 1996.12 pp.299-302.

源 淳子 (MINAMOTO Junko)

「書評『女と〈戦後50年〉女性史を拓く3』（鈴木裕子著）—女性史—近・

1996年

現代史を学ぶ」 "Book Review: *Women and 50 Years After the War*
Exploring the History of Women (3) (by Suzuki Yûko): Learning Modern
and Contemporary Women's History" 『未来』 357号 1996.6 pp.42-
43.

牧港 篤三 (MAKIMINATO Tokuzô)

「朝鮮人軍夫と慰安婦」 "Korean Porters and Comfort Women" 『マス
コミ市民』 1996.9 pp.14-29.

文 玉珠 (Mun Ok ju) [著]・森川 万智子 (MORIKAWA Machiko)
[訳]

「文玉珠 ビルマ戦線 橋師団の「慰安婦」だった私」 *Ok ju Mun: I Was a*
"Comfort Woman" for the Tule Division on the Burmese Front 梨の本舎
1996 212p.

武者小路 公秀 (MUSYARÔJI Kimhide)

「免れぬ日本の法的・道義的責任」 "Japan Can Not Be Exempted from
Its Legal and Moral Responsibility" 『戦い評論』 1996.4 pp.38-41.

中村 繁 (NAKAMURA Akira)

「慰安婦問題に潜む虚偽」 "The Cover-up of the Comfort Women Issue"
『正論』 289号 1996.9 pp.46-57.

中沢 けい (NAKAZAWA Kei)・ピョン ヨンジュ (PYEON Yeong ju)
[編著]

「孫世代が語る「慰安婦」問題」 "The Grandchild Generation Talks
about the 'Comfort Women' Issue" 『婦人公論』 81巻7号 1996.6 pp.
198-201.

奈良 碧 (Nara Midori)

「日本軍「慰安婦」問題、人権小委員会報告」 "Report from the Human
Rights Subcommittee on the Japanese Military 'Comfort Women' Issue"
『マスコミ市民』 1996.10 pp.69-73.

日本弁護士連合会 (Nihonbengoshí rengókai) [編]

『問われる女性の人権ー北京1995・第4回世界女性会議 日弁連レポート』
Human Rights for Women in Question: Beijing 1995, Report of the Japan Federation of Bar Associations on the Fourth World Women's Conference
こうち書房 (発売: 柏書房) 1996 220 p.

西村 繁男 (NISHIMURA Shigeo)

『歴史を正しく伝える作業に努めたい』 "I Want to Make Efforts to Properly Impart History" 『朝鮮商報』 1996.3 pp.61.

西野 留美子 (NISHINO Rumiko)

『過去にたいする責任』 "Responsibility for the Past" 『軍縮問題資料』 1996.2 pp.30-31.

西野 留美子 (NISHINO Rumiko)

『慰安婦問題』と日本の責任ー国連人権委員会クマラスワミ報告書の公表』
"The 'Comfort Women Issue' and Japan's Responsibility: The Coomaraswamy Report of the U. N. Human Rights Committee is Published" 『軍縮問題資料』 1996.6 pp.54-57.

西尾 幹二 (NISHIO Kanji)・藤岡 信勝 (FUJIOKA Nobukatsu) [編者]

『国民の油断ー歴史教科書が危ない!』 *Careless Citizens: History Textbooks Are in Jeopardy!* PHP 研究所 1996 244 p.

野平 俊水 (NOHIRA Toshimi)

『韓国・反日小説の書き方』 *Writing Anti-Japanese Novels in South Korea* 亜紀書房 1996 289 p.

大越 愛子 (ÔKOSHI Aiko)

『闘争するフェミニズムへ』 *Toward Fighting Feminism* 未来社 1996 268 p.

大越 愛子 (ÔKOSHI Aiko)

1996年

「女性に対する暴力」の行為者たちへ」 "To Those Who Exercised 'Violence against Women'" 『未来』扉のことば 1996.6 p.1.

大島 愛子 (ÔKOSHI Aiko)

「従軍慰安婦」問題のポリティックス」 "The Politics of the 'Comfort Women' Issue" 『批評空間』 1996.11 pp.37-52.

大島 孝一 (ÔSHIMA Kôichi) [他編]

「慰安婦」への償いとは何か―「国民基金」を考える」 *What is Compensation for "Comfort Women": Contemplating the "National Fund"* 明石書店 1996 229 p.

奥野 誠亮 (OKUNO Seisuke)

「それでも私は言う！慰安婦も創氏改名も話が違う」 "I Still Speak Up! Things with Comfort Women and Forced Renaming Are Not Like That" 『SAPIO』五輪ナショナリズムでますます然え上がる民族間の近親憎悪「反日嫌韓」病根はここだ大論争！ 8巻14号 1996.8.7 pp.11-13.

小野沢 あかね (ONozAWA Akane)

「書評『従軍慰安婦』(吉見義明著、岩波書店、一九九五年四月)」 "Book Review: *Comfort Women* (Written by Yoshiaki Yoshimi, Published by Iwanami Shoten in April 1995)" 『朝鮮史研究会会報』125号 1996.9 pp.5-7.

朴 貞附 (PAK Jin su)

「各地に残る強制連行の爪痕―強制連行真相調査団第2回全国協議会」 "Scars Left Everywhere Related to the Forcibly Mobilized: The Second National Council of Investigation Teams Searching for the Truth about the Forcibly Mobilized" 『統一評論』 1996.5 pp.61-66.

方 清子 (PANG Cheong ja)

「『従軍慰安婦』問題の真の解決のために」 "For a 'True Solution to the 'Comfort Women' Problem'" 『統一評論』 1996.1 pp.74-78.

桜井 良子 (SAKURAI Yoshiko)

「慰安婦報道の非を認めぬ朝日」 "The *Asahi Shinbun* Denies Misleading the Public Regarding Comfort Women" 【改革者】 433号 1996.8 pp. 30-31.

産経新聞社 (Sankei-shinbunsha)

「『教科書危機』理解のために」 *Understanding the "Textbook Crisis"* 産経新聞社 1996

SAPIO編集部 (SAPIO hensyōbu)

「従軍慰安婦報道「朝日」vs「産経」どちらが正しい？」 "Which is Right About the Comfort Women Report, the *Asahi* or the *Sankei*?" 【SAPIO】 Media大論争I 1996.10.9 pp.102-103.

SAPIO編集部 (SAPIO hensyōbu)

「日テレ系『問題のシーンを再検証-「慰安婦」テレビ報道に情報操作はなかったか』 "Another Check on the Problematic Scene Televised by NTV and Its Affiliated TV Stations: Was There No Information Control Over the TV "Comfort Women" Report?" 【SAPIO】 8巻19号 (171) 1996.11.13 p.85.

澤地 久枝 (SAWACHI Hisae)

「従軍慰安婦のこと」 "On Comfort Women" 【文芸春秋】 74巻12号 1996.10 pp.77-78.

瀬戸内 寂聴 (SETOUCHI Jakuchō)

「寂聴草子」 *Jakuchō's Essays* 中央公論社 1996 336p.

四方田 犬彦 (YOMOTA Inuhiko)

「慰安婦と虐殺は中国でどう描かれているか」 "How Are Comfort Women and the Massacre Depicted in China?" 【SPA1】 次は火だ! [31] 45巻3号 1996.1.24 p.134.

品野 実 (SHINANO Minoru)

1996年

「一本のペン―『異域の鬼』以後」 *One Pen: After a "Demon in a Different Domain"* 谷沢書房 1996 353 p.

忍 甲・ (SHINOBU Kôichi)

「朝鮮半島の遊廓事情と慰安婦問題」 "The Situation of Brothels and the Comfort Women Issue on the Korean Peninsula" 『正論』 290号 1996. 10 pp.256-266.

鈴木 裕子 (SUZUKI Yôko)

「『慰安婦』問題と国際連帯 (一)」 "The 'Comfort Women' Issue and International Solidarity (1)" 『未来』 日本軍「慰安婦」問題の現在と歴史 5 354号 1996.3 pp.2-9.

鈴木 裕子 (SUZUKI Yôko)

「『慰安婦』問題と国際連帯 (二)」 "The 'Comfort Women' Issue and International Solidarity (2)" 『未来』 日本軍「慰安婦」問題の現在と歴史 6 355号 1996.4 pp.24-27.

鈴木 裕子 (SUZUKI Yôko)

「『慰安婦』問題と国際連帯 (三)」 "The 'Comfort Women' Issue and International Solidarity (3)" 『未来』 日本軍「慰安婦」問題の現在と歴史 7 356号 1996.5 pp.32-37.

鈴木 裕子 (SUZUKI Yôko)

「国連・クマラスワミ報告書 (『戦時の軍事的性奴隷制問題に関する報告書』) の意義」 "The Significance of the U. N. Coomaraswamy Report ('A Report on the Issue of the Military Sexual Slave System during the Wartime')"

鈴木 裕子 (SUZUKI Yôko)

「女性史を拓く 4-『慰安婦』問題と戦後責任」 *Exploring the History of Women (4): The Issues of "Comfort Women" and Postwar Responsibility* 未来社 1996 196 p.

竹見 智恵子 (TAKEMI Chieko)

「ジュネーブ・国連人権委員会傍聴報告―「従軍慰安婦」問題で国連決議を拒む日本」 "Observation Report on the U. N. Human Rights Committee in Geneva: Japan Does Not Accept the U. N. Resolution Related to the 'Comfort Women' Issue" 【週刊 金曜日】 4 卷 39 号 1996.5.24

竹見 智恵子 (TAKEMI Chieko)

「「従軍慰安婦」問題で国連決議を拒む日本―ジュネーブ・国連人権委員会傍聴報告」 "Japan Rejects the U. N. Resolution with Respect to the Issue of 'Comfort Women': An Observation Report from the U.N. Human Rights Committee in Geneva" 【週刊 金曜日】 1996.5.24 pp.28-30.

竹見 智恵子 (TAKEMI Chieko)

「リゾート地・セブ島の光と影―戦後 50 年「慰安婦」問題は終わらない」 "The Bright and Dark Sides of the Resort Area on Cebu Island: 50 Years after the War the "Comfort Women" Issue Has Not Ended" 【週刊 金曜日】 4 卷 39 号 1996.10.18 pp.31-33.

田中 利幸 (TANAKA Toshiyuki)

「なぜ米軍は従軍慰安婦問題を無視したのか (上)」 "Why Did the U.S. Forces Neglect the Comfort Women Issue? (1)" 【世界】 627 号 1996.10 pp.174-183.

田中 利幸 (TANAKA Toshiyuki)

「なぜ米軍は従軍慰安婦問題を無視したのか (下)」 "Why Did the U.S. Forces Neglect the Comfort Women Issue? (2)" 【世界】 628 号 1996.11 pp.270-279.

統・評論 編集部 (Tōitsu-hyōron henshūbu)

「続・日本の歴史認識をたず」 "Laying Japan's Recognition of History on the Table for Consideration (2)" 【統・評論】 1996.1 pp.65-73.

戸塚 悦朗 (TOTSUKA Etsurō)

「日本が知らない戦争責任 [24] ―迫られる国連勧告に従った日本軍「慰安

1996年

婦」問題の解決—解決にならない「民間基金」] "Japan's Ignorance of War Responsibility (24): An Attempt to Solve the Japanese Military 'Comfort Women' Issue Under Pressure of Imminent U. N. Recommendations - A 'Private Fund' Is Not an Option" [法学セミナー] 41 巻1号 (493) 1996.1 pp.22-25.

戸塚 祝朗 (TOTSUKA Etsurō)

「日本が知らない戦争責任 [28]」—ILO 専門家委、「慰安婦」制度は強制労働条約違反と] "Japan's Ignorance of War Responsibility (28): The ILO Expert Committee Concludes That the 'Comfort Women' System Was in Violation of the Forced Labor Prohibition Treaty" [法学セミナー] 41 巻5号 1996.5 pp.27-30.

戸塚 祝朗 (TOTSUKA Etsurō)

「国際人権—日本軍「慰安婦」問題の場合」 "Human Rights from an International Perspective: The Case of Japanese Military 'Comfort Women'" [法学セミナー] 41 巻8号 1996.8 pp.36-38.

常岡 せつ子 (TSUNOOKA Setsuko)

「第9条で果たす戦後責任」 "Postwar Responsibility to Be Assumed in Accordance with Article 9 [of the Japanese] Constitution" [軍縮問題資料] 1996.2 pp.14-19.

上杉 千年 (UESUGI Chitose)

「検証 「従軍慰安婦」—「従軍慰安婦」問題入門 (増補版)」 *Verification of "Comfort Women": An Introduction to the "Comfort Women" Issue (Revised and Expanded Edition)* 全貌社 1996 306 p.

上杉 聡 (UESUGI Satoshi)

「「慰安婦」は商行為か?」 *Were "Comfort Women" Engaged in Transactions?* 戦争責任資料センター 1996

上杉 聡 (UESUGI Satoshi)

「日本政府は国連人権委の勧告に従うべきだ」 "The Japanese Govern-

ment Should Follow the Recommendation of the U. N. Human Rights Committee" 『朝日新聞』 1996.4 pp.44-45.

上杉 聡 (UESUGI Satoshi)

「国民基金の支給をめぐる」 "Payments from Asian Women's Fund"
『季刊 戦争責任研究』特集 軍隊・戦争と性暴力 13号 1996.9 pp.48-51.

内海 愛子 (UTSUMI Aiko)

「『スマラン慰安所』事件」 "Incidents at the 'Semarang Comfort Station'" 『Indonesia』 5/6号 1996.10 pp.1-18.

和田 春樹 (WADA Haruki)

「山下公人氏に反論する--『従軍慰安婦』問題の核心は『強制連行』ではない」 "Argument against Mr. Kimindo Kusaka: The Core of the 'Comfort Women' Issue Is Not 'Forced Recruitment'" 『Voice』 1996.8 pp.126-131.

山田 豊子 (YAMADA Meiko)

「ニッポン国策慰安婦-占領軍慰安施設・女たちの一生」 *Comfort Women Under the Japanese National Policy: Comfort Stations for Occupation Forces, and the Lives of Women Involved* 光人社 1996 245p.

山下 英愛 (YAMASHITA Yeong ae)

「韓国女性学と民族-日本軍『慰安婦』問題をめぐる“民族”議論を中心に」 "South Korean Women's Studies and Ethnicity: A Focus on the Discussion on the Japanese Military 'Comfort Women' Issue in Relation to 'Ethnicity'" 『女性学』 4号 1996 pp.35-58.

山崎 ひろみ (YAMAZAKI Hiromi)

「北京女性会議と『日本軍性的奴隷制度』問題-日本女性がもらったおみやげ」 "The Beijing Women Conference and the Japanese Military Sex Slave System' Issue: Souvenirs Given to Japanese Women" 『インパクション』 94号 1996.11 pp.62-69.

1996年

梁 澄子 (YANG Chung ja)

「イルボン元「慰安婦」の戦後」 "Ihbon [Japan]: The Postwar [Experiences] of a Former 'Comfort Woman'" 『ほろもん文化』6号 1996.2

吉見 義明 (YOSHIMI Yoshiaki)

「「慰安婦」問題のこれから」 "What Should Be Done about the 'Comfort Women' Issue" 『軍縮問題資料』190号 1996.9 pp.30-35.

吉見 義明 (YOSHIMI Yoshiaki)

「「従軍慰安婦」問題の解決のために」 "Solving the 'Comfort Women' Problem" 『世界』1996.9 pp.44-49.

吉見 義明 (YOSHIMI Yoshiaki)

「藤岡氏「従軍慰安婦」論の虚実」 "True and False in Mr. Fujioka's Remarks on 'Comfort Women'" 『週刊 金曜日』1996.11.15 pp.18-19.

吉見 義明 (YOSHIMI Yoshiaki)・尹 明淑 (YUN Myeong suk) [編著]

「資料紹介 日本警察の「慰安婦」政策 ①-「警察史」にみる「占領軍慰安婦」」 "Introduction to the Materials--The 'Comfort Women' Policy of the Japanese Police (1): The 'Comfort Women of the Occupation Forces' Seen in the *History of the Police*" 『季刊 戦争責任研究』特集 軍隊・戦争と性暴力 13号 1996.9.15 pp.52-59.

吉見 義明 (YOSHIMI Yoshiaki)・尹 明淑 (YUN Myeong suk) [編著]

「資料紹介 日本警察の「慰安婦」政策②-「警察史」にみる「占領軍慰安婦」・「軍慰安婦」・「事業場慰安婦」」 "Introduction to the Materials--The 'Comfort Women' Policy of the Japanese Police (2): 'Comfort Women for the Occupation Army', 'Comfort Women', and 'Comfort Women for Business Circles' as Seen in the *History of the Police*" 『季刊 戦争責任研究』14号 1996.12.15

尹 明淑 (YUN Myeong suk)

「書評『ある日本軍『慰安婦』の回想』マリア・ロサ・L.ヘンソン著」
"Book Review: *Memoirs of a Japanese Military 'Comfort Woman'* by
Maria Rosa L. Henson" 〔週刊 金曜日〕4巻29号 1996.8.2 pp.38-39.

「つぶせ『国民基金』! 日本軍『慰安婦』被害者への国家による個人賠償を!」
"Scrap the 'National Fund'! Provide State Compensation for
Individual Victimized 'Comfort Women'!" 〔朝鮮西報〕1996.2 pp.42-
43.

「『慰安婦』問題も国民の懐疑-国連決議の可能性強まり、政府また苦境に」
"The Government is Again Counting on Financial Backing from the
Japanese People for the 'Comfort Women' Issue: Beleaguered by the
Impending U.N. Resolution, the Government Is in a Difficult Position"
〔AERA〕9巻8号 1996.2.26 pp.22-23.

「R. クマラスワミ国連報告書-人権委員会決議 1994/45 にもとづく『女性
への暴力に関する特別報告書』による戦時の軍事的性奴隷問題に関する報告
書」 The R.Coomaraswamy U.N. Report: The Wartime Military Sex
Slave Issue According to a "Special Report on Violence against Women",
Based on Resolution 1994/45 of the Human Rights Commission. 日本の
戦争責任資料センター 1996 p.

「国連報告書に対する韓国各紙の反応」 "Reactions of South Korean
Papers to the U. N. Report" 〔統一評論〕1996.4 pp.33-41.

「日本は責任を『労働新聞』論調」 "Japan Must Take Responsibility - A
Labor Newspaper Commentary" 〔統一評論〕南北・海外同胞トピックス
1996.5 pp.112-113.

「『手紙』も『償い金』もいらない」 "I Do Not Need Any 'Letter' or 'Rep-
aration'" 〔AERA〕1996.9.16

「『慰安婦』犯罪、『一時金』解決無理」 "The 'Comfort Women' Crime,

1996年

Impossible to Solve With a 'One-Time Allowance'" 〔続〕評論 南北・
海外同胞トピックス 1996.10 p.121.

「少女たちの文化祭--知らされぬ歴史を掘り起こして、大宮北高アジア文化
研究会」 "Girls' Culture Festival: The Digging Up of Hidden History by
an Asian Cultural Studies Group at Omiyakita High School" 〔イオ〕5号
1996.11 pp.30-32.

「鈴木前都知事もリスト候補」 "Mr. Suzuki, Former Tokyo Governor,
Also to Be Listed" 〔AERA〕 1996.12.30

索引

[A]

阿部 浩己 (ABE Koki)	87, 116, 136
藍谷 邦雄 (AITANI Kuniu)	87, 136
赤星 昂 (AKAHOSHI Takashi)	1
秋田 武彦 (AKITA Takehiko)	1
安斉 貞子 (ANZAI Sadako)	1
青葉 薫 (AOBA Kaoru)	1
新井 佐和子 (ARAI Sawako)	41
荒井 信一 (ARAI Shin'ichi)	87, 116, 125, 136, 161
荒本 のり (ARAKI Nori)	41
有馬 真喜子 (ARIMA Makiko)	161
有光 健 (ARIMITSU Ken)	136
浅田 晃彦 (ASADA Teruhiko)	1
浅野 富美枝 (ASANO Fumie)	87
麻生 徹男 (ASO Tetsuo)	1, 88
淡路 芳一 (AWAJI Yoshikazu)	42
栗屋 憲太郎 (AWAYA Kentarô)	116
愛知県朝鮮人強制連行調査班・日朝協会愛知県連合会 (Aichiken chôsenjin kyôseirenkô chôsahan・Nicchôkyôkai Aichiken rengôkai)	87
朝日新聞社 (Asahi-shinbunsha)	29, 41, 136
朝日新聞テーマ談話室 (Asahi-shinbun Theme danwashitsu)	25
アジア・太平洋地域の戦争犠牲者に思いを馳せ、心に刻む集会 実行 委員会事務局 (Asia-Pacific chûki no senso-giseisha ni omoi o hase kokoro ni kizamu syûkai)	25
「アジア太平洋地域戦後補償国際フォーラム」実行委員会 (ASIA Taiheiyôchûki sengohoshô kokusai FORUM) jikkô iinkai)	29
「アジア・太平洋地域 戦後補償を考える国際フォーラム」実行委員 会 (ASIA・taiheiyôchûki sengowô kangaeru kokusaiFO- RUM) jikkô iinkai)	41
「アジアの平和と女性の役割」ピョンヤンセミナー 日本代表団 (ASIA no heiwa to joseinoyakuwari) Pyeong Yang SEMINAR nihondaihyôdan jinmyoku)	41

[B]

班 忠義 (BAN Zohong ul)	161
別所 源二 (BESSYO Genji)	1
ビートたけし (BITO Takeshi)	42
売買存問題とりくむ会 (Baibaishun-mondaito torikumukai)	88, 116
ボルネオ植産記編集所 (Boranco jûsôki henshûjo)	1

[C]

カーター 愛子 (CARTER Aiko)	161
張 真任 (CHANG Jeong in)	12
鄭 大均 (CHEONG Dae Gyun)	42
鄭 去扶 (CHEONG Geo jang)	25
鄭 鎮星 (CHEONG Jin seong)	42, 117
鄭 南勇 (CHEONG Nam yong)	162
田 麗玉 (CHEON Yeo ok)	117, 141
崔 哲榮 (CH'OE Cheol yeong)	137
崔 淑烈 (CH'OE Suk ryol)	137
崔 今春 (CHOI Kun ch'un)	88
曹 景欣 (CHO Gyeong min)	162
曹 亨均 (CHO Hyeong gyun)	88
趙 貞淑 (CHO Jeong suk)	162
趙 英淑 (CHO Yong suk)	88
クマラスワミ、ラヂョカ (COOMARASWAMY, Radhika)	162
千葉県歴史教育者協議会 (Chibaken rekishi kyôikusha kyôgikai)	116
朝鮮商報社 (Chôsenghôsha)	1
朝鮮人強制連行真相調査団 (Cyôsenjin kyôsei renkô shûnsô cyôsadàn)	12, 88, 89, 117, 137
朝鮮国際法学会 (Cyôsenkokusaihô gakkai)	89

[D]

デンマン、ヤン (DENMAN, Yan)	12
Dieng, Adama (DIENG, Adama)	137
上井 敏那 (DOI Toshikuni)	70

索引

第2回強制「従軍慰安婦」問題アジア連帯会議 (Dai2kai kyōsei [jōgun-ianfu] mondai ASIARENTAI-kaigi jōgun-ianfu)	117
第4回「アジアの平和と女性の役割」東京シンポジウム実行委員会 事務局 (Dai4kai [ASIA no heiwa to josei no yakuwari] Tōkyō SYMPOSIUM jikkō iinkai jhinkyoku)	89
ドウス 昌代 (Dous Masayo)	2

[E]

江原 由美子 (EHARA Yumiko)	42, 137
遠藤 正武 (ENDŌ Masatake)	162
榎本 秋男 (ENOMOTO Akio)	2
敬 正彦 (EOM Jeong eon)	26

[F]

藤田 ユキ (FUJIME Yuki)	139
藤本 拓 (FUJIMOTO Hiroshi)	89
藤本 威広 (FUJIMOTO Takehiro)	2
藤永 壮 (FUJINAGA Takeshi)	137, 138, 162
藤野 英夫 (FUJINO Hideo)	2
藤岡 信勝 (FUJIOKA Nobukatsu)	163, 174
ふじた あさや (FUJITA Asaya)	163
藤原 拓士 (FUJIWARA Takushi)	2
福地 曠昭 (FUKUCHI Hiroaki)	2, 13
福永 勝美 (FUKUNAGA Katsumi)	2
福島 瑞穂 (FUKUSHIMA Mizuho)	13, 149
福谷 正典 (FUKUTANI Masanori)	2
船橋 洋一 (FUNABASHI Yōichi)	13
船木 スミ子 (FUNAKI Sumiko)	3
船坂 弘 (FUNASAKA Hiroshi)	3
古野 直也 (FURUNO Naoya)	26
杉山 孝雄 (FUSAYAMA Takao)	3
不破 義信 (FUWA Yoshinobu)	3
福岡・「強制連行を考える会」(Fukuoka・[kyōsei renkō wo kan- gaerukai])	29

〔G〕

儀間 比呂志 (GIMA Hiroshi)	138
銀林 美恵子 (GINBAYASHI Mieko)	138
後藤 乾一 (GOTO Ken'ichi)	90, 138
五島 昌子 (GOTO Masako)	3
後藤 基治 (GOTO Motoharu)	3
後藤 得之 (GOTO Noriyuki)	117
月刊朝鮮資料編集部 (Gekkan Chōsen Shiryō Henshūbu)	43
月刊沖縄社・企画 (Gekkan okinawasha・kikaku)	3

〔H〕

萩谷 朴 (HAGIYA Boku)	43
浜田 徹 (HAMADA Tōru)	139
浜崎 富蔵 (HAMASAKI Tomizō)	3
花房 英村 (HANABUSA Hidetoshi)	44
穂 公平 (HANA Kōhei)	44
〈ハンドブック戦後韓国〉編集委員会 (〈HANDBOOK sengchoshō〉 henshū iinkai)	44
韓 京益 (HAN Kyeong ik)	138
韓 桂玉 (HAN Kye ok)	44, 138
韓 奎一 (HAN Kyu il)	139
韓 哲暉 (HAN Seok ui)	117
韓 時坤 (HAN Si kon)	44
原田 章弘 (HARADA Akihiro)	118
原 文兵衛 (HARA Bunbei)	161
原 ひろ子 (HARA Hiroko)	118
長谷川 慶太郎 (HASEGAWA Keitarō)	75
秦 征彦 (HATA Ikuhiko)	44, 90, 161, 167
早川 紀代 (HAYAKAWA Noriyo)	118, 139
林 えいだい (HAYASHI Eida)	3, 26, 45, 118
林 博史 (HAYASHI Hiroshi)	90, 118, 119, 153, 161
林 和男 (HAYASHI Kazuo)	90
林 昌子 (HAYASHI Masako)	45
林 陽子 (HAYASHI Yōko)	165

索引

畑見 庸 (HENMI Yō)	119
ヘンソン、マリア・ロサ・ルナ (HENSON, Maria Rosa L.)	139
許 在文 (HEO Jae mon)	45
H・G生 (H・G Sei)	90, 117, 118, 138
ヒックス、ジョージ (HICKS, George L.)	139
飛田 雄・ (HIDA Yōichi)	45, 95, 119
東 良信 (HIGASHI Yoshinobu)	120
樋口 雄・ (HIGUCHI Yōichi)	45
彦坂 満 (HIKOSAKA Tai)	29
平林 久枝 (HIRABAYASHI Hisae)	4, 45
平井 和子 (HIRAI Kazuko)	90
広崎 リュウ (HIROSAKI Ryō)	120
広島 正 (HIROSHIMA Tadashi)	120
広田 和子 (HIROTA Kazuko)	1, 120
広田 常治 (HIROTA Tsuneharu)	26
広渡 清吾 (HIROWATARI Seigo)	116
本多 勝・ (HONDA Katsuichi)	45
本田 浩春 (HONDA Yasuharu)	45, 46
洪 昌蓮 (HONG Sang jin)	46, 91, 120, 139, 140, 165
堀江 貞雄 (HORIE Sadao)	4
堀川 弘道 (HORIKAWA Hiromichi)	140
保坂 正康 (HOSAKA Masayasu)	166
星野 博 (HOSHINO Hiroshi)	4
皇甫 康子 (HUIWANGPO Kang ja)	46, 91, 140
法学セミナー編集部 (Hōgaku SEMINAR henshūbu)	91
兵庫県朝鮮人強制連行真相調査団 (Hyōgoken chōsenjin kyōsei ren- kō shinsō chōsadan)	120

(I)

井伏 鱒二 (IBUSE Masuji)	4
市川 速水 (ICHIKAWA Hayami)	46
市川 宗明 (ICHIKAWA Muneaki)	4
家永 三郎 (IENAGA Saburō)	141
五十嵐 広三 (IGARASHI Kōzō)	29
井桁 碧 (IGETA Midori)	97
池田 浩士 (IKEDA Hiroshi)	91

池田 健二 (IKEDA Kenji)	46
いまい げんじ (IMAI Genji)	4
今拾翠 俊伸 (IMAKYURE Toshinobu)	47
今村 均 (IMAMURA Hitoshi)	4, 5
林 鍾司 (IM Jong suk)	4
植葉 正夫 (INABA Masao)	5
インドネシア日本古領期史料フォーラム (INDONESIA Nihon- senryōki shiryō forum)	29, 166
井上 源吉 (INOUE Genkichi)	5
井上 成 (INOUE Hayashi)	5
井上 裕雅 (INOUE Hiromasa)	30
井上 清 (INOUE Kiyoshi)	120
井上 節子 (INOUE Setsuko)	141
井上 俊夫 (INOUE Toshio)	91
石橋 孝 (ISHIBASHI Takashi)	47
石川 猪太郎 (ISHII Itarō)	5
石川 逸子 (ISHIKAWA Itsuko)	91, 120, 121
石河 高祐郎 (ISHIKAWA Kōjirō)	5
石森 仁 (ISHITOH Jin)	47
磯貝 治良 (ISOGAI Jirō)	47, 91
磯崎 隆子 (ISOZAKI Takako)	5
板倉 山明 (ITAKURA Yoshiaki)	47, 121
伊東 秀子 (ITŌ Hideko)	47
伊藤 桂一 (ITŌ Keiichi)	6
伊藤 桂一 (ITŌ Keiichi)	5, 6
伊藤 啓子 (ITŌ Keiko)	141, 166
伊藤 憲一 (ITŌ Ken'ichi)	48
伊藤 雅子 (ITŌ Masako)	141
伊藤 孝司 (ITŌ Takashi)	30, 48, 49, 92, 121, 166
泉川 オーシャン (IZUMIKAWA Ocean)	166
井筒 陽子 (IZUTSU Yoko)	166
医療文芸集団 (iryōbungei shūdan)	5

(J)

自由人権協会 (Jiyū jinken kyōkai)	144
「女性の人権」委員会 ([Josei no jinken] iinkai)	121

索引

女性のためのアジア平和市民基金 (Josei notameno ASIA heiwa kō-kuminkikō)	111, 166
従軍慰安婦情報ホットライン奈良県実行委員会 (Jōgun-ianfu jōhō HOTLINE Nara-ken jikkō inkai)	49
従軍慰安婦問題行動ネットワーク (Jōgun-ianfumondai kōdō NET-WORK)	50
従軍慰安婦問題ウリヨソンネットワーク (Jōgun-ianfu mondai Uri yeoseong NETWORK)	93
従軍慰安婦問題ウリヨソンネットワーク (Jōgun-ianfu mondai uriyeosen Network)	49
「従軍慰安婦」および太平洋戦争被害者補償対策委員会 (Jōgun-ianfu oyobi taihei'yōsensō higaisha hoshōtatsaku iinkai)	49
従軍慰安婦問題を考える在日同胞女性の会(仮称) (Jyōgun-ianfu mondai o kangaeru zainichi dōhō jōsei no kai)	30
従軍慰安婦 110 番編集委員会 (Jōgun-ianfu 110ban henshū iinkai)	49
珠 (Jyu)	50

(K)

鹿嶋 節子 (KAJIMA Setsuko)	50, 78
賀教 かつ子 (KAKAZU Katsuko)	50
覚照 敏子 (KAKUHARI Toshiko)	133
上坂 冬子 (KAMHSAKA Fuyuko)	50, 93, 167
金井 景子 (KANAI Keiko)	121
姜 恵植 (KANG Hye Jeong)	111
姜 明姫 (KANG Myeong hui)	51, 93, 121
加納 実紀代 (KANŌ Mikiyo)	94
笠原 十九司 (KASAHARA Tokushi)	122, 167
加瀬 英明 (KASE Hideaki)	141
横谷 政和 (KASUYA Masakazu)	122
片岡 正巳 (KATAOKA Masami)	167
片岡 鉄哉 (KATAOKA Tetsuya)	94
加藤 明 (KATŌ Akira)	122
加藤 薫 (KATŌ Kaoru)	94
加藤 正夫 (KATŌ Masao)	51, 94
加藤 美希雄 (KATŌ Mikio)	6
加藤 清蔵 (KATŌ Seizō)	51

勝山 泰佑 (KATSUYAMA Hirosuke).....	142
河辺 一郎 (KAWABE Ichirō)	167
川田 文子 (KAWADA Fumiko)	6, 30, 52, 91, 95, 122, 142, 167, 168
川田 司 (KAWADA Tsukasa)	161
川北 恵造 (KAWAKITA Keizō)	6
川村 湊 (KAWAMURA Minato)	52
河名 恵子 (KAWANA Keiko)	50
川瀬 俊治 (KAWASE Toshiharu).....	6, 30, 52
菊池 政男 (KIKUCHI Masao)	7
菊池 竹史 (KIKUCHI Takeshi)	52
菊池 嘉晃 (KIKUCHI Yoshiteru)	30
石島 和彦 (KIMIJIMA Kazuhiko)	96
木村 宏一郎 (KIMURA Kōichirō).....	143
木村 公一 (KIMURA Kōichi).....	168
金 明律 (KIM Ch'ang ryul)	44
金 昌宣 (KIM Chang seon)	95, 123, 142
金 昌汀 (KIM Chan Jeong).....	142
金 学文 (KIM Hak mun).....	117
金 学順 (KIM Hak sun)	52
金 和美 (KIM Hwa mi)	52
金 一勉 (KIM Il Myeon)	7, 52
金 伊佐子 (KIM I jwa ja)	52
金 在由 (KIM Jae nam).....	53
金 静媛 (KIM Jeong wun)	53
金 知榮 (KIM Ji yeong).....	12
金 民泰 (KIM Min tae)	31, 53
金 美嶺 (KIM Mi ryeong)	123, 142
金 文淑 (KIM Mun suk)	53
金 明美 (KIM Myeong mi)	31
金 明順 (KIM Myeong sun)	142
金 富子 (KIM Pu ja)	31, 95, 143
金 相基 (KIM Sang gi)	32, 53
金 淑子 (KIM Suk ja)	168
金 順愛 (KIM Sun ae)	53, 95
金 潤任 (KIM Sun in)	45
金 太華 (KIM Tac hwa)	123
金 元榮 (KIM Wuong yeong)	32

索 引

金 英達 (KIM Yeong dal)	53, 51, 95
金 英姫 (KIM Yeong hui)	32, 55, 95, 143
金 玲希 (KIM Yeong hui)	51, 96, 107, 123
金 榮浩 (KIM Yong ho)	168
金 榮律 (KIM Yong ryul)	96
木下 陽子 (KINOSHITA Yoko)	169
岸田 秀 (KISHIDA Syo)	55
北川 広和 (KITAGAWA Hirokazu)	143
北河 賢三 (KITAGAWA Kenzô)	55
北岡 俊明 (KITAOKA Toshiaki)	169
北沢 有子 (KITAZAWA Kyoko)	56
北 一夫 (KITA Kazuo)	8
橋高 幸子 (KITAHATA Sachiko)	56
小林 淳宏 (KOBAYASHI Atsuhiko)	56
小林 よしのり (KOBAYASHI Yoshinori)	169, 170
柳川 哲夫 (KOGAWA Tetsuo)	56
小泉 省吾 (KOIZUMI Syogo)	56
岡分 俊一 (KOKUBU Shun'ichi)	8
小松 真一 (KOMATSU Shin'ichi)	8
小室 直樹 (KOMURO Naoki)	170
近藤 正巳 (KONDÔ Masami)	8
今 田 浩海 (KON Hidemi)	8
コリアリサーチセンター (KOREA RESEARCH CENTER)	57
越田 俊 (KOSHIDA Takashi)	97
河野 信子 (KONO Nobuko)	97
高 成浩 (KO Seong ho)	8
高 演義 (KO Yeon ui)	143
久場 建護 (KUBA Kengo)	97
窪田 精 (KUBOTA Kiyoshi)	9
久保田 幸平 (KUBOTA Kôhei)	9
熊沢 京次郎 (KUMAZAWA Kyôjirô)	9
琴 秉洞 (KUM Byeong dong)	57
久野 綾子 (KUNO Ayako)	57
倉橋 正直 (KURAHASHI Masanao)	9, 57, 97, 124
栗原 透 (KURIHARA Tôru)	57
栗本 雅弘 (KURIMOTO Masahiro)	9
黒田 秀俊 (KURODA Hidetoshi)	9

黒田 勝弘 (KURODA Katsuhiko)	58, 98, 144
黒岩 正幸 (KUROIWA Masayuki)	9
日下 公人 (KUSAKA Kimindo)	170, 170
桑島 徹郎 (KUWAJIMA Setsurō)	9
郭 大沅 (KWAK Tae won)	144
興野 義一 (KYŌNO Yoshikazu)	10
解放出版社 (Kaihō shūttsuppan-sha)	93
韓国・朝鮮人BC級戦犯を支える会 (Kankoku・chōsenjin BCkyōsenpanwo sasaerukai)	74
韓国女性団体連合・挺身隊問題対策協議会 (Kankoku joseidantai rengō・teishintai mondai taisaku kyōgikai)	122
【韓国女性新聞】 (『Kankoku josei shinbun』)	30, 51
韓国教会女性連合会 (Kankokukyōkai joseiengōkai)	88
韓国挺身隊問題対策協議会・挺身隊研究会 (Kankoku-teishintai mondai taisaku kyōgikai)	93, 167
近代戦史研究会 (Kindai senshi kenkyūkai)	8
国際法律家委員会 (Kokusai hōritsuka iinkai)	143, 144, 170
国際人権研究会 (Kokusai jinken kenkyūkai)	56, 96
国際公聴会実行委員会 (Kokusai kōgyōkai jikkō iinkai)	97
熊本「慰安婦」情報110番実行委員会 (Kumamoto [ianfu] jōhō110ban jikkō iinkai)	97
教科書検定訴訟を支援する全国連絡会 (Kyōkasho kenteisoshōwo shiensuru zenkoku renrakukai)	170
京都新聞社 (Kyōto shinbunsha)	58

(L)

李 青若 (LEE Chong yak)	124
李 杜哉 (LEE Chu ik)	58
李 作燾 (LEE Ga Hyung)	144
李 効再 (LEE Hyo jae)	58, 144, 171
李 仁浩 (LEE In ho)	144
李 京生 (LEE Kyong saeng)	98
李 尚七 (LEE Sang ch'il)	58, 98
李 相淵 (LEE Sang ho)	59
李 泰煥 (LEE Tae jin)	98
李 奎熙 (LEE Yeong hui)	59

索引

李 榮植 (LEE Yeong sik)	59
リー・ユントアン (Lee Eng Tuan)	90

(M)

町田 敬二 (MACHIDA Keiji)	10
前田 朗 (MAEDA Akira)	59, 121, 145, 171, 172
前田 勲 (MAEDA Isao)	32
まえだ けいこ (MAEDA Kelko)	172
馬原 鉄男 (MAIHARA Tetsuo)	59, 66
牧港 篤三 (MAKIMINATO Tokuzō)	173
横 かほる (MAKI Kahoru)	10
真鍋 元之 (MANABE Motoyuki)	10
真鍋 俊二 (MANABE Shunji)	98
丸山 静雄 (MARUYAMA Shizuo)	10
丸山 友枝子 (MARUYAMA Yukiko)	10
松井 やより (MATSUI Yayori)	59, 145
松井 義子 (MATSUI Yoshiko)	98
松本 健一 (MATSUMOTO Ken'ichi)	55
松本 誠 (MATSUMOTO Makoto)	166
松野 誠也 (MATSUNO Seiya)	115
松浦 敬紀 (MATSUURA Takanori)	13
三木 睦子 (MUKI Mutsuko)	115, 172
三増 英夫 (MIMASU Hideo)	10
水上 輝三 (MINAKAMI Teruzō)	172
深 淳子 (MINAMOTO Junko)	99, 172
三島 憲一 (MISHIMA Ken'ichi)	116
御園生 一哉 (MISONO Kazuya)	10
三溝 照敏 (MITSUMA Terutoshi)	99
三浦 朱門 (MURA Syumon)	99
三浦 徳平 (MURA Tokubei)	11
宮部 一三 (MIYABE Ichizō)	11
宮嶋 實理 (MIYAJIMA Minoru)	60
宮崎 清隆 (MIYAZAKI Kiyotaka)	11
水野 直樹 (MIZUNO Naoki)	60
水野 靖夫 (MIZUNO Yasuo)	11
水谷 静馬 (MIZUTANI Seima)	145

望田 幸男 (MOCHIDA Yukio)	116
森金 千秋 (MORIKANE Chiaki)	11
森川 万智子 (MORIKAWA Machiko)	173
森田 三男 (MORITA Mitsuo)	146
森田 芳雄 (MORITA Yoshio)	11
守屋 正 (MORIYA Tadashi)	11
森 正孝 (MORI Masataka)	60
本岡 昭次 (MOTOOKA Syōji)	32, 99
向井 俊二 (MUKAI Shunji)	11
文 公憲 (MUN Kong heon)	60
村井 吉敬 (MURAI Yoshinori)	21, 60
村松 喬 (MURAMATSU Takashi)	11
村瀬 守保 (MURASE Moriyasu)	12
村田 三郎 (MURATA Saburō)	12
武者小路 公秀 (MUSYAKŌJI Kinhide)	173
松代・朝鮮人「慰安婦」の家を残そう実行委員会 (Matsushiro・ cyōsenjin [anfu] no iwo nokosō jikkō iinkai)	99
文 玉珠 (Mun Ok ju)	146, 173
文玉珠さんの軍事郵便貯金の支払いを求める会 (Mun Ok ju-san no gunji yūbinchokin no shiharaiwo motometekai)	99

[N]

名田 隆司 (NADA Ryōji)	100
永原 和子 (NAGAHARA Kazuko)	12
永井 潤子 (NAGAI Junko)	146
長沼 節夫 (NAGANUMA Setsuo)	60, 61, 124
長尾 和郎 (NAGAO Kazuo)	12
長尾 唯・ (NAGAO Tadaichi)	12
長崎 和夫 (NAGASAKI Kazuo)	149
長沢 健・ (NAGASAWA Ken'ichi)	12
永田 美都子 (NAGATA Minako)	12
長田 由美 (NAGATA Yumi)	100
南雲 和夫 (NAGUMO Kazuo)	116
中川 博 (NAKAGAWA Hiroshi)	61
中原 道子 (NAKAHARA Michiko)	124
中村 梨 (NAKAMURA Akira)	100, 173

索引

中村 八朗 (NAKAMURA Hachirō)	12, 13
中村 守 (NAKAMURA Mamoru)	61, 100
中村 輝子 (NAKAMURA Teruko)	146
中西 昭雄 (NAKANISHI Akio)	61
中野 信見 (NAKANO Kiyomi)	13
中曾根 康弘 (NAKASONE Yasuhiro)	13
中田 均 (NAKATA Hitoshi)	146
中塚 明 (NAKATSUKA Akira)	100
中山 康子 (NAKAYAMA Yasuko)	61
中沢 仁 (NAKAZAWA Kei)	173
生田 芳 (NAMAIDE Hisashi)	1
直井 正武 (NAOI Masatake)	13
新美 彰 (NIIMI Akira)	14
新美 隆 (NIIMI Takashi)	61
西村 正昭 (NISHIMURA Masaaki)	62
西村 繁男 (NISHIMURA Shigeo)	174
西村 卓司 (NISHIMURA Takuji)	62
西野 留美子 (NISHINO Rumiko)	62, 101, 102, 103, 126, 127, 128, 147, 148, 174
西岡 力 (NISHIOKA Tsutomu)	62, 63
西尾 幹二 (NISHIO Kanji)	148, 174
西山 武彦 (NISHIYAMA Takehiko)	33
新美 隆 (NIIMI Takashi)	124
野平 俊水 (NOHIRA Toshimi)	174
野中 邦子 (NONAKA Kuniko)	148
野坂 昭知 (NOSAKA Akiyuki)	63
嵐 民愛 (NO Min ae)	63
名古屋YWCA 証言記録集編集委員会 (NagoyaYWCA syōgen-ki-rokushū henshū iinkai)	100
奈良県女性解放同盟 (Naraken josei kaihō kyōdō)	32
奈良 碧 (Nara Midori)	173
日朝協会 (Nicchō kyōkai)	62
日朝協会埼玉県連合会 (Nicchōkyōkai saitamaken rengōkai)	100
日本の戦争責任資料センター (Nihon'nosensō sekinin shiryō CENTER)	141, 147
日本弁護士連合会 (Nihonbengoshi rengōkai)	101, 174
日本弁護士連合会第36回人権擁護大会シンポジウム第1分科会実行	

委員会 (Nihonbengoshi rengōkai dai 36 kai jinken'yōgotokai SYMPOSIUM)	101
日本社会党女性局 (Nihonshakaitō joseikyoku)	33
日本の戦後責任をハッキリさせる会 (Nihon no Sengosekinin wo Hakkiru saseru kai)	147
日本の戦争責任資料センター (Nihon no sensōsekinin shiryō center)	101, 125, 162

{O}

O (O)	103
落合 信彦 (OCHAI Nobuhiko)	103
越智 春海 (OCHI Harumi)	13
萩野 富士夫 (OGINO Fujio)	128
萩原 重夫 (OGIWARA Shigeo)	33
岡田 廣 (OKADA Hiroshi)	61
岡田 梅子 (OKADA Umeko)	11
岡田 順徳 (OKADA Yorinori)	128
岡本 一彦 (OKAMOTO Kazuhiko)	14
岡本 信男 (OKAMOTO Nobuo)	11
岡本 芳雄 (OKAMOTO Yoshio)	33
岡村 青 (OKAMURA Ao)	61
岡村 美和子 (OKAMURA Miwako)	61
岡村 達雄 (OKAMURA Tatsuo)	31
岡村 俊彦 (OKAMURA Toshiniko)	14
小此木 政夫 (OKONOGI Masao)	61
奥村 明 (OKUMURA Akira)	14
奥村 哲 (OKUMURA Satoshi)	128
奥野 誠亮 (OKUNO Seisuke)	175
小俣 行男 (OMATA Yukio)	14
小野沢 あかね (ONOZAWA Akane)	148, 175
小澤 一彦 (OZAWA Kazuhiko)	61
小沢 昭一 (OZAWA Syōichi)	11
大林 清 (ŌBAYASHI Kiyoshi)	13
沖縄強制連行を調査する連絡会 (Okinawa kyōseirenkōwo chōsasuru renrakukai)	61
大越 愛子 (ŌKOSHI Aiko)	63, 171, 175

索引

大村 哲夫 (ÔMURA Tetsuo)	103
大沢 真理 (ÔSAWA Mari)	118
費 楓哲 (O Se chol)	128
大島 清 (ÔSHIMA Kiyoshi)	148
大島 孝一 (ÔSHIMA Kôichi)	175
大田 直子 (ÔTA Naoko)	13
大滝 淑子 (ÔTAKA Yoshiko)	148
大塚 一二 (ÔTSUKA Katsujû)	63
大内 和臣 (ÔUCHI Kazuomi)	148
大阪人権歴史資料館 (Ôsaka jinken rekishi shiryôkan)	63
大阪産業大学産業研究所、上海研究プロジェクト (Ôsakasangyô- dai gaku sangyô-kenkyôjo shanghai-kenkyô PROJECT)	148

[P]

裴 昭 (PAE Cho)	61
裴 足子 (PAE Zok Kan)	149
朴 和真 (PAK Hwa ml)	56
朴 貞樹 (PAK Jin su)	175
朴 慶植 (PAK Kyeong sik)	15
朴 美津子 (PAK Mi jin ja)	31, 65
朴 昇玉 (PAK Sung ok)	90
朴 昇 (PAK Sun)	65
朴 方南 (PAK Su nan)	31
朴 泰見 (PAK Tae gyeon)	103
朴 元淳 (PAK Won sun)	103, 101
方 清子 (PANG Cheong ja)	30, 31, 51, 175
フィリピン人元従軍慰安婦を支援する会 (PHILIPPIN Jin moto- jôgun-ianfuwo shiensurukai)	101
フィリピン従軍慰安婦補償請求裁判弁護団 (PHILIPPIN jôgun- ianfu honyô seikyô saiban bengodan)	119
ピョン ヨンジュ (PYEON Yeong ju)	149, 173

[R]

麗 (Ryco)	65
----------------	----

[S]

斎藤 卓一 (SAITÔ Kôichi)	15
斎藤 中二 (SAITÔ Shinji)	15
酒井 英郎 (SAKAI Tomoo)	15
坂井 俊樹 (SAKAI Toshiki)	65, 101
榊山 潤 (SAKAKIYAMA Atsushi)	15
阪本 楠彦 (SAKAMOTO Katsuhiko)	15
櫻井 良子 (SAKURAI Yoshiko)	26
桜井 良子 (SAKURAI Yoshiko)	176
SAPIO 編集部 (SAPIO hensyôbu)	176
佐々木 元勝 (SASAKI Motokatsu)	15
佐々木 組哉 (SASAKI Sekiya)	15
佐藤 勝巳 (SATÔ Katsumi)	26
佐藤 勝巳 (SATÔ Katsumi)	65, 72, 101
佐藤 和秀 (SATÔ Kazuhide)	65, 105, 128
佐藤 早苗 (SATÔ Sanae)	66
佐藤 建生 (SATÔ Takeo)	66
佐藤 健生 (SATÔ Takeo)	105
佐藤 泰大 (SATÔ Yasuo)	15
澤地 久枝 (SAWACHI Hisae)	176
沢山 勇三 (SAWAYAMA Yûzô)	16
シュミット ヘルムート (SCHMIDT Helmut)	149
関口 千恵 (SEKIGUCHI Chie)	77
関野 豊 (SEKINO Yutaka)	16
千田 夏光 (SENDA Kakô)	16, 17, 18, 59, 66, 128, 150
成 美香子 (SEONG Mi hyang ja)	129
成 律子 (SEONG Ryul ja)	106
宣 時伯 (SEON Si baek)	128
瀬戸内 寂庵 (SETOUCHI Jakuchô)	142, 146, 149, 176
芝 竹夫 (SHIBA Takeo)	150
重村 実 (SHIGEMURA Minoru)	18
重藤 都 (SHIGETÔ Miyako)	106
島田 俊彦 (SHIMADA Toshihiko)	18
嶋田 美子 (SHIMADA Yoshiko)	18
清水 澄子 (SHIMIZU Sumiko)	106, 129, 131

索 引

下村 満子 (SHIMOMURA Mitsuko)	148
品野 実 (SHINANO Minoru)	176
忍 甲 (SHINOBU Kōichi)	106, 177
植 鐘雄 (SHIN Yong hu)	129
城田 すず子 (SHIROTA Suzuko)	18
春風亭 柳昇 (SHUNPOTEI Ryūshō)	18
清水澄子事務所 (SIMIZU Sumiko Jimusho)	106
幸 基秀 (SIN Gi su)	31
中 一 徹 (SIN Il ch'ol)	67
曾我 鉄也 (SOGA Kinya)	67
曾根 一夫 (SONE Kazuo)	31, 106
宋 建鎬 (SONG Geon ho)	67
宋 甲憲 (SONG Kap heon)	18
宋 神道 (SONG Sin do)	150
宋 達玉 (SONG Ycon ok)	67, 107, 117, 129
曾野 綾子 (SONO Ayako)	50, 68
孫 文全 (SON Mun gyu)	106
空野 佳弘 (SORANO Yoshihiro)	68, 107, 129, 150
須川 昭 (SUGAWA Akira)	14
杉井 静子 (SUGII Shizuko)	68
皇 睦夫 (SUMERAGI Mutsuo)	18
鱒見 一夫 (SUMI Kazuo)	150
鈴木 明子 (SUZUKI Akiko)	166
鈴木 伶子 (SUZUKI Reiko)	68
鈴木 省五郎 (SUZUKI Syōgorō)	19
鈴木 卓四郎 (SUZUKI Takushirō)	19
鈴木 俊雄 (SUZUKI Toshio)	19
鈴木 裕子 (SUZUKI Yōko)	27, 31, 35, 69, 70, 107, 108, 130, 151, 177
産経新聞社 (Sankei-shinbunsha)	176
戦中派の会 (Senchōha no kai)	16
戦後責任を問う「開釜裁判」を支援する会 (Sengosekininwo tou [Kampu-saiban] wosiensurukai)	105
戦後補償問題連絡委員会 (Sengohoshō mondai renraku iinkai)	67
戦後補償問題研究会 (Sengohosyō mondai kenkyūkai)	129
戦後補償問題国会議事録編集委員会 (Sengo hoshōmondai kokkaigi-jiroku henshōiinkai)	105

順 (Sun)	32
---------	----

〔T〕

田部 康喜 (TABE Yasuki)	70
多田 さや子 (TADA Sayako)	108
田井 肇 (TAI Hajime)	152
高島 喜次 (TAKABATAKE Yoshitsugu)	19
高木 健一 (TAKAGI Ken'ichi)	70, 108, 130, 152, 161
高橋 喜久江 (TAKAHASHI Kikue)	35, 69, 71
高橋 哲哉 (TAKAHASHI Tetsuya)	152
高橋 義 (TAKAHASHI Yoshi)	19
高村 秀 (TAKAMURA Sho)	109
高坂 敏夫 (TAKASAKA Toshio)	71
高崎 隆治 (TAKASAKI Ryōji)	27
高崎 隆治 (TAKASAKI Ryōji)	71, 109, 130
高崎 宗司 (TAKASAKI Sōji)	19, 27, 36, 71, 109
高崎 信 (TAKASAKI Tsutomu)	19
高島 恵子 (TAKASHIMA Keiko)	19
高島 伸秋 (TAKASHIMA Nobuyoshi)	71
武井 慶有 (TAKEI Yoshiari)	72
竹見 智恵子 (TAKEMI Chieko)	178
竹村 泰子 (TAKEMURA Yasuko)	36, 72
竹内 康人 (TAKEUCHI Yasuhito)	109
玉井 紀子 (TAMAI Noriko)	20
田辺 寿夫 (TANABE Sumio)	37
田中 明 (TANAKA Akira)	72
田中 秀也 (TANAKA Hideya)	130
田中 宏 (TANAKA Hiroshi)	116
田中 利幸 (TANAKA Toshiyuki)	178
田中 保善 (TANAKA Yasuyoshi)	20
谷川 美津江 (TANIGAWA Mitsue)	20
谷内 真理子 (TANIUCHI Mariko)	110
田代俊子記念基金 (TASHIRO Toshiko kinen kikin)	152
俵 義文 (TAWARA Yoshifumi)	130
寺崎 浩 (TERASAKI Hiroshi)	20
戸川 幸夫 (TOGAWA Yukio)	20

索引

戸石 泰一 (TOISHI Taiichi)	20
床井 茂 (TOKOI Shigeru)	152
高村 順一 (TOMIMURA Jun'ichi)	20, 153
富岡 恵美子 (TOMIOKA Emiko)	153
富山 妙子 (TOMIYAMA Taeko)	73
富沢 繁 (TOMIZAWA Shigeru)	20
友清 高志 (TOMOKIYO Takashi)	20
東門 春 (TOMON Hiroshi)	73
外村 大 (TONOMURA Masaru)	131
戸塚 悦朗 (TOTSUKA Etsurō)	110, 111, 131, 132, 143, 153, 154, 155, 156, 178, 179
津和 虔子 (TSUAWA Keiko)	111
辻 政信 (TSUJI Masanobu)	21
塚崎 昌之 (TSUKAZAKI Masayuki)	156
常岡 せつ子 (TSUNEOKA Setsuko)	179
梶 新三 (TSUTSUMI Shinzō)	21
津山 章作 (TSUYAMA Syōsaku)	21
津吉 英男 (TSUYOSHI Hideo)	21
統一評論 編集部 (Tōitsu-hyōron henshōbu)	36, 72, 110, 130, 178

[U]

内田 雅敏 (UCHIDA Masatoshi)	132
植村 隆 (UEMURA Takashi)	36
上杉 千年 (UESUGI Chitose)	73, 111, 132, 133, 179
上杉 聰 (UESUGI Satoshi)	179, 180
鶴飼 哲 (UKAI Satoshi)	153
榎本 靖三 (ENEMOTO Sutezō)	21
海野 富夫 (UN'NO Fukuju)	133
白井 敬子 (USUKI Keiko)	21, 27, 36, 73, 74, 111
内海 愛子 (UTSUMI Aiko)	21, 37, 74, 111, 180
禹 (U II)	73

[W]

和田 春樹 (WADA Haruki)	148, 156, 180
和田 寛男 (WADA Takao)	137

和田 敏明 (WADA Toshiaki)	21
若林 政夫 (WAKABAYASHI Masao)	22
和気 シクルシイ (WAKI Shikurushi)	111
渡辺 恵典 (WATANABE Norio)	22
渡辺 泊 (WATANABE Osamu)	75
渡辺 健樹 (WATANABE Takeki)	133
渡辺 智子 (WATANABE Tomoko)	70
渡辺 利夫 (WATANABE Toshio)	75
若八会九州支部 (Wakahakkai kyūshū shibu)	22

[Y]

山田 梨子 (YAMADA Meiko)	37, 75, 111, 156, 157, 180
山田 定 (YAMADA Sadamu)	22
山田 清吉 (YAMADA Seikichi)	22
山田 明子 (YAMAGUCHI Akiko)	22, 75, 76, 167
山田 定 (YAMAGUCHI Yasushi)	116
山本 肇 (YAMAMOTO Hajime)	133
山本 将文 (YAMAMOTO Masafumi)	27
山本 政俊 (YAMAMOTO Masatoshi)	112
山本 夏彦 (YAMAMOTO Natsuhiko)	76
山中 敏 (YAMANAKA Satoshi)	76
山根 昌子 (YAMANE Masako)	37
山下 英愛 (YAMASHITA Yeong ae)	37, 38, 76, 112, 180
山谷 哲夫 (YAMATANI Tetsuo)	22, 76, 77
山内 小夜子 (YAMAUCHI Sayoko)	77
山崎 英佑 (YAMAZAKI Eisuke)	22
山崎 ひろみ (YAMAZAKI Hiromi)	157, 180
山崎 朋子 (YAMAZAKI Tomoko)	161
山崎 豊子 (YAMAZAKI Toyoko)	77
山住 正巳 (YAMAZUMI Masami)	77
柳原 一徳 (YANAGIHARA Itoku)	157
梁 澄子 (YANG Chung ja)	37, 77, 143, 181
保田 千世 (YASUDA Chise)	133
安田 武 (YASUDA Takeshi)	23
安原 桂子 (YASUHARA Keiko)	124, 133, 131
矢沢 康祐 (YAZAWA Kōsuke)	157

索引

横井 正彦 (YOKOI Masahiko).....	77
四方田 大彦 (YOMOTA Iuhiko).....	176
米田 佐代子 (YONEDA Sayoko).....	12
吉田 一郎 (YOSHIDA Ichirō).....	166
吉田 清治 (YOSHIDA Seiji).....	23, 23
吉見 周子 (YOSHIMI Chikako).....	78
吉見 義明 (YOSHIMI Yoshiaki).....	78, 112, 131, 157, 158
吉岡 満子 (YOSHIOKA Mitsuko).....	153
吉岡 吉典 (YOSHIOKA Yoshinori).....	27
吉富 利通 (YOSHITOMI Toshimichi).....	23
油井 大三郎 (YUI Dazaburō).....	78
尹 ヘドン (YUN Hae dong).....	78
尹 静姝 (YUN Jeong mo).....	78
尹 貞玉 (YUN Jeong ok).....	28, 37, 38, 79, 131
尹 明淑 (YUN Myeong suk).....	112, 131, 182
ユ・ボクニム (YU Bok nim).....	112
柳 連淑 (YU Yeon suk).....	37

[Z]

在日の慰安婦裁判を支える会 (Zainichino ianfusaihanwo sasaerukai).....	112
在日本朝鮮民主女性同盟中央常任委員会 (Zainihon-chōsen minshu-joseidōmei chūōjōnin'inkai).....	79
全国連合自主統一委員会 (Zenkoku rengō jishutōitsu inkai).....	113

1992 京都「おしえて下さい!『慰安婦』情報電話」報告集編集委員会 (1992 kyōto [oshietekudasai! [anfu] jōhōdenwa] hōkoku-shū henshū inkai).....	112
2・8 集会実行委員会 (2・8Shōkai jikkō inkai).....	113
9・19 集会実行委員会 (9・19Shōkai jikkō inkai).....	113

「慰安婦」問題関係年表

年・月	被害者・支援者等の動き	政府・国会の動き	外国・関連・その他の動き
90・1	4-21 尹貞玉(ユン・ジュンオク)梨花女子大学教授「挺身隊取材記」をハンギョレ新聞に連載		
90・5	18 韓国女性団体、盧泰愚(ノ・テウ)大統領訪日前に補償、謝罪を求める声明を発表	25 日韓外相会談において韓国側、終戦時に徴用された者の名簿調査につき要請 30 参院予算委で、社会党(当時)竹村泰子議員がいわゆる従軍慰安婦問題を取り上げる	24 盧泰愚(ノ・テウ)大統領来日
90・6	15-7・14 太平洋戦争犠牲者追悼会、釜山からソウルまで、500キロを大行進	6 参院予算委で、労働省局長が「民間業者がそういう人を連れ歩いたようで、その関係については事情を明らかにすることができかねる」官答弁	
90・7	10 韓国で「挺身隊研究会」発足		
90・10	17 韓国の37女性団体が日韓政府に公開書簡を送付 29 太平洋戦争犠牲者追悼会22名が、「陳謝」と「補償」を求めて本人訴訟を東京		

年・月	被害者・支援者等の動き	政府・国会の動き	外国・国連・その他の動き
	施設に提訴		
90・11	16 37団体により「挺身隊問題対策協議会」発足		
90・12	5 「朝鮮人慰安婦問題を考える会」準備会開催される 10 太平洋戦争犠牲者遺族会代表が来日し、日本弁護士連合会に人権救済を要請。「日本の戦後責任をハッキリさせる会」発足集会開催		
91・1	8 挺身隊問題対策協議会、海部首相訪韓に際し声明を発表するとともにデモ 19 東京の九段YWC Aで「従軍慰安婦問題を考える会」結成		
91・4	24-28 ハッキリ会、弁護士団、訪韓し実態調査		
91・5	18 大阪で在日韓国人・朝鮮人による「朝鮮人従軍慰安婦問題を考える会」発足 28 挺身隊問題対策協議会、海部総理あて公開書簡を発出し、正式返答を求める 31-2 日本・韓国・		

「慰安婦」問題関係年表

年・月	被害者・支援者等の動き	政府・国会の動き	外国・国連・その他の動き
	北朝鮮の女性によってセミナー「第一回アジアの平和と女性のための役割」東京、特別開催。共同で、補償を求めることを確認		
91・7	13 映画「アリランの歌」東京でオープニング上映開始 ・日本国内でも、慰安婦問題の議論が活発となり、資料集「私たちは忘れない、朝鮮従軍慰安婦」などが作成され新聞等で取り上げられるようになった ・日本の戦後責任をハッキリさせる会、「ハッキリ通信」を創刊		
91・8	3～4 「アジア太平洋戦後補償国際フォーラム」開催 14 金学順（キム・ハクスン）さん、ソウルの記者会見で名乗り出る 17～20 日本の戦後責任をハッキリさせる会、特別で聞き取り調査を行う		
91・10	15(?) 費奉奇（ベ・ボ		

年・月	被害者・支援者等の動き	政府・国会の動き	外国・国連・その他の動き
	ンヤ)さん死去(沖縄)		
91・11	13 東京で在日韓国、朝鮮人による「従軍慰安婦問題ウリョソネットワーク」発足 26-27 「第二回アジアの平和と女性のための役割」ソウルで開催	5 宮沢政権発足 6 社会党女性局、シンポ「日本の戦後責任と従軍慰安婦問題」を開催	
91・12	6 韓国元慰安婦ら3名が、軍人など32名とともに東京地裁に提訴 8 日本の戦後責任を問う集会・東京。元慰安婦の証言を聞く会・神戸。戦後補償問題を考える集い・大阪。など各地で集会等が活発に行われた 11 慰身隊問題対策協議会、加藤官房長官に抗議の書簡を日本大使館に届け、デモ。合わせて水曜日の定期デモを決議	8 田辺社会党委員長、「道義に基づいて補償が必要」と決意を述べる ・政府、慰安婦問題について政府が関与していたか否かについて関係資料を保管している可能性のある6省庁について調査開始 16 女性議員有志、政府に謝罪と補償を要請	
92・1	8 ソウルで第十回日の水曜デモ 10 吉見氏、発見した慰安婦関係の資料を公表	13 加藤官房長官、記者会「軍の関与は否定できない」と述べる 16 宮沢首相訪韓	20 朝鮮労働党、謝罪と補償をすべしと発表 21 韓国政府、資料提供をアメリカに要請

『慰安婦』問題関係年表

年・月	被害者・支援者等の動き	政府・国会の動き	外国・国連・その他の動き
	14 謝罪、賠償求め、13団体で東京で集会を開催し、「従軍慰安婦問題行動ネットワーク」発足 14～16 太平洋戦争終結41.省道協会等、宮沢首相訪韓反対デモ 14～16 慰安婦110番開設、計235件の反応 22 挺身隊問題対策協議会、国連人権委に提訴の方向を発表	17 宮沢首相、日韓首脳会議においてお詫びと反省の気持ちを表明	26 ビルマ戦線の慰安婦の資料、アメリカ公文書館で発見
92・2	21～3 台北市婦女救済社会福利事業基金会、元慰安婦調査のホットライン開設、9件の問い合わせ		5 フィリピンで軍管理の資料をアメリカのグッドマン名誉教授が公表 21 台湾立法院で、43名の立法委員が賠償要求を提案 25 韓国政府、市・区役所に「被害者センター」開設。申告と聞き取り調査を開始
92・3	1 韓国キリスト教会女性連合、元慰安婦ら2名とともに、沖縄渡嘉敷で喪奉奇(ベ・ボンギ)さんらの慰霊祭開催		
92・4	13 韓国の元慰安婦新たに6名、東京地裁		

年・月	被害者・支援者等の動き に提訴	政府・国会の動き	外国・国連・その他の動き
92・5	17 日本の75歳の男性、 「慰安婦のために」 と1,000万円を韓国 大使館に渡す 25 「文玉珠さんの軍 事郵便貯金の支払い を求める会」発足		13 国連差別小委現代 的奴隷制作業部会、 事務総長に慰安婦問 題に関して作業部会 が受領した情報をフ ァン・ボ・ヴェン差 別小委特別報告者に 提供するよう要請
92・6	2 韓国の元慰安婦ら 来日し、政府に謝罪 と賠償を求めるとも に、聞き取り調査 を要請 3 韓国元慰安婦の互 助組織「無窮花姉妹 会」結成 7 太平洋戦争犠牲者 追悼会、挺身隊問題 対策協議会共同主催 で「証言を聞く会」 開催。日党議員参加 ・2月から行っていた 台北市婦女救済社会 福利事業基金会の調 査で、42名の存在を 確認。うち13名が死 亡。1名が行方不明		25 韓国政府、2月か ら実施した聞き取り 調査を終了
92・7	11 日本弁護士連合会 人権擁護委員会、シ ンポ「日本の戦後処 理を問う」開催 7 挺身隊問題対策協 議会、政府の調査結	6 政府、「朝鮮半島 出身のいわゆる従軍 慰安婦問題につい て」第1次調査結果 を公表。127件の資 料公表。加藤官房長	3 韓国政府、2・6 月に実施した調査で 74名の元慰安婦生存 者を確認と発表 6 韓国政府、第1次 調査結果に対して、

「慰安婦」問題関係年表

年・月	被害者・支援者等の動き	政府・国会の動き	外国・国連・その他の動き
	果に抗議の声明 16 インドネシアで元 慰安婦が証言 25-26 第3回「朝鮮 人・中国人強制連行 ・強制労働全国交流 集会」が開かれる	官、記者会見で政府 の関与を認めお詫び と反省の気持ちを表 明	「事実調査をさらに 期待」と発言 9 中国外務省「厳粛 かつ真剣に対処を希 望する」と発言 10 韓国政府、独自の 措置を検討 13 インドネシア政府、 日本政府の対応を批 判 31 韓国政府が、「日 帝下の軍隊慰安婦実 態調査中間報告書」 を発表し、「威圧的 な募集があった」 「日本の誠意ある事 実の調査を求める」 と主張 21 オランダ法務省 「慰安婦が35名いた、 バタビア軍事法廷が 12名に有罪判決」と 公表。
92・8	10-11 「従軍慰安婦 問題アジア連帯会 議」ソウルで開催。 日本、韓国、台湾、 フィリピンから参加。 謝罪と補償を求める 共同行動を確認 12 太平洋戦争犠牲者 追悼会「証言の会」 開催 13-14 朝鮮人強制連		1 北朝鮮で「従軍慰 安婦および太平洋戦 争被害者対策委員 会」発足 12 同委が被害者123 名と発表 13 国連差別小委、5 月の現代的奴隷制作 業部会とほぼ同様の 決議を採択

年・月	被害者・支援者等の動き	政府・国会の動き	外国・国連・その他の動き
	行真相調査団、ピョンヤンで、日本からも参加し、聞き取り調査とシンポジウムを開催 14 台北市婦女救援社会福利事業基金会在元慰安婦の証言を発表		
92・9	1-6 第3回「アジアの平和と女性の役割」ピョンヤンで開催。4名の元慰安婦が参加 18 フィリピンでマリア・ロサ・ヘンソンさんが初めて証言		
92・10	5 マリア・ロサ・ヘンソンさん、首相宛に「教科書に記述を」との手紙を日本大使館に届ける 10 フィリピンで新たに2人目の元慰安婦が名乗り出る 16 米日中の挺身隊問題対策協議会代表、東京で「補償に代わる措置に反対」と発言 22 フィリピンで22名の元慰安婦確認		23 韓国外相、韓日国会で、「生活支援を検討」と発言
92・12	6 アジア太平洋戦争被害者と国会をつな	・政府調査対象を国立国会図書館等に拡大。	1 韓国外相、日本の記者団に「日本政府

「慰安婦」問題関係年表

年・月	被害者・支援者等の動き	政府・国会の動き	外国・国連・その他の動き
	々集会開催 7 裁判提訴1周年集会開催、全国各地で証言集会 8 中国人元慰安婦、名乗りでる 8 豪州在住のオランダの元慰安婦、名乗りでる 9 日本の戦後補償に関する国際公聴会を東京で開催。韓国、北朝鮮、オランダ、フィリピン、中国の被害者が参加。ファン・ボーベン氏らも参加 12 オランダ在住の元慰安婦も名乗りでる	米田中公文書館での公文書調査 ・政府、元軍人、元慰安所経営者などに対する聞き取り調査開始	が市民の心をどう表すか考えていることを評価する」と発言
93・1	23 在日の「慰安婦」裁判を支える会発足		
93・2	・米西海岸で補償を求める署名を行う		25 金泳三（キム・ヨンサム）大統領に就任
93・3	2 フィリピン人元「従軍慰安婦」を支える会発足 23 日本弁護士連合会アジア各地で戦争被害者について調査を開始		13 韓国各紙によれば、金大統領、大統領首席秘書官会議で、「日本に物的補償を要求しない方針であり真相を明らかにすることが重要であり、物質的補償は必要ない。元慰安婦たる被害者に対する補償は、

年・月	被害者・支援者等の動き	政府・国会の動き	外国・国連その他の動き
			来年から韓国政府の 予算で措置する」と 発言
93・4	2 フィリピンの元慰 安婦18名、東京地裁 に提訴 2 マレーシアで2名 が名乗り出たと報道 5 在日の元慰安婦宋 神道（ソン・ジン ド）さん、東京地裁 に提訴 21 戦争責任資料セン ター発足 24・29 第4回「アジ アの平和と女性の役 割」東京、大阪で開 催		24 国際法律家委員会、 慰安婦問題で調査開 始
93・5	14 戦争責任資料セン ター、政府に調査委 設置を要請 27 韓国、フィリピン 在日の支援グループ と全国自治団体職員 労働組合が、政府に 聞き取り調査、謝罪、 補償を要求		15 ウィーンの国連世 界人権会議で、元慰 安婦が証言、日本政 府を NGO が批判発 言 25 国際法律家委員会 (ICJ)、国連人権委 で慰安婦問題調査の 中間報告書を提出
93・6	5 「日韓ハッキリコ ンサート」土々囂風 等が出演し1000名が 参加して開催		
93・7		・政府、沖縄での現地 調査を行う	

「慰安婦」問題関係年表

年・月	被害者・支援者等の動き	政府・国会の動き	外国・国連・その他の動き
		26-30 政府、韓国で、元慰安婦から聞き取り調査を行う	
93・8	4 挺身隊問題対策協議会、官房長官談話を強制性が明確でないとして批判 4 戦争責任資料センター、人権に対する罪とのコメント 9-10 戦争責任資料センター、挺身隊問題対策協議会が共同研究会開催 13 インドネシア、元慰安婦106名が名乗り出る 14 「アジア太平洋戦後補償国際フォーラム」東京で開催 15 「市民による追悼の集い」を東京で開催、五十嵐建設相が出席し「具体的措置の実現に努力したい」と発言。 20 フィリピンの元慰安婦、新たに28名が東京地裁に提訴	4 政府、「いわゆる従軍慰安婦問題について」第2次調査の結果を発表。河野官房長官談話を発表 6 細川政権発足	2 北朝鮮の「日本帝国主义の占領被害調査委員会が中間報告書を発表 4 韓国政府、「官房長官談話」を評価 6 国連差別小委、挺身隊問題対策協議会、ICJなどが発言 25 国連差別小委、「戦時下の組織的強姦・性的奴隷制及び奴隷制類似慣行」の特別報告者にシャベス氏（同小委員会委員）を任命（但し、94年3月の人権委で彼女の研究は先送りされた）
93・9	・日本弁護士連合会、慰安婦等の戦争の被害についてのアジア海外調査報告書を発表		・韓国政府、元慰安婦に対する生活支援を開始

年・月	被害者・支援者等の動き	政府・国会の動き	外国・国連・その他の動き
	・『戦争責任研究』を発刊		
93・10	25 台北市婦女救援社会福利事業基金会、上井衆院議長に、「少なくとも766名がいた」という調査報告書を渡す 28 日本弁護士連合会、第36回人権擁護大会第一分科会で、調査結果にもとづいて、戦後補償問題をテーマに議論する ・第2回強制連行交流会開催	18 厚生省、いわゆる慰安婦名簿を韓国側に渡す。職業欄に「慰安婦」と記述があると発表	
93・11	27 慰安婦の証言にもとづいた劇「声なき挽歌」全国上演を開始。		3 米議員24名、慰安婦問題で「訴訟の申立」の内容を調査するよう求めた書簡を細川首相に送付
94・1	24 韓国の日本大使館前で元慰安婦が、包丁で自傷行為 25 オランダの元捕虜等の8名が東京地裁に提訴。うち1名が慰安婦		
94・2	7 挺身隊問題対策協議会と27名の元慰安婦、責任者の処罰を求めて告訴、告発を東京地検に提出（地		

「慰安婦」問題関係年表

年・月	被害者・支援者等の動き (検受現せず)	政府・国会の動き	外国・国連・その他の動き
91・4		25 羽田政権発足	
91・5	21 現生存者強制軍隊 慰安婦被害者対策協 議会が来日、補償求 める		
91・6	6 「戦後補償を求め る市民集会」東京で 開催。韓国、フィリ ピン、在日の元慰安 婦が参加。村山社会 党首、鳩山さきがけ 代表も出席 7 韓国の元慰安婦を 中心に国会前で座り 込み開始	29 村山政権発足	
91・7	18 太平洋戦争犠牲者 遺族会、フィリピン 人元「従軍慰安婦」 を支える会、在日の 「慰安婦」裁判を支 える会などが、政府 のアジア交流センタ ー・基金構想などに ついて、白紙撤回を 求める 22 挺身隊問題対策協 議会、基金構想を批 判		
91・8	4 日韓の市民グルー プ日本政府批判 13-14 アジア太平洋 戦後補償国際フォー	23-25 村山総理、フ ィリピン訪問 21 ラモスフィリピン 大統領、日比首相会	

年・月	被害者・支援者等の動き	政府・国会の動き	外国・国連・その他の動き
	ラハ開館 15 国際仲裁裁判を成功させ個人補償を実施させる会発足 23 フィリピンで、元慰安婦ら村山首相訪問に対する抗議デモ 22 フィリピン人元「従軍慰安婦」を支える会等が基金構想批判 28 東京で、基金構想反対集会開催	政府は日本側の対応を評価 31 村山首相戦後50年を迎えるにあたっての談話においていわゆる従軍慰安婦について触れ、幅広い国民参加の道とともに探究したいと述べる	
91・9	29 韓国の元慰安婦等日本の国会前でハンスト開始		
91・11	22 挺身隊問題対策協議会など、国際仲裁に応じるよう政府に申し出る 21 韓国の元慰安婦ら日本の国会前でハンストに入る 21 ソウルのパゴダ公園で太平洋戦争犠牲者追悼会、国会決議と謝罪を求める集会を開催	9 官房長官の諮問機関として「アジア歴史資料センター」の設立検討の有識者会議を設置	22 国際法学家委員会(ICJ)最終報告書「日本政府に法的責任と補償義務がある」として被害者一人当たり4万米ドルの暫定的補償を提案 22 クマラスワミ氏(国連人権委「女性に対する暴力特別報告者」が、慰安婦関連記述も含む暫定報告書を提出
91・12	8 オランダのハーグで元慰安婦らデモ 9 韓国の元慰安婦ら与党の合意に反対の声明とともにハンスト	7 与党戦後50年問題プロジェクトチーム従軍慰安婦問題小委員会が「いわゆる従軍慰安婦問題について	各都道府県の12月定例議会にて「戦没者追悼と感謝の決議」を行う、数は12都道府県

【慰安婦】問題関係年表

年・月	被害者・支援者等の動き	政府・国会の動き	外国・国連・その他の動き
	ト終了	ての第1次報告」発表	12 韓国金寿煥（キム・スファン）駐米大使「真相を明らかにし、賠償と謝罪を要請」する書簡を村山首相に送付
95・1	21 日本弁護士連合会「補償求める提言」を政府に提出		
95・2			3 不戦決議に反対集会開催 23 国連人権委で一部NGOが基金構想批判
95・3	1～6 第3回アジア連帯会議開催。ピョンヤン元慰安婦証言 1 太平洋戦争犠牲者追悼会、基金構想批判 2 挺身隊問題対策協議会、基金構想反対集会 2 弁護士グループ、「外国人戦後補償法」草案を発表 17 市民グループ「こまかしの民間基金に反対する3・17集会」開催 20 韓国労働組合総連盟、ILOに「強制労働禁止に違反」と		8 国連人権委、クワラスミ氏の暫定報告書にも限定した「女性に対する暴力徹底」決議採択

年・月	被害者・支援者等の動き 提訴	政府・国会の動き	外国・国連・その他の動き
95・4			28 国連差別小委員会の奴隷制作業部会、慰安婦問題にも一部言及の報告書を採択
95・5			22 フィリピンでシャベス氏、元慰安婦や政府関係者などと面会 27-31 弁護士らの招きで私的にシャベス氏来日
95・6	15 市民グループ、五十嵐官房長官の発表に抗議声明 ・坂本義和氏ら村山首相に、謝罪と補償すべきと申し入れる ・大阪府特別教員組合(OFSBT)がILOに「強制労働禁止に違反」と提訴	9 衆議院で、歴史を教訓に平和への決意を新たにする決議採択 14 五十嵐官房長官、「女性のためのアジア平和友好基金」の事業内容として、国民的な償いを行うための民間からの基金と国の資金による医療福祉支援事業、女性の名誉と尊厳に関わる事業などを発表 19 「女性のためのアジア平和国民基金」(アジア女性基金)発足、発足とともに村山総理「ごあいさつ」を発表	15 フィリピン政府、日本政府による「基金」設立を歓迎する旨のラモス大統領声明を発表 2-3 国際法律家委員会(ICJ)、慰安婦問題でセミナー開催。東京 22-27 クマラスワミ特別報告者、慰安婦問題調査のため公式に来日
95・7		26 五十嵐官房長官、	

【慰安婦】問題関係年表

年・月	被害者・支援者等の動き	政府・国会の動き	外国・国連・その他の動き
95・8	7 中国の戦争被害者15名が東京地裁に提訴。うち元慰安婦は5名 13-14 「アジア太平洋戦後補償国際フォーラム」開催 15 「戦後50年―過去・現在・未来 8・15市民宣言のつどい」開催。村山首相も参加 15 戦後補償実現市民基金発足	クマラスワミ特別報告者に基金設立等について説明 11 アジア女性基金の行う事業について、政府として必要な協力を行う旨の閣議了解 15 アジア女性基金、募金を開始 15 村山総理、戦後50年の内閣総理大臣談話を発表	3 国連差別小委、シャベス氏が作成した「戦時下の組織的強姦等に関する作業報告書」を歓迎し彼女を再度特別報告者に任命 18 国連差別小委、現代的奴隷制作業部会報告書と同様の決議を採択
95・9			・北京で第4回世界女性会議開催。野坂官房長官代表演説
95・10	7 日本の市民グループがインドネシアで2000名の慰安婦が名乗りでたと発表 27 戦後補償実現キャンペーンの呼びかけで、基金反対の座談会を行う		
95・11	6 基金反対のグループ主催による公開討論会開催。和田春樹氏、鈴木裕子氏、田中宏氏ら参加		

年・月	被害者・支援者等の動き	政府・国会の動き	外国・国連・その他の動き
	16 日本弁護士連合会「国家的補償制度を求める」会長声明発表		
95・12	3～4 「つばせ国民基金実行委員会」主催の基金反対集会開催。韓国、フィリピン、台湾から参加・ロサ・ヘンソンさん自伝発行	8 アジア女性基金、財団法人となる 18 政府「戦後50年を記念するつどい」開催	
96・1		11 橋本政権発足	
96・2	6 「応じよ、国連勧告」事務局発足、クマラスワミ氏の勧告案の受入れを主張し、署名運動を展開 9 フィリピン「ロサの家」開設 18 韓国「太平洋戦争犠牲者援護センター」開設		6 国連人権委、「女性に対する暴力」特別報告者クマラスワミ氏の慰安婦問題に関する報告書を公表
96・3			4 ILO条約勧告議論専門委員会「OPSETの申立てを基礎とすれば賃金その他の給付を受けられる権利を有していたらう」とのオブザベーションを発出 ・台湾立法委員、慰安婦への補償を求めて、首相と衆参議長に要

「慰安婦」問題関係年表

年・月	被害者・支援者等の動き	政府・国会の動き	外国・国連・その他の動き
96・4	9 日本、韓国、北朝鮮、フィリピン、台湾などの市民グループが、ジュネーブで「基金反対、勧告を支持する国際協議会」を結成 18 上記の被害者5団体、アジア女性基金の受け取り拒否宣言 31～5 写真展「海渡る恨」東京で開催		勧告送付 10 国連人権委、「女性に対する暴力」に関する決議において、韓国政府「自主かつすみやかにクマラスワミ報告書の勧告実行のために必要なステップを取るよう日本政府に要請する」と発言。中国、フィリピンの他、北朝鮮もオブザーバーとして発言 ・台湾立法院160名中131名の立法委員が賛成を求め署名 19 国連人権委、女性に対する暴力撤廃決議を採択。クマラスワミ報告書は全体としてテイクノートされるにとどまった
96・5	2 三木睦子氏、坂本義和氏らと慰安婦問題で橋本首相に申入れ、直後に「アジア女性基金呼びかけ人」の同意を表明		
96・6		4 自民党の議員、「明るい日本国会議員連関」を結成、教科書記述を批判。116名の議員が参加。	20 韓国国会議員191名による「日本政府が賠償を」の署名が公表された 26 国連差別小委現代

年・月	被害者・支援者等の動き	政府・国会の動き	外国・国連・その他の動き
		会長に奥野元法相 23 橋本首相、金韓 国大統領と濟州島で 会談。橋本総理、記 者会見において首相、 慰安婦問題で「お詫 びと反省の気持ち」 を表明	的奴隷制作委員会、 慰安婦問題に関する 日本政府の取り組み に関する情報をテイ クノートなどする報 告書を作成
96・7		19 アジア女性基金、 韓国、フィリピン、 台湾の元慰安婦に一 人当たり200万円の 一時金支給と政府拠 出による七億円規模 の医療福祉支援事業 を行うことを決定	・日本大使館に、村岡 田会議員270名「賠償 を要求」
96・8	4 フィリピンで、リ ラ・ピリピーナが基 金事業受け入れる 「アジア女性基金委 員会」設立 8 フィリピンでマラ ヤロラズ結成 9-10 アジア太平洋 戦後補償国際フォー ラム開催。台湾の溫 紅結さん「基金から の低い金を受け取り たい」と表明 11 すべての戦後補償 を求める集い開催。 韓国の慰安婦ら参加。 基金を批判	5-6 アジア女性基 金、ESCAP ととも に「女性の人格とは 国際フォーラム開催 (松田連太学・東京) 10 同、京都にて開催 13 アジア女性基金、 フィリピンで事業開 始のお知らせを新聞 に掲載 14 アジア女性基金、 フィリピンで伝達式。 ロリ・ヘンソンさん ら3名に理事長の手 紙等を手交。政府か らは総理の手紙を手 交	23 国連差別小委現代 奴隷制作委員会報告 の関連部分を「日本 政府の取り組みにつ いての有益な情報を 歓迎する」と改めた 決議を採択
96・10	18 韓国で「日本軍慰		

「慰安婦」問題関係年表

年・月	被害者・支援者等の動き	政府・国会の動き	外国・国連・その他の動き
	安婦問題の正しい解決のための市民連帯」を結成、韓国市民ら募金を開始		
96・12	2 日本弁護士連合会にマラヤラズが人権救済を申し立てる 11 「慰安婦問題の立法解決を求める会」結成		11 台湾立法委員来日、国家賠償の立法化を政府に要請
97・1		11 アジア女性基金、韓国で元慰安婦7名に償い事業を届ける 15 アジア女性基金、フィリピンで医療福祉支援事業について合意	

あとがき

ここに収録された文献は、「慰安婦」をめぐる交わされてきた国内の論争のほぼ全てを、公正かつ客観的に網羅することを目標に編纂されたものである。

文献収集のもとになったのは、「国立国会図書館蔵書目録」、「国立国会図書館雑誌記事目録」、「朝鮮人・中国人 強制連行・強制労働 資料集」（金英達、飛田雅一編）などが主である。その関係で「慰安婦」というキーワードをタイトルに含む文献で、データベースに登録されているものは、ほぼ完全に網羅されているが、タイトルとして、戦争や女性史に関する、より一般的な題名が使われているものに関しては、実際の原資料にあたるか、主だった研究書で引用されている参考文献を使って収集を進めた。重要な見落としがあるかもしれぬと一抹の不安はある。遠慮のないご教示を賜り、よりよいものにしていきたい。

また年表に関しては、「慰安婦」を中心とした事件や裁判などの記録を左端にまとめ、真ん中には政府の動きに関するものを集め、右端にその他として外国政府の対応に関するものを掲げた。三つに分けたことで、世論の動きと日本政府の対応、外国の政府の反応などが時系列的に見やすく整理されることを意図したつもりである。

具体的な作業にあたったのは、文献収集に関しては、山田典子さん、年表の作成は服部浩洋さん。特に山田さんは、不眠不休の態勢で広範にデータベースからの資料収集にあたられた。更に資料整理の段階で、会坂唯さん、関康夫さんのご助力もお願いした。また、原稿の点検、増補に関しては、菊池悦子さん、菊池英昭さん、金英達さん、鈴木昭彦さん、高木健一さん、高橋静江さん、高柳俊男さん、外村大さん、ブラッド・ホートンさん、山本まゆみさん、のみなさまにご協力をいただいた。改めて感謝申し上げます。

昭和法人 女性のためのアジア平和市民基金
「慰安婦」関係資料委員会
委員 浅野 豊 美

「慰安婦」関係文献目録

A Bibliography of Publications on the "Comfort Women" Issue

1997年9月30日 初版発行

編者 財団法人 女性のためのアジア平和市民基金
Asian Women's Fund

〒107

東京都港区赤坂2-17-12赤坂アネックス

電話 03-3583-9316

発行 株式会社 きょうせい

本 社 〒104-0061 東京都中央区銀座7-1-12

本 部 〒167-8088 東京都杉並区荻窪4-30-16

電話(03)5349-6666

〈検印省略〉

*乱丁、添丁本は取り替えます。 印刷 行政学会印刷所(SK)

© 1997 Printed in Japan ISBN1-321-05211-7 C0036

5105317 00 0000

[略号：慰安婦文献目録]